

第七十四回帝國議會
衆議院

森林法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
森林法中改正法律案(政府提出)
林業種苗法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月二十日(月曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事長野 綱良君 理事池田 清秋君

理事小山田義孝君

松尾 四郎君

伊藤 五郎君

松尾 孝之君

稻田 直道君

川俣 清音君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

農林政務次官 松村 謙三君

農林省山林局長 村上富士太郎君

商工省商務局長兼
商工省新制局長 新倉 利廣君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員長野 長廣君 議員武田德三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

森林法中改正法律案(政府提出)

林業種苗法案(政府提出)

○長野委員長代理 開會シマス——伊東若男君

○伊東委員 山林局長ニ御尋致シマスガ、

林業種苗法案ニ對スル二三ノ問題ト、アト

ハ結論的ノ問題ニ付テ少シク御尋致シタイ

ト思フノデアリマス、先般御尋致シマシタ

林業種苗法中ノ母樹及ビ母樹林ノ補償ニ關

スル問題デアリマスルガ、種子林ニ對スル

補償ノ方ハ明ニナツテ居リマスルケレドモ、

穂木ヲ採取スル採取林ノ補償ノ問題ガ明ニナ

ツテ居リマセヌ、又種子林ハ補償ノ方法モ

見當ヲ立テルノニ割合ニ簡單デアリマスルケ

レドモ、穂木ヲ採ル母樹林ハ非常ニ廣汎ナ

ル地域ヲ要シ、澤山ナ母樹ヲ必要ト致シマ

スルノデ、隨テ母樹價格ヲ算定スル方法モ

洵ニ困難デアラウカト思フノデアリマスル

ガ、此ノ補償スル算定ノ方針ヲドウ云フ

工合ニサレルノデアリマスルカ、先ヅ

此ノ點ヲ御伺シタイト思フノデアリマ

ス

○村上政府委員 補償スル方法ハ、伐採ノ

停止サレテ居ル間毎年其ノ木ノ價格ニ對ス

ル所ノ利子ニ當ルモノヲ補償スル、ソレハ

母樹林ノ算定サレタ所ノ價格ニ依リマシテ

年々違ヘテハ參リマス

○伊東委員 種子ヲ採ル方ハ簡單デアリマ

スルケレドモ、穂木ヲ採ル方ハ區域モ非常

ニ廣汎デアリ、何万本或ハ何十万本、或ハ

ソレ以上ノ數量ニ達スルと思ヒマスノデ、

又一本カラ穂木ヲ採ル數量ノ如キモ一定ヲ

致シテ居リマセヌカラ、其ノ算定ノ基礎ガ

中々困難ダト思フノデアリマス、是ハ將來

本法ガ施行サレル上ニ於テ頗ル厄介ナ問題

ダト思フノデアリマスルガ、此ノ點ハ別ナ

施行令デモ出サレル時分ニ篤ト御考下サル

コトトモ思フノデアリマスルケレドモ、今

御答辯ノヤウニ簡單ニハ參ラナイデハナイ

カト思フノデアリマスルガ、自信ガアルノ

デアリマスルカ

○村上政府委員 穂木母樹林ニ付キマシテ

ハ、只今伊東サンノ仰セノヤウニ、相當是

ハ施行規則ヲ作ル時ニ特別ノ規則ヲ作ツテ

考慮シナケレバナラスと思ヒマス、唯私共

ノ考デハ飢肥地方邊リデハ自家用採取ガ多

イノデヤナイカト思ヒマスノデ、大體穂木

トシテ指定スルコトハ殆ドナクシテ濟ムノ

デヤナイカト思ヒマスルケレドモ、併シ實際

問題トシテ母樹ノ指定ト云フコトモ起リハ

シナイカト思ヒマス、左様ナ場合ニ付テハ

其ノ補償方法等ニ付テハ篤ト外ト離シテ考

究シテ見タイト思ヒマス

○伊東委員 「パルプ」材原料ノ伐採ガ盛ニ

ナツタ爲ニ、二十年若クハ二十五年三十年

ノ、丁度穂木ヲ採ルノニ都合ノ好イ森林ヲ

全伐スル場合ガ、非常ニ現在モ多イガ、將

來モ非常ニ多イト思ヒマス、サウスルト其

ノ全伐致シマスル森林ハ殆ド優良種デア

ツテ、穂木ヲ採取スルノニ適當デアル場合ガ

多イノデアリマスルカラ、ソレヲ利用スレバ

穂木ヲ非常ニ經濟的ニ又優良ナモノヲ多數

ニ採リ得ル便法ガ出來ルノデアリマス、左

様ナ場合ニ伐採前ニ母樹林トシテ指定スル

カ、或ハ特別ナ許可ヲ受ケテ、其ノ全伐致

シマスル杉ナラ杉ノ木ノ穂木ヲ多量ニ採取

スルト云フヤウナ經濟的穂木ノ採リ方モアル

ノデアリマス、是モ實際問題トシテ多イ問

題デアリ、母樹林ノ設定ト密接ナ關係ガア

リマスノデ一應御尋致シテ置キマス

○村上政府委員 伊東サンノ仰セノ通り

「パルプ」資材トシテ伐ル位ナモノカラ先ニ

穂木ヲ採ルト云フコトハ是非非常ニ經濟的

ナ利用方法デ結構ト思ヒマス、斯様ナモノ

ニ付キマシテハ、是ハ母樹トシテ指定スル必要ハナイノデアリマシテ、サウ云フヤウナ方法ヲ採ツテ戴クコトガ一番宜シイト思ヒマス

○伊東委員 第十條ニ「行政官廳必要アリト認ムルトキハ種苗ノ種類ニ應ジ之ニ適スル配付區域ヲ指定シ」トアリマスガ、此ノ配付區域ヲ指定スルト云フコトハ、結局適地適木主義ヲ意味スルモノト私ハ思フノデ、洵ニ結構ナコトト思ヒマス、尙ホ又次ニ「又ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマスルガ、其ノ勅令ノ内容ハ、此ノ分ニ限ツテ參考書ハ無イヤウデアリマスルガ、是ハドレヲ指スノデアリマスルカ

○村上政府委員 第十條ノ種苗ノ輸出又ハ輸入ニ對スル勅令ハ直チニ今公布スル積リデゴザイマセヌ、其ノ必要ガ起リマシタ時ニ勅令ヲ出シマシテ、例ヘバ落葉松ノ輸出ヲ禁止スル、斯ウ云フ勅令ヲ出シタイ、斯ウ思ツテ居リマス、只今法律ノ施行ト共ニ此ノ勅令ヲ出スノデアリマセヌデ、其ノ必要ガ起リマシタ時ニ落葉松ナラ落葉松、サウ云ツタヤウナモノニ付テ特別ナ勅令ヲ出サウト、斯ウ云フ考デアリマス

○伊東委員 前段御尋致シマシタ配付區域ヲ指定スルト云フ意味ハ適地適木主義ヲ強

制スルト云フ意味デアリマスカ

○村上政府委員 左様デゴザイマス

○伊東委員 之ニ付テ非常ニ好イ例ガアリマスルカラ、御話ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、是ハ宮崎縣ノ好適例デアリマスルガ、ドウシテモ適地適木主義デナケレバナナイ、特ニ此ノ點ハ政府トシテモ左様ニ御考ニナツテ居リマスルガ、民間ノ經驗カラモ極メテ適切ナコトデアリマス、今カラ二三十年前デアツタト思ヒマスルガ、縣ニ若イ山林技師ガオ居デニナツテ、サウシテ無理ニ吉野杉ノ優良ナル點ダケヲ御話ニナツテ、之ヲ強制的ニ縣内ニ獎勵サレタモノデアリマス、而モ縣デ苗マデ拵ヘテ之ヲ無償配付ラスルトカ、或ハ低廉ナ格價デ一般ニ配付スルトカ云フナヤウ方針ヲ執ラレタノデアリマス、但シ民間ニ於テハ、吉野杉ハイケナイ、從來ノ長イ經驗カラ固有ノ辨甲材ニ適スル飢肥ノ赤杉デナケレバイケナイト云フ反對ノ議論ヲ頗ル強調シタノデアリマスルケレドモ、縣ノ力ニ依ツテ無理ヤリニ之ヲ獎勵シタモノデアリマス、其ノ後十四五年ニシテ其ノ結果ノ惡イコトガ明瞭ニナツタノデアリマス、由來宮崎縣ノ中飢肥地方ノ如キハ、穗木ヲ伐ツテ野ヤ山ニ直接挿木シテ、從來ハ苗ヲ拵ヘズニ其ノ儘デ

造林ヲスルト云フ天惠ノ造林地帯デアリマス、ソレヲ吉野杉ヲ無理矢理ニ獎勵ラシタ爲ニ今日マデ非常ナ損害ヲ受ケテ、今尙ホ其ノ山林技師ニ對シテハ非常ナル怨ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ適地適木主義ガ如何ニ顧慮セラレナケレバナラヌカト云フコトノ實例デアリマス

尙又之ニ反シマシテ飢肥杉ハ赤杉デアツテ脂肪分ガ多ク、彈力性ガアツテ水ニ耐ヘル力ガアルト云フ特徴ヲ持ツテ居リマスノデ辨甲材トシテ今日マデ主トシテ造林ノ目的ヲソコニ置イテ來タノデアリマス、然ルニ「バルプ」事業ガ盛ニナツタ爲ニ、ドウシテモソコニ重點ヲ置カナケレバナラヌ、ソレカラ今マデハ相當疎植シテ居ツタノデアリマシテ、今カラ考ヘルト非常ニ不經濟ナ造林ヲヤツタノデアリマス、是ハドウシテモ密植密林ニ依ツテ間伐材ニ依ル經濟的造林ヲヤラナケレバナラヌト云フ自覺ハ出來タノデアリマスガ、地方デハ今尙ホ舊來ノ慣習ガ拔ケナイノデアリマス、併シ一面ニ於テハ辨甲材ノ保護ト云フコトモ非常ニ必要デアリマス、現在ノヤウナ狀態デアリマスト、飢肥地方特有ノ辨甲材ト云フモノハ、全ク跡ヲ絶ツヤウナコトニナルト、大切ナ船用資材ト云フモノガナクナツテ日本ノ造

船業ノ上ニ至大ナ影響ガアルヤウニモ思フノデアリマスガ、之ニ對スル御當局ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○村上政府委員 辨甲材ハ日本ノ造船上必要ナ材デアリマス、但シ從來ノ飢肥林業ハ伊東サン能ク御承知ノ通りニ非常ニ疎植ニ失シタガ爲ニ、間伐材ノ利用ト云フ點カラ言フト、極メテ遺憾ナ點ガアリマシテ、例ヘバ最近「バルプ」用材ノ資材ヲ非常ニ必要トスルト云フヤウナ情勢ニナリマス、サウ云フ點カラ甚ダ遺憾ナ點モアラウト思ヒマス、ソコデ是ハ飢肥全體ノ問題トシテ考ヘマスルト、從來ノヤウナ疎植主義ハ相當改メテ行ク方ガ宜イノデハナイカ、勿論辨甲材トシテノ特殊ノ用途モアリ、特別ノ長所モアリマスルカラ、サウ云フモノヲ一部特殊林業トシテ、其ノ儘殘シテ、之ヲ又發達セシメテ行クコトモ必要ト思ヒマスガ、是ハ勿論飢肥地方ニ於ケル林業家ノ間ニ於テ、サウ云フ點ヲ十分考慮シテ戴キタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 十二條ニハ「販賣スル種苗ニ保證票ヲ添附セシムルコトヲ得」トアリマシテ、添附スルコトヲ強制致シテ居ラナイノデアリマスガ、是ハ本法ノ趣旨カラ言フト、保證票ヲ添附セシムルコトガ原則デア

リマス、又斯様ニ致シマスルコトが種苗ノ
選定ノ上ニ非常ニ宜イト思フノデアリマス

目ダト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ハ如何デ
アリマスルカ

ガ、ドウシテ是ハ絶對條件ニシテナイノデ
アリマスカ、此ノ點ト、ソレカラ保證票ハ

○村上政府委員 御指示ノ通り之ヲ府縣ナ
リ或ハ其ノ他ノ公共團體ニ於テ検査ガ出來

一本毎ニ付ケルノデアリマスカ、桑苗ノ如
キハ山林苗デハアリマセスガ、検査票ヲ添

レバ一番結構ト思ヒマス、併シ只今直チニ
其處マデ行クト云フコトモ頗ル困難ナコト

附シテ販賣シテ居ルヤウデアリマス、併シ
是ハ組合費ヲ徴收スル爲ノ證票ノヤウデア

テ其ノ種子ガ何處カラ來タカ、即チ母樹カ
ラ採ツタモノナラ母樹カラ採ツタモノ、指

リマシテ、別ニ效果ハナイノデアリマス、
唯其ノ保證票ガ形式ニ流レテ、組合費デモ徴

定サレタ母樹カラ採ラナイモノナラサウデ
ナイモノデアルト云フコトト、產地ト云フ

收スル爲ノ保證票添付ト云フコトニナルト
何等ノ效果ガナイノデアリマス、所謂保證

ヤウナコトヲ記シタ證票ヲ付ケナケレバナラ
ナイ、無論之ヲ偽ツタ證票等ヲ付ケマスレ

票ハ少クトモ其ノ種苗ノ値打ヲ想像シ得ル
保證票デナケレバナラナイ、左様ニ致シマ

ニ產地等ヲ明示シタ所ノ證票ヲ付ケサセタ
イト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ法案ガ通り

スルニハ、種苗ノ検査ヲセナケレバナラヌ
ト思フノデアリマス、而モ其ノ検査ハ成ベ

マスレバ、指定シタ種子ニ付テハ全部證票
ヲ付ケタイト考ヘテ居リマス

ク全國統一スベキモノデアリマスルケレド
モ、検査ナシデ證票ヲ添付シテモ何等ノ價

○伊東委員 種子デ苗ヲ作ル場合ハサウデ
アリマセスガ、穗木デ苗ヲ作ル時分ニハ、

値ハアリマセス、又種苗ノ不良ナルハ百年
ノ不作デアリマスルカラ、現在直グ消費致

苗ヲ作ル人ト穗木ヲ採ル人ト區分サレテ居
ルノデアリマス、殊ニ農家ノ副業トシテ穗

シマスル米ヤ麥ヤサウ云ツタモノデサヘモ
検査ヲシテ居ルノニ、長年ノ結果ガ其ノ種

木栽培ヲシテ居ル地帯モアルノデアリマス
ルガ、サウスルト、ヤハリ苗ヲ賣ルト同様

苗ノ良シ惡シニ依ツテ非常ニ價格ニ關係ガ
アル、經濟ニ關係ガアルヤウナ大切ナ此ノ

ニ考ヘ得ル點モアルノデアリマス、此ノ點
ハ如何デアリマスルカ、尙ホ農家ガ副業ト

問題ヲ、販賣業者ガ添附スル唯一片ノ證票
デハ駄目ダ、少クトモ検査票デナケレバ駄

シテ苗木ヲ作ツテ販賣スル場合ノ如キハ取
締ヲ受ケナイノデアリマスルガ、出來ル限

デハ駄目ダ、少クトモ検査票デナケレバ駄
目ダト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ハ如何デ

リ直接苗木ヲ拵ヘテ自家用トスルコトガ將
來ノ爲ニ非常ニ宜イト思ヒマス、左様ニス

目ダト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ハ如何デ
アリマスルカ

ル場合ノ助成ノ方法等ハ御考ニナツテ居ラ
ナイノデアリマスルカ、此ノ點、及ビ種苗

アリマスルカ

ニ對スル害蟲ノ問題ガ本法デハ何等ノ定ヌ
ガナイヤウデアリマスルケレドモ、是ハド

アリマスルカ

ウ云フ工合ニナツテ居リマスルカ、モウ一
ソハ種苗ノ販賣業者ハ届出主義ニナツテ居

アリマスルカ

リマス、是ハ是デ差支ナイト思ヒマスルケ
レドモ、販賣ニ對スル取締規則ヲ別ニ府縣

アリマスルカ

等ニ於テ設ケサセル積リカ、左様ニ致サレ
ナケレバ優良種苗ノ普及及ビ其ノ取締ハ到

アリマスルカ

底困難ダト考ヘテ居リマスルガ、此ノ點如
何デアリマスルカ

アリマスルカ

○村上政府委員 種苗ノ販賣ニ付キマシテ
府縣等ニ於テ取締ノ特別ノ規則ヲ出サレル

アリマスルカ

コトハ、是ハ必要ニ應ジマシテハ出シテ宜
シイト思ヒマス、ソレカラ穗木ニ付キマシ

アリマスルカ

テモ勿論是ハ種苗トシテ扱フノデアリマシ
テ、穗木ニ依ツテ出來タ所ノ苗ヲ販賣スル

ナケレバナラヌ時世ガ來ルカモ分リマセヌ
ガ、將來更ニ考究シタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 林業種苗法ニ關スル質問ハ是
デ打切りマシテ、森林法ニ付テ更ニ二三承

リ直接苗木ヲ拵ヘテ自家用トスルコトガ將
來ノ爲ニ非常ニ宜イト思ヒマス、左様ニス

リタイト考ヘマス、森林ト治山治水事業ハ
全ク不可分ノ關係ヲ持ツテ居リマス、我國

ル場合ノ助成ノ方法等ハ御考ニナツテ居ラ
ナイノデアリマスルカ、此ノ點、及ビ種苗

ハ毎年洪水ニ依ル損害ガ非常ニ莫大ナモノ
デアリマシテ、隨テ國費モ地方費モ頗ル此

ニ對スル害蟲ノ問題ガ本法デハ何等ノ定ヌ
ガナイヤウデアリマスルケレドモ、是ハド

ノ方面ニ使ツテ居リマス、即チ河川堤防等
ノ治水工事ヲ徹底スルコトハ勿論必要デア

ウ云フ工合ニナツテ居リマスルカ、モウ一
ソハ種苗ノ販賣業者ハ届出主義ニナツテ居

リマス、併シ其ノ根本問題トシテハ、ドウ
シテモ治山政策ヲ前提トシナケレバ、治水

リマス、是ハ是デ差支ナイト思ヒマスルケ
レドモ、販賣ニ對スル取締規則ヲ別ニ府縣

計畫ト云フモノハ根本カラ破壊スルコトニ
ナル、治山治水ノ事業ハ、全ク右申上ゲル

等ニ於テ設ケサセル積リカ、左様ニ致サレ
ナケレバ優良種苗ノ普及及ビ其ノ取締ハ到

ヤウニ、本法トノ不可分關係ガアリマシテ、
先ヅ本法制定ノ存在價值ト云フモノモ茲ニ

底困難ダト考ヘテ居リマスルガ、此ノ點如
何デアリマスルカ

存スルト考ヘテ居リマス、由來歷代ノ内閣
ガ治水事業ニハ莫大ナ國費ヲ使ツテ參リマ

何デアリマスルカ

シタ、併シ其ノ根本デアル治山事業ノ經營
施設ニハ餘リニモ貧弱デアアル、併シ本法ガ

○村上政府委員 種苗ノ販賣ニ付キマシテ
府縣等ニ於テ取締ノ特別ノ規則ヲ出サレル

改正サレタ趣旨ノ如キモ、兎角其ノ點ニア
ラウカト思フノデアリマス、又豫算關係等

コトハ、是ハ必要ニ應ジマシテハ出シテ宜
シイト思ヒマス、ソレカラ穗木ニ付キマシ

ニ付テモ、段々御話ヲ聽キマシテ非常ニ力
強く考ヘルノデアリマス、ソコデ治水ノ方

シイト思ヒマス、ソレカラ穗木ニ付キマシ
テモ勿論是ハ種苗トシテ扱フノデアリマシ

法トシテハ、色々其ノ方法モアルノデアリ
マスガ、先般來私モ質問致シマシタヤウニ、

アリマスルカ

ニシテ行キタイト考ヘテ居リマス、害蟲驅
除ハ此ノ法案トシテハ別ニ觸レテ居リマセ

アリマスルカ

ス、是ハ更ニ進ンダソレニ關スル立法ヲシ

アリマスルカ

ナケレバナラヌ時世ガ來ルカモ分リマセヌ
ガ、將來更ニ考究シタイト考ヘテ居リマス

アリマスルカ

○伊東委員 林業種苗法ニ關スル質問ハ是
デ打切りマシテ、森林法ニ付テ更ニ二三承

アリマスルカ

リタイト考ヘマス、森林ト治山治水事業ハ
全ク不可分ノ關係ヲ持ツテ居リマス、我國

アリマスルカ

ハ毎年洪水ニ依ル損害ガ非常ニ莫大ナモノ
デアリマシテ、隨テ國費モ地方費モ頗ル此

アリマスルカ

ノ方面ニ使ツテ居リマス、即チ河川堤防等
ノ治水工事ヲ徹底スルコトハ勿論必要デア

アリマスルカ

リマス、併シ其ノ根本問題トシテハ、ドウ
シテモ治山政策ヲ前提トシナケレバ、治水

一番大切ナノハ保安林ノ制度ノ問題デアリマス、此ノ點ニ付テハ先般來カラノ御話デ能ク分リマシタ、所デ御話ノアツタヤウナ、最近ノ神戸ノ水害等ニ對スル補助金モ承リマシタガ、殊ニ九州ノ南端大隅半島、及ビ宮崎縣ノ南部ノ水害ノ如キハ、全ク前代未聞ノ大慘狀ヲ呈シテ居リマス、由來森林ノ濫伐ガ災害ノ原因ヲ成スト私共ハ今日マデ考ヘテ居リマシタケレドモ、今回九州地方ニ起ツク災害ノ狀況ヲ見テミマス、濫伐モ其ノ原因ノ一ツデアリマスケレドモ、其ノ主ナル原因ハ、僅カノ時間ニ非常ナ莫大ナ雨量ガアツテ、之ヲ支ヘルコトガ出來ナカツタコトガ一番大キナ原因ノヤウニ思フノデアリマス、其ノ結果ガ山林ノ崩壞、土砂ノ流失、河川ノ埋没ト云フヤウナコトニナツタノガ、延イテ全面的ノ水災害トナツテ居リマス、イマーツハ自然ニ反シタ河川堤防ノ築設、或ハ耕地ノ擴張、或ハ無理ニ埋立ヲヤツテ宅地ヲ作ルト云フコトノ如キモ、其ノ主ナル原因デアリマス、之ヲ防止スルニ付テハ、内務省ニモソレ、關係ガアリマスシ、農林省ニモソレ、關係ガアル、尙ホ農林省ノ中デモ、山林局ト耕地課等ノ關係ガ不統制ナル爲ニ、耕地擴張ガ却テ水害ノ原因トナリ、或ハ内務省カラ云フ

ト、河川ヲ廣クシナケレバナラスニモ拘ラズ、片一方ハ狹メルコトガ耕地ヲ得ル目的ダト云フヤウナコトデ、ソコニ非常ナル不統制ガアルコトガ大キナ原因ノヤウニ私共ハ見ルノデアリマス、尙ホ實地ニ山ノ崩レタ狀況ヲ見テ見マス、多クハ針葉樹ノ所ハ非常ニ崩壞シ易クテ、闊葉樹ノ所ハ崩壞シナイ、同じ針葉樹ニ致シマシテモ、栽植後十四、五年ノ間ガ一番土地ガ崩壞スルヤウデアリマス、此ノ崩壞ヲ防グコトモ亦災害防止ノ一ツノ大キナ問題デアリマス、ソレニ付テ來ルノガ砂防工事デアリマス、ニハ相當力ヲ入レテ居ラレルヤウデアリマス、モウ一ツノ問題ハ、内務省ガヤリマス所ノ砂防工事ハ、主トシテ川ノ邊リノ所謂砂ノ流れ出ナイ方法ヲ採ツテ居ル、山林局ハ山ノ崩壞シナイヤウナ方針ヲ採ツテ居ル、其ノ目的ハ非常ニ結構デアリマスケレドモ、工事ヲ施行スル時分ニドウモ統制、統一ガ取レズニ——地方デハ左様ナ工事ヲシテ貰フコトハ非常ニ結構ダガ、統制ガ取レナイ爲ニ非常ニ困ルヤウナ場合ガ今日マデアルノデアリマスガ、是等ノ方針等ニ付テ如何ナル所見ヲ持ツテ居ラレマスカ

○村上政府委員 内務省ノ砂防工事ト農林省ノ治水工事トノ間ハ、十分ナル連絡ヲ取ツテヤラナケレバナラスト思ヒマス、ソレデ現在ニ於キマシテモ、兩省ノ間ニ於テ固ク一ツノ内規ヲ設ケテ居リマシテ、山腹工事ニシテ主トシテ造林ヲ必要トスルモノハ農林省ニ於テ行ヒ、溪流工事ニ於テ主トシテ河川ノ流通ヲ良クシ、併セテ其ノ溪流ニ崩レ出ル所ノ砂ヲ防グ、即チ砂防工事ハ内務省ノ方ニ於テ行フ、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、而シテ實地ニ於キマシテモ必要ニ應ジマシテハ關係各廳會議ヲ催シマシテ、其ノ大體ノ擔當面積、地域ヲ決メテ居リマス、過般ノ鹿児島、宮崎地方ノ大水害ノ跡ノ復舊工事等ニ付キマシテモ、特ニ農林省、内務省等ガ協議ヲ催シマシテ、大體ヲ步調ヲ打合セ、行フ所ノ工事ノ設計等モ持寄りマシテ、互ノ間ノ連絡ガ十分ニ付クヤウニ協議ヲ進メテ、ソレニ依ツテ實行スルコトニナツテ居リマス

○伊東委員 砂防工事ノ如キ、從來餘リ役ニ立タナイト考ヘテ居リマシタケレドモ、事實ヲ能ク見テミマス、是ハ森林經營ト非常ニ大切ナ關係ガアルコトヲ、今回ノ水害等ニ依ツテ特ニ發見致シマシタ、今後多益、豫算ノ増額ニ依ツテ、是等ノ施設ヲ十分ニサレンコトヲ希望致シマス

更ニ林道施設ニ付テモ、他ノ委員カラ段御話ガアリマシタ、又林道施設ト造林政策ノ關係ハモウ申上ゲルマデノコトモアリマセヌカラ、此ノ點ハ申シマセヌガ、ドウカ今後一層林道ノ施設ヲヤツテ戴キタイノデアリマス、尙ホ此ノ場合ニ於テ御尋シタイコトハ、官有地ノ中ニ縣道若クハ町村道ヲ作ル場合ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ各縣トモ非常ニアルコトと思フノデアリマス、縣道若クハ町村道ヲ作レバ、此ノ道ノ利用ニ依ツテ林產物ノ搬出等ニ非常ニ便利デアリ、又此ノ爲ニ運賃ガ安クナリ、生産費モ安クナルト云フコトニナルノデ、隨テ國有林ノ產物ヲ搬出サレル場合ニ、非常ナ利益ヲ農林省ハ受ケルコトニナルノデアリマス、所デ此ノ縣道若クハ町村道ヲ作ルニハ夥シキ費用ヲ要シマス、然ルニ官有地ヲ通過スル道路ノ受益者ハ、官廳ソレ自體ガ利益ヲ受ケルノデアリマス、デアルカラ左様ナ縣道若クハ町村道ノ開鑿ノ場合ニハ、官廳ガ其ノ受益者負擔ヲスベキガ當然ダト考ヘテ居リマス、是ハ今マデ負擔サレタコトモアルノデアリマスガ、其ノ率ガ段少クナリ、或ハモウ殆ド其ノ負擔ヲシナイト云フヤウナコトニナツタノデアリマス、是ハ農林省自身ガ林道ヲ御造リニナルヨリ

モ、府縣自治團體ニ於テ斯ウ云ツタヤウナ
大キナ道路ヲ作ル場合ニハ、當然受益者負
擔ヲスルカラト云フコトデ、積極的ノ方針
ヲ執ラシテ、サウシテドシ、斯様ナ完全
ナ町村道ヲ作ラセルト云フヤウナ方法ヲ執
ラレルコトガ宜イト思フノデアリマス、此
ノ點ハドウナツテ居ルノデアリマス、又
將來ノ方針ニ付テ御伺シマス

○村上政府委員 町村道併用林道ハ今デモ
大分ゴザイマシテ、斯様ナモノニ付キマシ
テハ、國ト致シマシテモ、自ラ工事ノ一部
ヲ擔任シテ、場合ニ依リマシテハ國ガ殆ド
全部ヲ實行スルト云フヤウナコトモゴザイ
マス、ソコデ受益者負擔ノ意味ニ於テ、國
ハ金ダケ出シテ、工事ノ方ハシナイト云フコ
トハ、是ハドウモ國有林ヲ通ズル林道等ノ
如キモノニ於テハ、ヤハリ國自ラガ工事ヲ
實行スルト云フ方針ヲ執ル方ガ宜イト思ヒ
マス、今後モウサ云フ風ニシテ行キタ
イト思ヒマス、勿論ウサ云フ町村併用林道
ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、十分御
便宜ヲ圖リ、町村等ノ御意見モ能ク容レマ
シテ、サウシテ林道ヲ作ル、斯様ナ場合ニ
於テハ工事ノ一部ハ無論國ニ於テ負擔スル
積リデアリマス

○伊東委員 林道、町村道併用ノ場合ノ御

説明ガアリマシタガ、縣道開鑿ノ場合ニ、
縣道ヲ作ルト云フヤウナ所ハ相當ナ森林地
帶デ、相當ノ經費ガ要ルノデアリマス、ソ
コデ國ガ之ニ受益負擔ヲスルナラバ、其ノ
開鑿ガ容易デアリ、其ノ結果ガ非常ニ官民
共ニ利益デアルト云フヤウナ場合ノ受益負
擔ノ關係ハ如何デアリマス

○村上政府委員 縣道ノ場合ニ於テ國ガ受
益負擔ヲ金ダケ出シタ例ハ今マデナイト思
ヒマス、今後モ金ダケ出スト云フコトハ、
是ハ少シ研究シテ見マセスト明言ハ出來マ
セヌガ、色々ナ法律上困難ハナイカト思
ヒマス、其ノ點ハ十分研究シテ見タイト思
ヒマス

○伊東委員 金ダケ出シタ例ガアルノデア
リマス、場所ヲ申上ゲマスルト、宮崎縣ノ
飯肥北郷ヲ經テ田野ニ出ル非常ナ優秀ナル
縣道ガアルノデアリマシテ、モウ二里位作
リマスト完全ナル縣道ニナリマス、而モ是
ハ日本デ有名ナル森林地帯デアリマス、人
工林トシテ是レ位立派ナモノハ恐ラク日本
ニアリマセヌ、和歌山縣ノ吉野杉地帯ヨリ
以上立派ナ所デアリマス、ソレハ殆ド國有
地デアリマス、而モ部分林デアリマス、民
有デハナイノデアリマス、此處ニハ二、三
年相當ナ金ヲ受益負擔金トシテ國ガ負擔シ

タ場合ガアルノデアリマスケレドモ、其ノ
後ドウ云フ理由カ知ラヌガ之ヲ打切ツタ爲
ニ、其ノ道路ノ完成ガ今日マデ出來ナイ、
地方デハ之ヲ非常ニ遺憾ニ致シテ居リマス
民有地ノ開拓デナクシテ、是ハ國有地ノ非
常ナル開拓ト利益ニナルノデアリマスルカ
ラ、此ノ問題ニ付テハ、金ダケ出シタコト
ハナイト仰シヤイマスケレドモ、事實アル
ノデアリマスルカラ、特ニ御再考ヲ仰ギタ
イト考ヘマス

○村上政府委員 更ニ研究シテ見マス

○伊東委員 バラ／＼ナ質問デアリマスル
ガ、林業指導員ノ問題デアリマス、森林組
合ヲ作リマスコトガ本法改正ノ重要ナル點
デアリマス、是ト關係致シマシテ、森林組
合ノ活動ハドウシテモ林業指導員ノ設置ト
其ノ活動ニ俟タナケレバナリマセヌ、由來
縣ニ依リマシテハ各町村ニ縣ノ林業技手ヲ
配置シ、或ハ町村ニ林業技手ヲ雇ツテ居ル
所モ相當アルノデアリマス、併シ積極的ニ
森林組合ヲ獎勵致シマス、一層林業指導
員ノ必要ガ切實ニナツテ參リマス、所デサ
ウナリマス、適當ナ人ガ居ナイト云フ
コトニナリマス、此ノ技術員ノ養成機
關等ニ付テモ相當御考ニナツテ居ルコトト
思フノデアリマス、尙ホ配置待遇等ニ付テド

ウ云フ工合ニ考ヘラレテ居ラレマス、是
ト併セテ考ヘル問題ハ、同ジ森林保護ノ問
題デアリマスルガ、斯ウ云フ役人ノ力デ森
林ヲ保護シテ行ク場合モアリマスケレド
モ、非常ナル地積ヲ有スル國有林、民有林
ニ付テハ、中々左様ナ指導監督ダケハ旨
ク行カナイ、ドウシテモ地元ノ協力ニ俟タ
ナケレバナラス、其ノ立場カラ最近森林消
防組ト云フモノヲ段々作ルヤウニナリマシ
タ、サウシテ火災ノ豫防其ノ他ニ非常ナル
活動ヲスルト云フヤウナコトニナリマシテ、
洵ニ是ハ結構ナコトト思フノデアリマス、
將來多々益、積極的ニ獎勵スベキモノト思
フノデアリマスケレドモ、之ニハ相當ナ人
ガ要ルバカリデナク、特殊ナ消防器具ガ要
ルノデアリマス、是等ニ對スル助長ノ
途等ヲ開カレルコトガ非常ニ必要ダト思フ
ノデアリマス、現在森林消防組ノ活動ト云
フモノハ實ニ見ルベキモノガアルト思フ
デアリマスルガ、此ノ點ニ付テモ併セテ御
答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

○村上政府委員 優良ナル技術指導員ヲ得
ルコトハ林業興隆上カラ言ツテモ非常ニ必
要ト思ヒマス、現在デモ年々卒業生ハ甲種
農林學校ノ程度マデ入レマスレバ二千人餘
ニ上ツテ居リマスガ、更ニ是等ノ人ノ中特

別指導者ニ付テハ農林省ニ於テ講習等ヲ致シマシテ、其ノ技術ノ上達ヲ圖リタイト思ツテ居リマス、ソレカラ森林消防組ノ特設、ソレニ對スル所ノ各種ノ消防用ノ器具機械等ノ助成、斯ウ云フコトモ十年來ノ懸案デアリマシテ、私共ハ財政ノ許ス場合ニ於テハ、斯ウ云フ方面ニ對スル助成ノ途ヲ開キタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○伊東委員 最後ニ結論的ノ質問ヲ致シテ私ノ質問ハ終了致シマス、森林法改正ニ臨ミマシテ色々御所見ヲ承リ、私共モ見聞ヲ非常ニ廣ク致シマシタ、併シ此ノ法律ノ改正ト共ニ、又長イ間審議致シマシタノデ、何等カノ收穫ダケハ得タイト私共考ヘテ居リマス、併シドウ云フ收穫ガアルカト云フコトニナルト、各々各委員ニ於テ違フダラウト思ヒマス、併シ私ノ信ズル所ヲ申上ゲ、且又農林當局ノ非常ナル御援助ヲ得テ是非トモ具體化シタイ問題ガアルノデアリマス、之ヲ一應申上ゲテ、サウシテ御意見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、先般來各委員ノ質疑ガ色々アリマシタ中デ、私ハ國有林ノ產物拂下問題ト、國有林野ノ開放問題ニ付テ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス、第一ハ國有林ト部落ノ緊密化ノ上ニ薪炭用材ヲ部落ニ對シテ特賣方針ヲ採ル

コトヲ明示サレマシテ、而モ拂下代金ノ分納制度ノ確立ヲ聲明シテ戴キマシテ、洵ニ結構ニ考ヘマス、二ハ林產物ノ競賣主義ノ弊害ヲ御認ニナリマシテ、將來十分改善スルコトヲ御聲明ニナリマシタ、是ハ出來ル限り早急ニ改善ヲヤツテ戴キタイと思ヒマス、三ニ國有林野内ノ牧畜用ノ雜草ハ北海道長官ノ説明ニ依リマスルト、一般ニ之ヲ利用セシムル方針ヲ明示サレマシタガ、是ハ内地ニ於テモ左様ニ承知シテ宜イノデアリマス、又牧野開放ハ今後ノ程度ニサレルノデアリマス、之ニハ相當ナ設計ガアラウト思フノデアリマスガ其ノ内容、四ニ小開墾適地ハ關係部落民ニ積極的ニ拂下若クハ貸地、開墾セシムルト云フコトニ付テハ、私ノ質問ニ對シテ、明ニ山林局長ヨリ御答ニナリマシタ、尙又去ル十六日ノ伊藤五郎委員ノ質問ニ對シマシテ、官有地内ノ開墾適地ノ拂下ハ資本家ノ土地兼併ヲ防止スル爲ニ、國自ラガ開墾シテ貸付クルト云フヤウナ意味ノ御答辯ガアリマシタ、私ハ此ノ點ニ付テ特ニ御尋シタイト思フノデアリマス、私ハ昨年ノ農地法案上程ノ場合ニ、本會議ニ於テ官有地ノ計畫的開墾ト云フモノヲ非常ニ主張致シタノデアリマス、併シ之ニ對シテハ其ノ當時確實ナ

答辯ガナカッタコトヲ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマシタ、即チ官有地内開墾適地ニハ國ガ直接計畫的ニ開墾ヲ行フ、其ノ方法ハ先ヅ或ル地域ヲ定メテ道ヲ拵ヘル、區劃ヲスル、或ハ水路ヲ造ルト云フ基本的開墾ヲヤツテ、而モ之ヲ直營ニシテ、サウシテ是ガ而モ計畫的デナケレバナナイト思フノデアリマス、此處マデヤツタモノヲ農家ニ拂下ゲル、農家ニ拂下スル場合ニハ自作農創設ニ依ル方法ヲ採ルト云フコトト、モウ一ツハ移住家屋獎勵費等ノ該當等ニ依ツテ農家ヲ移住セシムル、斯ウ云フヤウナ方針ヲ採ルコトガ非常ニ大切ナ問題デアルノデアリマス、御話ノ如ク濫リニ官有地ヲ拂下ゲルト云フト、其ノ當時ハ其ノ部落民其ノ個人達ガ喜ビマスケレドモ、遂ニハ資本家ガ其ノ土地ヲ兼併致シマシテ、寧ロ以前ニモ増シテ困ル場合ガアルノデアリマス、但シ國ガ斯様ナ方法ヲ採ツテ之ヲ貸地スル、或ハ自作農創設ニ依ルト云フヤウナ方法ニナリマスナラバ、資本家土地兼併ノ弊ヲ斷ジテ防止スルコトガ出來ルト云フ洵ニ有效適切ナル方法ダト私ハ昨年力説致シマシタ、所ガ此ノ議會ニ於テ斯様ナ目論ヲ農林省ハ持ツテ居ル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、持ツテ居ラレト云フ御聲明デハイケナイ

ノデアリマス、持ツテ居ラレルナラバ、一刻モ早ク之ヲ實行ニ移シテ貰ヒタイト思フノデアリマス、承リマスルト、今年ノ豫算ニモ是等ノ豫算ヲ出サウト云フ目論ガアツタカノヤウニ漏レ聞クノデアリマス、併シ總テノ豫算ノヤリ繰リ上、斯様ナ大切ナ問題ガ取殘サレタコトハ私共非常ニ遺憾ニ存ジマス、是ハ少クトモ生産擴充ガ斯様ニ叫バレ、農產物ノ生産増殖ヲ叫バレル今日ニ於テ、斯ウ云ツタヤウナ問題コソ先ニ解決シナケレバナラヌ重大性ヲ持ツテ居ル、極メテ妙味ヲ持ツテ居ル問題ダト思フノデアリマスルガ、今年ハ追加豫算ニ出サウトサレテモ難シイコトト思フノデアリマスルカラ、是非來年ノ豫算ニ之ヲ織込ムヤウニ、一ツ農林當局ノ精々御配慮ヲ願ヒ、又吾々モ此ノ問題ノ實現ノ爲ニハ十分ナル努力ヲ拂ヒタイト考ヘテ居リマス、此ノ豫算ヲ計上サレナカッタ経緯ニ付テハ私御聽キ致シマセヌ、唯現在持ツテ居ラレル農林省ノ計畫ノ内容ガ、御示シ出來レバ是非此ノ場合御願シタイト思フノデアリマス、先ヅ是ダケ御伺致シテ置キマス

○村上政府委員 現在既ニ開墾適地トシテ不要存置ニ決定サレテ居ルモノガ三千町歩位アリマス、是等ノモノハ大體孤立シタヤウ

ナ關係、或ハ平坦ナ土地ト云フモノデアリ
マシテ、是ハ特ニ拂下ヲシテ行ク積リデア
リマス、尙ホ從來開墾地ト認メラレズシテ、
要存置國有林ニ包容サレテ居ルモノニ付キ
マシテ、今後食糧政策上、又山村ニ於ケル
食糧自給ノ關係上、之ヲ開放スベキモノガ
アラウト思ヒマス、是等ノモノニ付キマシ
テハ、先日モ此處デノ御答辯申上デマシタ
ヤウニ、事情ニ依リマシテ、或ハ拂下、或
ハ貸付ヲ實行致シマス、尙ホ山村ニ於キマ
シテハ、自己ニ於テ開墾ノ費用ノナイ、又
ハ無理シテ他カラ、苦面シテ開墾費ヲ捻出
スル時ニハ、忽チ其ノ開墾ノ結果ハ之ヲ他
人ニ兼併サレシマフト云フヤウナ所モ
アラウト思ヒマス、是等ノ所ニ付キマ
シテハ、將來國ノ方ニ於テ開墾ノ地均
シラスル、只今伊東サンノ仰セラレタ
通りニ、溝ヲ造ルトカ、區劃ヲスルト云フ
ヤウナ或ル程度マデノ開墾ヲコチラデ致シ
マシテ、ソレヲ部落住民等ニ貸付ケテ、其
ノ開墾ノ實現ヲ期シタイト思ヒマス、其ノ
面積等ハ尙ホ精密ニ調査ノ上デナケレバ直
チニ幾ラト申上デ兼マス、尙ホ薪炭林ニ付
キマシテハ既ニ申上デマシタ通りニ、今後
之ヲ地元住民ニ薪炭資材ハ特賣ノ方法ヲ執
リ、尙ホ此ノタビ特ニ代金延納ノ途ヲ設ケ

マシテ、薪炭材ノ資材ニ便宜ヲ圖リマシタ
コトハ前ニ申上デタ通りデアリマス、ソレ
カラ綠肥等ノ爲ノ下草ノ採取、是等ニ付キ
マシテハ、簡易委託林制度ヲ全國的ニ擴充
致シマシテ、無償採取ヲ致シタイト存ジマ
ス、尙ホ牛馬ノ放牧地、是ハ從來所謂放牧
限定地、或ハ採草限定地ヲ設ケマシテ、是
ガ今日本全國ニ慥カ十六万町歩位ニナツテ
居リマス、之ヲ更ニ擴充スルカドウカ、是
ハ馬政計畫ニ伴ヒ、今重要ナ問題ニナツテ
居リマス、是ハ私共モ此ノ間本會議ニ於テ
大臣ガ答辯致シマシタヤウニ、營林ニ支障
ナキ範圍ニ於キマシテ、馬產上特ニ重要ナ
モノニ付テハ國有林ノ開放ニ付テモ考慮ス
ル、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマ
ス、ソコデ然ラバ是カラドレダケノ國有林
ノ適地ガアルカドウカト云フコトハ、本年
度豫算ニ其ノ適地調査ノ費用ヲ取ツテ居リ
マシテ、此ノ一年間ニドレダケノ適地ガア
ルカト云フコトヲ調べマシテ、其ノ結果ニ
依ツテ開放スベキモノハ開放シ、然ラザル
モノハサウデナク致シタイ、斯ウ考ヘテ居
リマス、調査ノ結果ニ依リマセスト今何町
歩アルカト云フコトハ一寸分り兼ネマス
○伊東委員 國有林ノ開放ノ問題ニ付テノ
内容ガ非常ニ明確ニナリマシテ、洵ニ喜バ

シク考ヘマス、特ニ前段御説明ニナリマシ
タ國ガ計畫の開墾ヲヤツテ、關係部落民ニ
貸地ナドヲシテ、山村民ノ救済及ビ食糧問
題ノ解決ニ資スルト云フ此ノ問題ニ付テハ
少クトモ明年ノ議會ニ豫算ヲ要求サレルヤ
ウニ御願致シテ置キマス、尙ホ馬產計畫ト
採草地ノ開放ノ問題ニ付テハ、既ニ調査費
ガ豫算ニ計上サレテ居リマスコトハ御話ノ
通りデアリマシテ、是等ノ實現ニ付テハ畜
產局ト山林局ト適切ナル連絡ヲ取ラレ、サ
ウシテ馬政計畫ノ實現ノ上ニ山林局トシテ
モ相當御考慮アラシコトヲ希望致シマス
尙ホ最後ニモウ一點國有地ニ關聯致シマ
シテ申上ゲテ置キタイコトハ、國有地ニ對
シテ部分林制度ヲ採用シテ、サウシテ國有
地ヲ民間ニ利用セシムル方針ニ付テハ、先
般御聲明ニナツタ通りデアリマスガ、殊ニ
紀元二千六百年記念造林ニ付テハ、縣若ク
ハ町村トモ積極的ニ之ヲ要望スルコトト思
ヒマスノデ、此ノ實現ニ付テハ相當御協力
ヲシテ戴キタイト思ヒマス、尙ホ又之ニ付
テノ先般ノ聲明モアツテ、私非常ニ意ヲ強
ウスル者デアリマスガ、宮崎縣ノ如キハ今
度ハ皇祖發祥ノ地トシテ、記念造林ヲ少ク
トモ縣營デ何デモ一千町歩位ハヤルコトト
思フノデアリマス、併シ造林シヨウトスル

候補地ハ、新設定地區内デアルカノヤウニ承
ツテ居リマスノデ、新設定區ハ部落民ノ特
權ガアルノデアリマシテ、部落民ヲ基礎ニ
シテ此ノ設定區ヲ設ケル、併シ記念事業ノ
爲ニ此ノ新設定區ノ内ノ一部分ヲ割カセテ
造林ヲスルト云フコトニ付テハ、地元ト縣
ト諒解サヘ出來レバ、之ニ越シタコトハナ
イト思ヒマスケレドモ、縣ハ左様ニ考ヘテ
モ、先取特權ヲ持ツテ居ル部落ガ之ニ應ズ
ルカドウカト云フコトモ相當考ヘナケレバ
ナラナイ問題デアリマス、之ニ付テハ農林
省ハ直接ニハ御關係ニナラナイト致シマシ
テモ、私共モ此ノ双方間ニ相當圓滿ナル諒
解ノ出來ルコトヲ希望致シマスルガ、尙ホ
是ハ農林當局マデ持出シテ問題ニナルカモ
知レマセヌ、出來ル限リ圓滿ナル解決ニ依
ツテ意義アル二千六百年記念造林ノ設立ヲ
私ハ切實ニ希望スルモノデアリマス、特ニ
先程カラ或ハ先般來申上ゲルヤウニ、宮崎
縣ニ於ケル部分林制度ノ如キハ實ニ特長
ヲ持ツテ居リマス、斯ウ云ツタ制度ヲ全國
的ニ普及サレルコトガ造林計畫ノ一ツノ便
法デハナカラウカ、左様ニ考ヘマス、尙ホ
又盛ニ國自ラガ官行造林ヲ造ツテ居ルヨ
リモ、斯ウ云ツタ部分權ヲ民間ト約束シテ民營
官有ノ部分權ヲ設定シテ、サウシテ民ノ力ニ

依ツテ造林ノ完成ヲ圖ルト云フコトガ全ク私ハ理想的ダと思フノデアリマス、今日ノ如ク勞力ガ行詰リ、勞銀ガ高クナルト、官行造林ト云フモノノ行詰リヲ見ルコトハ、

國土保安、治山治水ノ政策ヲ確立サレルヤウニ希望致シマシテ私ハ質問ヲ打切りマシガ、此ノ點ニ付テ一應山林局長ノ御所感ヲ承ツテ置キマス

私ハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思フノデアリマスカラ、寧ろ左様ナ點ハ土地ハ國有

○村上政府委員 國有地ニ民力ヲ造林スル

デアツテ造林自體ハ民間ニ之ヲ造林セシムルト云フヤウナコトガ理想的デアアル、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス、併シ由來部

ノガ理想的形態デアルト仰セラレマスガ、是ハ色々事情モアリ、縣々ノ事情ニ依ツテ一概ニドウト云フコトヲ此處デ申上ゲルコトハ出來ナイカト思ヒマス、唯御承知ノ

分林ト云フモノハ、國有地トシテ施業ヲ制限サレト思ヒマスカラ、無制限ニハ是ハ

マシテ、勞力等ニ付キマシテモ國ガ徹底的ニ助成シナケレバ、中々造林ノ實ガ擧ラナ

之ヲ從來ノ慣行、地元民ノ生業トノ關係、國トシテノ部分林トスルコトガ大局的ニ利益ダト云フヤウナコトヲ斟酌シテ、部分林

イト云フヤウナ實情ニアリマスノデ、國ガ伐ツタ後ノ造林ハ、ヤハリハハ國力ヲ以テスルコトガ普通ノ場合ニ於テハ適當デア

設定區ト云フモノヲ拵ヘル、即チ從來官ノ考ヘテ居ル、所謂農林省ガ考ヘテ居リマス

ハナイカト思ヒマス、尙ホ現在ノヤウナ官行造林施設ハ、是ハ町村等ニ於テ資力ガ足ラズ、自分ノ山ヲ中々其ノ儘デハ造林ガ出

考ヘテ修正シテ貰ヒタイト思ヒマス、ソレハ今マデハ國自ラガ造林スルヨトガ利益ダト云フ觀念ヲ持ツテ居ラレルノデアリマ

來ナイト云フ所ニ國ニ於テ官行造林契約ニ依ツテ造林ヲ實行シテ居ルヤウナ次第デア

スケレドモ、將來ハ今言ツタヤウニ、部分林制度等ガ最も適切デアアル、斯ウ云フヤウ

リマス、斯様ナコトハ造林ノ發達シテ居ル所ニ於テハ其ノ必要ガアリマセスケレドモ、

ニ考ヘテ居リマスノデ、是等ノ方針ニ付テモ御再考ヲ願ヒ、而シテ部分林制度ノ大擴張ヲ斷行サレンコトヲ希望致シマス、以テ

一般的ニ見レバ尙ホ其ノ必要ガ強イノデアリマシテ、ヤハリ國ト致シマシテモ、國ノ費用ヲ造林スルト云フコトニ全力ヲ擧ゲテ

行カナケレバナラスト思ヒマス、勿論民ノ方ニ於テサウ云フ造林ノ希望ガアリ、又造林ノ資力モアリ、或ハ國ニ於テ相當提供シ

トデアルト思フノデアリマス、此ノ立法技術ノ基本的基調ニ付テ、法制局アタリ德斯

テ宜イヤウナ林地ノアリマス所ニ付テハ、只今伊東サンノ仰セノ通り部分林ヲ考ヘルコトモ一策デアラウト思ヒマスガ、全般的

ウ云フ種苗法ト云フヤウナモノニ付テ、初メカラ何等異議ハナカツタノデアリマスカ、何カサウ云フ點ニ付テノ交渉ガアリマシタ

ノ方針トシテハ國有林ニハ國ガ造林シテ行ク立場ヲ取ツテ行カナケレバナラスト思ヒマス

カドウカ、其ノ經緯ヲ一寸伺ヒタイ

○伊東委員 私人質問ハ是デ打切りマス

○村上政府委員 從來農林省デ林業種苗ノ改良ニ付キマシテハ、國有林ニ對シテ母樹

○長野委員長代理 池田君

シタ所ノ種ヲ民ニ拂下ゲテ居リマス、尙ホ是ハ一部地方廳或ハ皇室林野局等ニモ御協

○池田委員 林業種苗法ニ付テ極ク簡單ニ御伺致シマス、此ノ法律ハ大變細カイ規定

力ヲ願ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、左様ナコトデヤツテ居リマスケレドモ、母樹

ノヤウニ思フノデアリマスガ、從來ハ斯ウ云フ種苗ノ改善等ニ付テハ山林局デハドウ

ヲ國有林ノミニ求メルノデハヤハリ足リマセヌノデ、一般民間ノ持ツテ居ル木ニモサ

云フ態度ヲ執ラレテ居ルカ、其ノ邊ヲ伺ヒタイノデアリマス、ドウモ立法技術ノ上カ

ウ云フ母樹ヲ設定シテ、ソレカラ優良ナル所ノ種苗ヲ採ル必要ガアラウト思ヒマス

ラ斯ウ云フ細カイ法律ガ盛シニ出ルト云フコト自體ガ、私共法律事務ニ携ツテ居ルノ

ソレカラ第二ノ販賣種苗ニ付キマシテハ、從來何等ノ取締ガナイ爲ニ、往々ニシ

デアリマスガ、實ニ其ノ煩ニ堪ヘヌヤウナ氣持ガスルノデ、何トカ是ハ山林局アタリ

テ稚木カラ採ル、甚シイノハ往來ニアル所ノ杉ノ垣根ノ實ヲ採ツテヤルト云フヤウナ

デ之ヲ法律化シナイデ、指導誘掖シテ行ク

コトモアリマスノデ、サウ云フモノカラ出

ト云フコトダケデ、圓滿ニ運行ガ出來ルデ

タ苗木ヲ植エマス、此處デ皆サンカラ

ハナイカト思フノデアリマス、一木一草ヲ

屢、御話アリマシタヤウニ、十年十五年ノ後

採ツタ爲ニ直チニ制裁ヲ受ケナケレバナラ

アリマスノデ、今後造林制度ヲ徹底的ニ獎

勵スル場合ニ於テ、折角造林費ヲ掛ケマシク所ノ造林地ガ、十年十五年経ツテ全然物ニナラヌト云フコトハ、極メテ不得策デアリマスノデ、茲ニ斯様ナ立法ヲ致シタノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ法制局等ニ於テモ十分御諒解ガアツタ次第デアリマス

○池田委員 本法ヲ施行スルニ付テノ國家ノ經費ハドノ位ノ程度デアリマセウカ

○村上政府委員 本年度ニ於テハ約一萬八千圓デ、來年度ハ其ノ倍ニナツテ居リマス、是ハ補償費ダケデアリマシテ、ソレ以外ノ費用ハ現在ノ一般のナ森林行政費カラ支辨スル積リデアリマス

○池田委員 此ノ法律ノ案文ヲズツト見マスト、種苗ノ採取販賣等ニ付テノ制限制裁ガアルダケデ、個々ノ積極的指導方針ニ付テハ一切觸レテ居ラナイノデアリマス、殆ド制裁規定ニナツテ居ツテ、其ノ制裁規定ニ依ツテ、良種ヲ豊富ニ供給スルト云フ目的ヲ達シタイト云フヤウナコトデアリマス、併シ種苗ノ採取販賣ヲ制限スルト云フダケデ、從來ノ指導誘掖ハオヤリニナラヌト云フ譯デハナイト思フノデアリマスガ、ドウモ消極的デ、是デハ其ノ目的ニ達セラレヌノデハナイカト思ヒマス、言ヒ換ヘレバ、個々ノ山村、林業家ガ大規模ノ植林ヲヤル

ヤウナ場合ニハ、自ラ種ヲ採ツテヤル、良イコトハ何人モ希望スルノデ、自ラ進ンデサウ云フコトヲヤルデアリマセウガ、唯間題ハ種ヲ賣ル人ガ、只今局長ノ言ハレタヤウナ狹イコトヲヤルカラ、ソレヲ取締ルト云フコトヲシイノデアリマスガ、而モ其ノ費用ハ一萬何千圓ト云フヤウナホソノ僅カナ費用デ足リラシイノデアリマス、併シ此ノ種苗業者ハサウ澤山ハナイト思フノデアリマス、又或ハ適種樹木ガ官林ニナイカラ一定ノ樹木ニ付テ制限ヲナサラウト云フノデアリマスガ、ソレナラバサウ云フ母樹等ヲ御買上ニナツテ、政府自ラ種苗ノ供給ニ力ヲ注グト云フコトガ徹底的デアツテ、而モコンナ諄々シイ細カイ規定ヲ設ケテ犯罪人ヲ作ルト云フヤウナコトノナイヤウニスル方ガ、寧ロ積極的デアリ法制ヲ單一化スル上カラモ宜イト思フガ、サウ云フ御計畫畫デハ徹底シナイト云フノデアリマスカ

○村上政府委員 從來モ此ノ民有林其ノ他造林促進費等ニ於キマシテ種苗造成費ニ付テハ四分ノ一ノ補助ガアリマス、更ニ此ノ度其ノ外ニ種苗ノ採取補助費ヲ豫算ニ計上致シマシテ、而モ其ノ採取費ノ三分ノ一ヲ補助スルコトニナツテ居リマス、是ハ此ノ法律ニ直接伴フ經費デハゴザイマセヌガ、造林獎勵費ノ方ニサウ云フモノヲ組ンデ特ニサウ云フ場合ニ便宜ヲ與ヘタイト思ツテ居リマス、尙ホ母樹ヲ全部國デ買上ガタラ宜カラウト云フコトデアリマスガ、是ハサウ出來レバ一番結構デアリマスガ、サウシマスト母樹ハ必ズシモ森林デナクシテ單木ノ場合モアリマス、茲ニ單木ノ國有財産ガ出來ルト云フコトハ中々管理上不便ナコトデアリマシテ、ドウモ政府デソレマデ實行致スコトハ困難デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、出來ルナラバ國或ハ帝室林野局其ノ他町村ト云フヤウナ所デヤツテ行キタイノデアリマスガ、ソレ以外ノ私有林ニモヤハリ相當求メマセヌト、母樹ヲ豊富ニスルコトガ出來ナイノデアリマス、斯様ナモノニ付キマシテ全部國ガ買上ゲルコトハ、金額トシテハ大シタモノニ上ラナイト思ヒマスガ、其ノ後ノ管理等ガ到底出來ナイト思ヒマスカラ、ヤハリ斯ウ云フ制度ヲ執ツタノデアリマス

○池田委員 第七條ニ依リマスト、母樹林ニ付テ伐採ヲ停止サレタ場合ニ直接ノ損失ヲ補償スルコトニナツテ居ルノデアリマスカ

○村上政府委員 結局母樹ノ伐採ヲ停止サレタコトニ依リマシテ、其ノ木ガ一時伐レナクナリマス、サウスルト今伐ツタノニ比

フシテ、補償ノ問題ニ付テ不服ノ場合ハ三箇月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトガ出來ル、斯ウナツテ居ルノデスガ、一本ヤ二本ノ木デ色々ノ制裁ヲ科セラレ、殊ニ補償金額ニ付テ不服ガアル場合ニハ裁判所ニ訴ヘナケレバナラヌト云フコトデ、隨分迷惑ナ規定ダト思フノデアリマスガ、全部補償ガ出來レバ宜シイノデスガ、一體此ノ法ハ直接ノ補償ダケデアツテ、點々ト林木ノ間ニ挾ツタ母樹ニ付テ相當ノ注意ヲ拂ヒ、之ニ對シテ絶エズ保護シテ居ラナケレバナラヌト云フコトハ所有者ニ取ツテ非常ニ迷惑ナ次第ダト思フ、寧ロサウ云フ手續ヲスルヨリモ、斯ウ云フ場合ニハ買上ヲシタ方ガ宜カラウト思フ、更ニソレガ出來ナイトスレバ間接ノ補償モヤツテハドウカ、直接ノ補償ダケデハ點在シテ他ノ木ノ間ニ挾ツテ居ツタ場合ニ非常ニ困リハシナイト思フノデアリマス、是ハ隨分ヤヤコシイ規定デハナイカト思ヒマスガ、或ハ稍、細カク御考ニナツテ此ノ第七條ガ出來タノカ、此ノ直接トカ間接トカ云フ、補償ノ程度ハドンナ風デゴザイマスカ

○村上政府委員 結局母樹ノ伐採ヲ停止サレタコトニ依リマシテ、其ノ木ガ一時伐レナクナリマス、サウスルト今伐ツタノニ比

シテ何年間カ伐レナクナリマスカラ、其ノ伐レナクナツタコトニ關スル點ダケノ補償ヲ致シタイ、斯ウ云フ譯デゴザイマシテ、色々ノ間接ノモノニナリマス、實ハ中々算定ガ出來兼ネルノデアリマス、從來ノ色色斯ウ云フヤウナ法制等ヲ見マシテモ、大體皆直接ノ損害ニシテ居リマスノデ、之ニ依ツタ次第デアリマス

○池田委員 此ノ規定ハ種苗販賣業者ダケヲ取締ル規定ラシイノデアリマスガ、更ニソレヲ轉賣、轉々賣シタト云フヤウナ場合ニ於テ、第三者、第四者ニ至ルト、サウ云フ惡意ガドウモナクナツテ來テ罰スルコトガ出來ナクナリハシナイカト思ヒマスガ、本法ハ善意、惡意ヲ問ハズサウ云フ者ヲ罰スルト云フ趣旨ニナリマスカドウデスカ、是ハ大變細カイ規定デスケレドモ……

○村上政府委員 種苗ノ販賣業者ニ適用ノアル所ノ規定ハ、是ハ種苗ノ販賣業者以外ニハ及ビマセヌ、隨テ種苗ノ販賣業者カラ買ツタ人ガ特ニ何カノ原因デ之ヲ他人ニ渡シタト云フヤウナ時ニハ是ハ含マナイノデアリマス、種苗ノ販賣業者ヲ目的ニシタ所ノ取締規定ハサウデアリマス

○池田委員 本法ト前ノ施業案トノ關係ハドンナ工合ニナツテ居リマスカ、施業案等

ニ付テハ別ニ本法トハ關係無イノデアリマスカドウデスカ、施業案ヲ實施スルヤウナ大キナ團體ニナリマス、斯ウ云フ規定ハ自ラ適用ニナラヌヤウニナリハシナイカト思ヒマスガドウデスカ

○村上政府委員 母樹殊ニ種カラ取ル母樹ハ大體伐期ニ達シタ木カラ取ルノデアリマスカラ、施業案カラ言ヘバ既ニ伐ルベキ所ノ木ガ母樹ニ指定サレル、隨テ母樹ニ指定サレマシタ場合ニ於テハ、施業案ノ方ニアツテハ伐採サレマスモノモ、コチラデハ出來ナクナリマス、左様御承知ヲ願ヒマス、但シ此ノ母樹ト云フノハ、此ノ施業案ニアリマシヤウニ、一町歩モ母樹林ニ指定スルトカ云フコトハナイノデアリマス、大體單木或ハ十本トカ二十本トカ云フ集リヲ母樹林トシテ特ニ良イ木ヲ指定スルノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○池田委員 種苗ノ質問ハ是ダケデ止メテ置キマス
次ニ森林行政ノ方デ根本的ノ問題ヲ一寸伺ヒタイノデアリマス、水源林ノ中ニ水力電業ノ貯水池等ニ指定セラルル場所ト、更ニ灌溉用ト或ハ治水ト云フヤウナ方面トノ關係ハ別ガアルト思フノデアリマスガ、水力電氣等ノ貯水池等ニ付テ遞信當局ト協議

ヲサレテ、根本國策トシテノサウ云フ區域ヲ設定スルト云フ必要ガアルト思フノデアリマスガ、農林省ニ於テハ遞信省等ト連絡ヲ取ラレテ、サウ云フ根本協議ヲナスツタコトガアルカドウカ、直グニサルト云フ建前ニナツテ居ルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

付テハ今マデ國有デナイノデスカラ澤山アツタト思フノデアリマスガ、サウ云フ澤山ノ出願ニ對シテハドンナ態度ヲ執ラレテ居ルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ農山村ニサウ云フ工業等ノ關係デ澤山ノ企畫ガ是カラアルコトダト思フノデアリマスガ、農林省ハサウ云フ方面ニ付テドウ云フ用意ト態度ヲ執ツテ居ラレルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 昭和十二年以來河水統制協議會ト云フモノヲ企畫院内ニ設置致シマシテ内務省、遞信省、農林省デ目下鋭意協議中デゴザイマス

○池田委員 此ノ問題ハ國策ノ最高國策ト關聯シテ緊要ナ問題ダト思フノデアリマス、日滿支經濟「ブロック」ガ一體トナツテ支那ノ資材ヲ日本へ持ツテ來テ重工業、精密工業、高等工業ノ振興ヲ圖ツテ、今度ノ戰爭デ失ツタ所ノ經濟ヲ回復スルト云フコトハ日本ニ於ケル高等工業政策ノ基調デアルト思フノデアリマスガ、一日モ早く此ノ關係各省トノ協調ガ整ツテ、電力等ヲ直チニサウ云フ工業ニ適用スルコトノ出來ル日ノ一日モ早カラシコトヲ希望スルノデアリマスガ、ソレニ關聯シテ山村等ハ水源ニ近イ所ニアルニ拘ラズ、小サイ電力發電所等ガ少しモ起サレテ居ラスト言ウテ宜イ位デアリマスガ、從來農林省ハ、小サナ發電所等ニ

○村上政府委員 農村電化ノ氣運ハ農村振興ノ上ニ極メテ必要ナコトト思ヒマス、ソコデ溪流等ヲ利用シテ自家用發電或ハ其處ノ一部落ノ發電ヲ致スト云フヤウナ計畫ハ農林省トシテハ極メテ適切ナコトト思ヒマスガ、是ハ所管ガ遞信省デアリ、色々ノ關係ガアリマスノデ、遞信省トモ十分連絡ヲ致シマシテ成ベク農村電化ノ普及ニ資シタイト思ヒマス、只今マデ國有林内ニ於テ小規模ノ發電ニ付テ出願ガアツタト云フヤウナコトハ實ハ餘リゴザイマセヌノデ、サウ云フ方面ニ對シテハ大シタ實例ハ持ツテ居リマセヌ、但シ民間ノ大水力電氣會社ガ各方面ニ於テ國有林内ノ川或ハ國有林ヲ基礎ト致シマシテ種々ノ水力發電ノ計畫ハ今マデ十分持ツテ居リマス、是等ノコトニ付テハ國有林ノ經營ニ支障ノナイ範圍内ニ於テ

貸付其ノ他十分ノ便宜ヲ圖リツツアル次第
デアリマス

○池田委員 今一ツダケ極ク簡單ニ伺ヒマ
ス爲替管理ノ必要カラ木材ノ輸入ガ全ク杜
絶シテ居ルト云フコトデスガ、併シ是ガ餘
リニ劃一的、限定的デアル爲ニ、殆ド只デ

持ツテ來ラレヤウナ木材ヲ南洋邊リカラ
少シモ、コチラヘ輸入スルコトガ出來ヌト云
フコトデアリマス、是ハ内地ノ森林ヲ保存
スル上カラモ、サウ云フ經濟的ナ殆ド只ニ

等シイモノスラモ持ツテ來ルコトガ出來ナ
イト云フコトハ非常ニ不得策ダと思フノデ
アリマス、此ノ點ニ付テ農林省ハ内地ノ森

林ヲ經濟的ニ保存スルト云フ意味カラ商工
省當局ニ對シテ——サウ云フ只ミタイナ、

南洋邊リデ開墾ノ傍ラ伐採ヲ已ムヲ得ズシ

テ居ルト云フヤウナモノガ腐朽シテシマツ

テ、コチラヘ持ツテ來ルコトノ出來ナイヤ

ウナ木材ガアルト云フコトデアアルノデアリマ

スガ、内地ノ森林ヲ保存スル意味カラ商工

省當局ニ對シテ、サウ云フ經濟的ノモノヲ

輸入スルコトノ出來ルヤウナ交渉ヲナスツ

テハドウカ、或ハナスツタコトガアルノカ

ドウカ、其ノ一點ダケヲ承ツテ置キタイト

思ヒマス

○村上政府委員 南洋材ノ中ニハ本邦人ノ

利權ニ依ツテ伐ツテ居ルモノガアリマス、
是等ノモノハ爲替管理ノ喧マシイ今日ニ於
キマシテモ幾分コチラニ入レルコトニ致シ
テ居リマス、今後モソレ等ノモノハ入ツテ
來ルト思ヒマス

○池田委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○長野委員長代理 大臣ノ御出席ノ都合ガ
アリマスカラ、十二時マデ休憩致シマス

午前十一時四十分休憩

午前十一時五十分開議

○長野委員長代理 休憩前ニ引續キ開會シ
マス——川俣君

○川俣委員 私ハ大臣ニ對シテ保留シテ置
イタ點ヲ續イテ御尋致シタイト思ヒマス、

前ニ山林局長トノ質問應答中ニ於キマシテ、
大體當局ノ考ヘテ居ラルル點ハ理解出來タ

ノデゴザイマスガ、ソレハ入會權ノ問題デ

ゴザイマス、御承知ノヤウニ入會權ノ内容

ハ多岐多樣ニ互ツテ居リマシテ、是ガ整理

ニ當ルコトノ困難モ感ゼラレルノデアリマ

スガ、一面又整理ノ必要モ要求セラレテ居ル

部分モアルノデアリマス、又入會權ノ内容

ガ多岐多樣ニ互ルト同時ニ、山村民ノ入會

權ニ依存シテ生活シテ居ル點モ多々アルノ

デアリマシテ、其ノ入會權ノ整理竝ニ處分

等ガ山村民ノ生活ニ及ボス所ノ影響ハ多大

ナノデアリマス、然ルニ本法ノ適用以來所

謂入會權ノ整理、施業案實施ニ依ル使用ノ
禁止、制限等モ相當面積ニ互ツテ參ツテ居
ルノデゴザイマス、又部落有林野ノ統一ノ

結果、入會權ニ關係シテ來ル所モ相當面

積ニ及ンデ居ルノデアリマス、斯ク考ヘテ

參リマスレバ、本法ト入會權トノ關係ガナ

イト云フ大臣ノ答辯ハ如何ニモ腑ニ落ちナ

イノデアリマシテ、寧ロ斯ル答辯ハ徒ニ山

村民ノ今マデ爲シテ居リマシタ生活ニ對ス

ル見透シヲ失ハセル結果ニ相成ルト思ヒマ

スノデ、此ノ點ニ付キマシテノ大臣ノ御答

辯ヲ煩ス次第デアリマス

○櫻内國務大臣 只今川俣サンノ御質疑ニ

對シマシテハ、私ガ本會議ニ於テ入會權ニ

關シマシテハ本改正法律案ハ直接關係致ス

所ガナイ、斯様ニ御答辯申上ゲタト思ヒマ

スガ、勿論入會權ハ慣行ニ依ツテ存スル所

ノ物權デアリマシテ、此ノ種ノ事柄ニ付キ

マシテハ、此ノ法律ガ出來テモ何等其ノ權

利ノ實質ニ關シテ地方民ニ損害ヲ與フルト

云フガ如キコトガナク、從來通りソレハ存

續スルノデアリマス、併シ入會權ノ目的タ

ル林野中ノ秣場、採草地等ハ之ニ依ツテ影

響スル所ガナイト致シマシテモ、森林施業

案ノ規定ガ適用セラルルト云フコトハ、是
ハ已ムヲ得ザル所デアリマシテ、ソレニ依
ツテ地方民ノ損失ノナイヤウニ致スコトハ

私ハ當然ナコトダラウト考ヘルノデアリマ

ス

○川俣委員 大臣ノ御答辯ハ本會議ノ御答

辯ヲ幾分修正サレタヤウニ思ハレマスノデ、

此ノ點私共諒ト致スノデアリマス、入會權

ハ本法ニ依ツテ剝奪スルノデハナイ、隨テ

直接關係ガナイ、斯ウ云フ風ニ御考ノヤウ

デアリマスガ、入會權ト云フモノハ現在

ハツキリシタ物權ト云フコトニ認定サレ、

而モ各種各様ノ入會權ガハツキリ物權化サ

レテ認メラレテ居ル場合ニ於キマシテハ、

此ノ法律ノ施行ノ上ニ於テハ些々タル障

ハ感ゼラレナイノデアリマスケレドモ、例

ヘバ本法ノ十條ニ依リマシテ「地方長官森林

生産ノ保續ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ム

ルトキハ公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所

有者ニ對シ其ノ森林ニ付區域又ハ箇所及期

間ヲ定メ伐採方法又ハ造林其ノ他伐採ニ伴

フ必要ナル事項ヲ指定スルコトヲ得」ト云

フノデアリマスカラ、此ノ規定ニ依リマシ

テ、森林組合ノ施業案ノ設計ノ實施ノ内容

云フ爭ガアルコトヲ豫想セズニ、私ハ本法ノ完全ナル適用ハアリ得ナイト考ヘマスノデ、私共ト致シマスレバ直接關係アリト云フコトヲ確信致シテ居ルノデアリマス、其ノ對人間ヲ對生活ヲ無視シテ此法律ハ私ハ施行出來ナイト考ヘル、ソコニ私ハドウモ農林省ノ机上論デハナイカト云フ考ヲ深クスル、此ノ法律施行ノ上カラ行キマスナラバ、必ズ是ハサウシタ紛争ガ起ルト云フコトヲ豫想サレマスノデ、私共ハ直接關係アリト致シテ居ルノデゴザイマスガ、ソレニ對シテ山林局長カラ前ニ御答辯ヲモ煩シタノデアリマスカラ、大體山林局長ノ御意向ノ通り施行サレル意思デアアルカドウカト云フコトヲ大臣ニ再ビ尋ネテ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ大體終リマス

○櫻内國務大臣 山林局長ガ答辯シタ通りト御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松尾(四)委員 私ハ法案ノ條文ニ付テマダ少シ腑ニ落チヌ所ガアリマスガ、是ハ餘リ細カイ點ニナリマスノデ、大臣ニ御尋スルコトハ差控ヘマスガ、此ノ法案ハ提案ノ際本會議ニ於キマシテモ、私其ノ他ノ同僚ノ諸君カラモ力説ヲサレマシタヤウニ、此ノ法案ヲ運用スルニ當リマシテハ、ソレノ油

トナル、所謂「ガソリン」ノ使命ヲ持ツ所ノ金融關係ヲ確立スルニアラザレバ、是ハ實行ニ移シテモ行詰ルト云フコトハ明瞭デアルト思フ、今日マデ荒廢致シ、或ハ又森林資源ヲ確保ノ爲ニ必要ナコトガアツテモ、山林御當局ハ命令ヲ出シテ舊法ノ通りニヤラナイ、舊法ニモ此ノ通りノ伐採ヲ禁止シ、或ハ造林ヲ命令スル條項ハ第十條ニ掲ゲラレテ居ル、ソレガ實行出來ナイト云フコトハ、畢竟ソレヲ本當ニ運用スレバ民間及ビ民有林ニ對シテ其ノ被害ヲ金融ニ依ツテ救済スル途ガナイカラ、今日マデ放任サレテ、今事變ニ際シ濫伐ガ盛ンシナツテ來テ、匆卒トシテ此ノ法案ヲ出ス必要ガ起ツタト云フノデアリマシテ、此ノ金融機關ノ確立ト云フコトハ必要ナコトデアアル、是ハ勿論大臣モ御承知ノコトデアルト思ヒマス、斯ウ云フコトヲ諄々シク申上ゲルコトハ或ハ甚ダ失禮ダト思ヒマスケレドモ、併シ之ヲ特ニ大臣ニ御尋致シタイコトハ、具體的ナ御意見ヲ持ツテ居ラレルカドウカ、此ノ點デゴザイマス、唯金融關係ハ能ク考慮シテヤルト云フ程度デナシニ、少クトモ國策的ノ一大木材會社デモ御作りニナツテ、サウシテ日滿ヲ通ジタ木材需給關係ヲ一ツ農林省デシツカリト握ツテ、永久的ナ森林國策ヲ立テ

ル爲ニ、サウ云フ具體的ナ所マデ進ンデ戴カナケレバナラヌト思ヒマスノデ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 松尾君ノ御意見ハ現在ノ森林ノ發達ヲ期スル上ニ於テハ、森林金融ニ中心ヲ置カナケレバイカスデハナイカ、之ニ對シテ農林大臣トシテハドンナ考ヲ持ツテ、ドンナ具體的方針ニ進ムノデアアルカト云フ御質問ノヤウニ思ヒマス、此ノ點ハ全ク松尾君ト同感デアリマシテ、現在ノ森林所有者ガ其ノ開發スル上ニ於キマシテ一番困ツテ居ル問題ハ、金融デアルト思ヒマス、然ルニ從來此ノ方面ノ金融ニ對シテ政府モ多少努力ハシテ居ルノデアリマスケレドモ、今日マデ完全ニ森林業者ガ満足スベキ金融機關ノ出來ヌコトハ甚ダ遺憾ト思ツテ居リマス、本案ノ如キ施業案ガ出來テ、サウシテ其ノ森林ガ確實性ヲ持ツト云フコトニナリマス、私ハ金ヲ融通スル要素トシテハ餘程良クナルノデハナカラウカ、斯ウ思フノデアリマス、又組合ニナツテ組合員ノ所有シテ居ル山林ノ賣買ニ致シマシテモ、是モ自由ニ賣買ヲ許スノデアリマスカラ容易ニナルデハナカラウカ、ソレ等ノ人々が金融ヲ致シマス場合ニ於キマシテモ、現在小サナ山林ヲ持ツテ居ル人ガ銀行業者

カラ金ヲ借りヨウト致シマシテモ、中々容易ニ金ヲ貸サヌノハ何カト云フト、抵當流レニナツタ場合ニ於テ其ノ始末ニ困ルノデアリマスガ、茲ニ施業案ガ出來テ、サウシテ其ノ組合員ガ假ニ擔保ニ入レテ擔保流レニナツタト致シマシテモ、銀行ハ安ンジテ其ノ組合ニ施業ヲ委スコトカ出來ルノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テモ私ハ便利ニナルト思ヒマス、唯本案ニ依リ自然的ニ便利ニナツタト云フヤウナコトデハ、到底今日ノ森林開發ト云フモノハ出來ナイノデアリマシテ、松尾君ノ御話ノ如ク、特殊ナ、申サバ森林銀行ト云フヤウナ銀行デモ拵ヘテ、特別ニ森林ニ専門ニ貸出スト云フヤウナ方法ガ出來レバ一番宜イト思ヒマスケレドモ、併シ此ノ點ニ付テハマダ幾多ノ研究スベキ點ガアルノデアリマシテ、政府ガ直チニ之ヲ實行スルト云フコトハ、マダ申上ゲル機會デハナイト思ヒマス、今松尾君ノ言ハレタ所ノ、政府ガ半官半民ノ國策ノ木材會社ヲ拵ヘテ、之ニ依ツテ木材ヲ伐採シタ人ハ其處ニ直グ賣レル、又金モ借りレル、有ニル便宜ヲ圖ル方法ヲ考ヘナイカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ハ相當考慮スベキ事柄ト思ヒマスケレドモ、未ダ其ノ方面ニ付キマシテ十分ナ調査ガ付

イテ居リマセス、ソコデ直チニ今日ソレヲ進メテ見ルト云フコトヲ、此ノ席デ申上ゲルト云フ順序ニハナツテ居ラナイノデアリマス、唯御承知ノ通り農林省管轄ノ所謂國有林ノ營林事業、是ハ相當今日大キナモノニナツテ居リマス、現在ニ於テ四千數百萬圓カラノ資材ヲ出スヤウニナツテ居リマスノデ、之ヲ中心トシテ考ヘルベキ途ガナカラウカト考ヘテ居リマスガ、御趣旨ノ點ハ十分篤ト考慮ニ入レマシテ、出來ルダケ速ニ之ニ對スル所ノ對策ヲ立テルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

コトデ一點申上ゲタイノハ、林道ノ完成スルコトハ今日森林經濟ニ非常ナ關係ガゴザイマシテ、之ニ依ツテ所謂木材ノ價格ノ騰貴ヲ防グコトガ出來ルコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、此ノ木材ノ價格ノ騰貴ヲ防グト云フコトハ、目下物價暴騰ヲ抑制スル上ニ於キマシテモ、重大ナル關係ガ各方面ニアルト思ヒマスノデ、此ノ方面ニ一層ノ力ヲ注イデ戴キタイ、尙ホ國有林ノ特別會計ニ付キマシテモ、先般本會議ニ於キマシテ私外同僚ノ方カラモ質問ガアリ、御答辯ヲ得テ居リマスケレドモ、ドウカ御在任中ニ其ノ實現ヲ致スヤウニ御配慮賜ハランコトヲ切望致シマス、此ノ林道及ビ國有林ノ特別會計ニ付テ御意見ガアリマシナラバ、此ノ際ニ更ニ重ネテ伺ツテ置ケバ吾々甚ダ仕合セト思ヒマス

會ニ御協賛ヲ御願シツアル金額ノ如キハ甚ダ寡少ニ過ルノデアリマスガ、吾々トシテハ今後ニ於キマシテ當然此ノ問題ニ對シマシテハ力ヲ入レテ、其ノ増額ニ努力致シタイト存ジテ居リマス

所有者ニ對スル國策的制限ガ加ヘラレルナラバ、當然ソレニ對スル助成獎勵ノ方法ト相俟タナイデ斯ウ云フ法律ガ出ル譯ハナイ、總テノ日本ノ政治ノ行キ方カラ見マシテモ、一方ニ國策ニ向ツテノ政策ガ出テ、事業ニ對シテ一ツノ國策ニ向ツテノ制限ガ加ヘラレマスルナラバ、ソレニ向ツテノ缺點ヲ排除スルヤウナ國家ノ援助或ハ獎勵補助ト云フモノガ當然加ツテ行ツテ居ルノデアリマス、所ガ森林政策ダケハ相當強硬ナ制限ヲ加ヘ、國策ノ上ニ立ツベキ方針ガ定メラレテ居リマス、ソレハ結構デアリマスケレドモ、ソレニ相俟ツダケノ獎勵、補助、指導ガ加ツテ居ナイ、三年カ五年後ニ考ヘマストカ云フ風ノ御話デアルガ、其ノ案ガ出來ナケレバコチヲノ施行ヲ待タナケレバナラス、一定ノ方針ガ立ツタナラバ施行シテモ宜イト思ヒマスガ、其ノ方針モ立タナイシ、是カラ研究ヲスベキ點ガアルト云フナラバ、本法モ待タナケレバナラス性質ノモノデハナカラウカト思ヒマス、一例ヲ以テ申シマ

スナラバ、保險ノ標準金額ヲ見マシテモ、如何ニ山林ト云フモノガ事業トシテ經濟的ニ合ハナイモノデアアルカト云フコトノ參考マデニ一點申上ゲテ、大臣ノ御判斷ヲ得タイト思フノデアリマス、御承知ノヤウニ山

○松尾(四)委員 只今御理解ノアル洵ニ實情ニ即シタ點ニ付テノ御意見ヲアラレル御答辯ヲ得マシテ私ハ満足致シマス、此ノ法案ヲ此ノ間カラ審議ヲ致シテ居リマスノニ、條文ハ理想的ニ出來テ居リマス、併シ之ヲ理想的ニ實現スルノハ金融デス、所ガ茲マデハ事務當局ノ方デ立派ニ出來ルノデスガ、是カラハ本當ノ政治家ノ御仕事デ、所謂苦勞人ノ大臣ニ於カレマシテハ、此ノ政治家ノ御仕事ニ能ク目ヲ通シテ戴キヤウニ御願致シマス、少クトモ閣下ノ御在任中ニ森林金庫ノ設立ダケハドウゾ實現スルヤウ御願致シテ置キマス、ソレヲ希望致シマシテ、更ニ簡單デアリマスガ、前ニ申上ゲマシタ

○櫻内國務大臣 國有林ニ關スル特別會計ノ問題ニ付キマシテハ、度々從來モ申上ゲマシタヤウニ、將來ソコマデ進ンデ行クベキモノデアリ、又進マサナケレバナラスモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、十分此ノ點ハ調査致シマシテ、其ノ結果ニ付テ政府部内ニ於テモ研究シテ見タイト思ツテ居リマス、林道ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ目ノ當リノ問題デアリマシテ、今期議

會ニ御協賛ヲ御願シツアル金額ノ如キハ甚ダ寡少ニ過ルノデアリマスガ、吾々トシテハ今後ニ於キマシテ當然此ノ問題ニ對シマシテハ力ヲ入レテ、其ノ増額ニ努力致シタイト存ジテ居リマス

○川俣委員 大臣ハ御忙ガシイダラウト思ヒマスノデ、モウ一度最後ニ私御尋シタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、成ベク之ヲ節約スル意味ニ於キマシテ、モウ一點ダケ御尋致シテ置キタイト思ヒマス、松尾サシカラ今金融ノ問題ニ付テ御話ガアツタノデアリマスガ、私ハ結論カラ申シマスケルト、農林大臣ハ以前商工大臣ヲシテ居ラレマシタノデ、商工政策ニ付テハ十分御諒解ノ行ツテ居ル點ダト思ヒマス、是ガ或ハ都會ニ近イ商工業者デアリマスケレバ、今ノ山林所有者ナドノ意見ト云フモノハモツト私ハ強ク出テ居ルト思フノデス、所謂山村民ヲ相手ニ致シテ居リマシテ、山村民ヲ相手ノ搾取デアリマシタガ爲ニ、今マデ餘リ問題ニモナラナクテ來タノデアリマスケレドモ、是ハ金融ヲ一大決心ヲ以テ御考ニナラナイデ本法ヲ施行サレマシタ所デ、其ノ結果ト云フモノハ私ハ期待出來ナイト思フ、本當ニ商工政策ト同ジヤウニ、山林政策ヲ行ツテ行キマスナラバ——所謂山林

林保險ニ付テノ標準金額ハ一町歩ニ付テ決メラレテ居ルガ、六年以上十年以下松落葉樹ガ百圓、杉、檜類ガ百五十圓、ソレガ十六年以上二十年以下ニナリマシテ松、落葉樹ノ百圓デアツタモノガ十年経ツテ二百圓ニナリ、杉、檜モ百五十圓デアツタモノガ三年圓ニナル、十年経ツテ約倍ニシカナラナイ、是ガ一割ノ利子デ行ツテ丁度利子ガ一杯々デス、之ニ施業案編成ノ費用デアルトカ、山林組合ノ費用デアルトカ、人件費トカ云フヤウナモノヲ見テ行キマスルナラバ、十年間ニ倍ニナツタ所デ、其ノ半分ガ經費ダト致シマスレバ、十年間デ五割モ上ラナイ、是ハ普通ノ相場デ行ツタ所謂經濟界ニ變動ガナカツタ場合ノ計算デス、若シ一朝變動ガアリマスルナラバ、ソレ以下ニナル、ソレ程危險ナ山林事業ニ當リナガラモ、尙ホ山村民、或ハ森林所有者ガ多大ノ犠牲ヲ拂ツテ今マデ持ツテ居ツタト云フコトハ、是ハ全ク土地ニ對シテ一ツノ魅力ガアルカラデス、自然ニ對スル國家的ナ考ヲ持テバコソ、一家ヲ絶ヤシタクナイト云フ考ヲ持テバコソ、經濟ヲ度外視シテ森林所有者ハ土地ヲ持ツテ居ル、是ガ山村民ガ森林ヲ愛シテ居ル所以ダト思フ、愛惜ノ觀念ガアルノダカラ經濟的ニハ合ハナクデモ、

無理ニ此ノ法律ヲ施行シテモ宜イト云フ考ヲ以テヤルナラバ、大キナ破綻ガ茲ニ來ルト思ヒマスノデ、商工行政ニ當ラレタ大臣ト致シマシテハ、農林行政ニ於キマシテモ、ヤハリ其ノ點ニ付キマシテハ、御理解ヲ以テ當ツテ行カナケレバナラスト思ヒマスノデ、此ノ點ヲ御伺致シマス

○櫻内國務大臣 川俣君ノ森林行政ニ對スル御同情ノ御話ハ洵ニ御尤ト存ジマス、私共此ノ問題ニ付キマシテハ深く研究致スノデアリマスガ、申スマデモナク森林事業ハ一年トカ二年トカ云フ短時日ニ於テ效果ヲ擧ゲルコトハ出來マセヌ、而シテ其ノ間ニハ如何ナル損害ガ起ラストモ限ラス、永年月ニ互ツテ危險ヲ冒シ而シテ其ノ利廻ハ極メテ僅少デアアル、オマケニ金融ガ付カナイ、一朝賣ラウト思ツテモ容易ニハ賣レナイ、擔保ニ入レヨウト思ツテモ容易ニハ擔保ニ取ツテ呉レナイト云フ、洵ニ氣ノ毒ナ立場ニ森林業者ガ居ツテ、而シテ一面國家ノ最モ必要トスル所ノ木材ヲ供給シテ居ル、此ノ點ニ付キマシテハ衷心カラ私共是ハ何トカ致サナケレバナラス、國家ガ之ニ對シテ相當力ヲ盡サナケレバナラスト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ度ノ施業案ノ實施ノ結果ト致シマシテ、政府ハ之

ニ對シテ相當ナ考ヲ持タナケレバ、其ノ效果ヲ擧ゲルコトガ出來ヌデハナイカ、斯ウ云フ御意見モ御尤ニ拜聽スルノデアリマス、本案ニ對シマシテハ、此ノ小サナ人々ガ集ツテ組合ヲ拵ヘル爲ニハ、施業案編成ノ費用モ相當ニ補助ヲ致スコトニナツテ居ルノデアリマス、又施業案實施ニ付キマシテハ、度々申上ゲマス通り林道ノ補助、或ハ間伐ノ補助、植林ノ補助、各ノ補助ノ點ニ付テ從來ト雖モ政府ハ力ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、施業案ノ目的達成ノ爲ニハ更ニソレ等ノ各般ニ付テ一層之ニ對スル所ノ助成ヲ致スヤウニ努メタイトス様ニ考ヘルノデアリマス

○長野委員長代理 モウ宜シウゴザイマス

○川俣委員 宜シウゴザイマス

○長野委員長代理 ソレデハ二時迄休憩致シマス

午後零時二十分休憩

午後二時四十分開議

○小山委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマスガ、委員外ノ長野長廣君カラ發言ノ要求ガアリマス、此ノ際之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小山委員長 長野君

○長野長廣君 先般本會議ニ於キマシテ森林法中改正法律案及ビ林業種苗法案ニ付テ質問ヲ申上ゲマシテ農林大臣ノ御親切御答辯モ戴イテ居リマス、隨ヒマシテ私ハ本日ハ其ノ質問ニ關聯シタ事柄ニ付キマシテ、尙ホ一二山林局長カラ直接承リタイト存ジマシテ、時間ノ御割愛ヲ御願シタ次第デアリマス

第一ニ國有林ノ伐採並ニ開墾ト云フコトニ付キマシテ伊藤五郎君其ノ他カラ御質問ガ出マシタ、其ノ御答辯中ニ特ニ東北地方ニ於テハ田畑ガ少イノデアルカラ、伐採後ノ土地ヲ耕作セシメル途ヲ開クト云フヤウナ意味ノ御答辯ガアツタカニ承ツテ居ルノデゴザイマス、勿論是ハ全國的ニモ御配慮ニナツテ居ル御答辯トハ存ジマスケレドモ、念ノ爲ニ事情ヲ申上ゲテ簡單ニ御回答ヲ願ヒタイト思ヒマス點ハ、縱令西南地方ト雖モ山間地方ニハ極メテ田畑ガ少イノデアリマス、然ルニ最近ノ養蠶業ガ不振ニ陥リマシテ、只サハ狹隘ナ畑地ノ生産ガ非常ニ減ツテ來タノデアリマス、付テハ畑地ヲ擴張致シマシテ、サウシテ他ノ作物ヲ植付ケテ、之ニ依ツテ養蠶業ノ收入減ヲ補填スルト云フ企圖ガ大分町村デ行ハレツツアルノ

デアリマスガ、殊ニ最近樁、三極ノ値段ガ暴騰致シマシテ、實ニ驚クベキ增收ヲ得ツツアルノデゴザイマス、就テハ國有林ヲ拂下ゲ、其ノ跡地ヲ開墾シテ畑地ト爲シ、之ヲ耕作セシメルト云フ事柄ヲ西南地方、養蠶地方ノ山間ニモ均霑セシムルヤウナコトニ致シマスナラバ、山村振興ノ上ニ絶大ノ效果ヲ發揮スルコトト考ヘマス、林業當局ハ雷ニ東北地方ニ此ノ途ヲ特ニ開カレルト云フコトデナク、他ノ地方ト雖モ山間地帯ノ振興ノ爲ニ同様ニ此ノ途ヲ開イテ戴キタイト云フノガ第一ノ質問デアリマス、之ニ對シテ其ノ事ガ出來ルカ出來ヌカ、出來ルトスルナラバ、即刻一ツ此ノ伐期ヲ過サナイヤウニ本年カラ實行ラシテ戴キタイ、私ハ個人ニ斯ウ云フモノヲ拂下ゲルト云フコトヨリモ、寧ロ山村ノ經濟自治體トモ言フベキ産業組合或ハ森林組合、其ノ他山ニ關係シ、農業ニ關係シテ居ル團體ニ拂下ゲテ開墾セシムルト云フガ如キコトガ、弊害ヲ伴ハズシテ洵ニ結構ナコトデハナイカト考ヘルノデアリマス

ソレカラ今一ツハ東北地方ハ數年來非常ニ不作ガ續キマシテ、隨テ農村更生ノ立場カラモ幾多財政的ニ惠マレテ居ルノデゴザイマス、然ルニ西南地方ヘ參リマスト實ニ

慘憺タル狀態ガ山間地方ニ展開シテ居ルノデアリマス、又はハ少シ話ガ横路ノヤウデモアリマスケレドモ、直接關係シテ居ルコトハ、昨年議會ニ於テ稻熱病ト云フモノハ絶對ニ防除ノ出來ナイモノデアル、所謂蠶菌ヲ殺スナドト云フコトハ事實上出來ヌモノデアルト云フコトヲ私ガ質問シタノニ對シテ、農林當局ハ出來ル、安藤博士マデ連レテ來ラレタケレドモ、結局其ノ話ノ結論トシテハ出來ナイト云フコトニナツテ、相當ノ補助金ヲ計上シタガ、稻熱病ニ關スル農業保險ト云フモノハ出來ナカッタ、所ガ不幸ニモ私ノ主張ハ其ノ通りデアツテ、本年ハ昨年以上ノ著シイ稻熱病ノ損害ニナツテ居ル、議會ヲ前ニ控ヘテ農林當局モ之ヲ發表スルコトハ御困難デアリマセウケレドモ、即刻私ハ別ノ機會ニ御願シヨウト思ツテ居ルガ、西南地方ノ農村ヲ御覽ナサイ、稻熱病ノ爲ニモウ三月ノ飯米ガアリマセヌ、高知縣ノ如キハ五千町歩全滅デアリマス、本日モ段々陳情團ガ來テ居リマスガ、私ノ言ツタ通りデアル、政治的責任タルヤ絶大デアル、ソコデ今度ハ縣ノ財政ヲ見テミマスルト、雷ニ高知縣ノミナラズ、愛媛縣デモ其ノ他ノ縣デモ山ノ多イ地方ニハ國有林ノ面積ガ多イノデアリマス、ソコデ其

ノ國有林モ全然國家ガ經營シ、伐採拂下ラヤツテ居ル關係上、府縣ト云フモノハ何等此ノ恩惠ニ浴スルコトガ出來ナイ、市町村モ亦其ノ祖先傳來愛撫シタ所ノ山ハ殆ド大部分ガ國有林ニナツテ居リマス、其ノ住フ大地ノ中カラ資源ノ開發ヲスルコトガ出來ヌト云フ慘メナ狀態デアリマス、搗テテ加ヘテ今日地方ノ木材拂下ラ受ケテ居ル人間ハ誰カ、斯ウ言ヒマスルト、皆都會地ニ於ケル資本家デアリマス、此處ガ私ガ特ニ御勘考ヲ願ヒタイ點デアル、營林當局ハ其ノ權利ト云フモノヲ皆其ノ縣民外ノ材木資本家ニ與ヘラレテ居ル、宜シウゴザイマスカ、是ハ由々シイコトデゴザイマス、思想問題ト云フケレドモ、是程重大ナ思想問題ノ淵源ハナイ、ソレデ役人ハ——役人ト云フト役人ヲ攻撃スルヤウダケレドモ、サウデハナイ、私モ永ク役人ヲヤツテ居ツタ、三十年モヤツテ居ルガラ、私自身ノコトトシテモ宜シイ、如何ニ地方民ノコトヲ思ヒマナリ勝チデアリマス、ソコデ今日國民ガ地方ニ榮色アル餓卒將ニ横ハラントスルガ如キ窮境ニアルケレドモ、ソレ等ハ概シテ當路者ニハ分ツテ居ナイ、況ヤ其ノ地方ノ木材、其ノ地方ノ土地ノ大事ナ生産資源ヲ持ツ

テ居ル所ノ山地ヲ處理シタモノガ、殆ドデハナイ、全部其ノ縣外ノ資本閥ニ依ツテ吸收奪取セラレテ居ルニ拘ラズ、當局ハ殆ド其ノ現狀ニ一顧ノ同情スラセズ、依然トシテ五百六十アル木材商ヲ其ノ儘ニ見捨テテ、之ヲ都會ノ商人ニ提供シテ居ルノデアリマス、殊ニ更ニ其ノ商人ガ取引ヲスル上ニ於ケル——是ハ具體的ニ申シマセヌ、其ノ取引ニ於ケル政府ノ當路トノ關係ニ於キマシテモ、依然トシテ地方ノ大地ノ上ニ住フ人間ハ閑却セラレ都會ノ資本閥ニ取引ヲセラレルト云フ狀態ニ自ラナリマス、是ハ理ノ當然デアル、當然ノ經路デアル、左様ニ相成リマスルガ爲ニ、常ニ地方ハ木材資源ニ於テ惠マレズ、山地ニ於ケル有ユル産業ニ於テ惠マレズ農産ノ方面ニ於テハ年年ノ不作ニ依ツテ惠マレズ、而モ之ヲ大袈裟ニ寫眞ヲ撮リ之ヲ大袈裟ニ宣傳スルガ如キコトハ、斷ジテ純眞ナル農民ノ出來得ザル所トシテ、彼等ハ我慢シテ居ルガ故ニ、遂ニ喰ヘナイト云フ窮境ニ陥ツテ居ル、農林當局ハ議會中デハアルケレドモ、速ニ此ノ地方ニ向ツテ官吏ヲ派遣シテ、其ノ實情ヲ調査ラシテ戴キタイ、是ハ此ノ機會ニ於テ山林當局ノ方デナクテモ宜シイ、農務當局デ宜シウゴザイマス、ソレヲ御覽ニナツ

テ戴キタイ、ソレカラ各府縣ニ於ケル國有
林拂下ノ數字ヲ玆ニ御報告ヲ願ツテ、サウ
シテ、其ノ拂下ノ狀態ガ其ノ縣民ヲ如何ニ
輕視シテ居ルカト云フコトヲ突キ止メラレ
テ、サウシテ此ノ委員會ニ於テ十分斯ル弊
害ヲ一掃スルト云フコトヲ言明ヲシテ戴キ
タイ、私ハ此ノ機會ニ其ノ言明ガ得ラレナ
ケレバ、此ノ議會ノ何レカノ機會ニ於テ斷
乎トシテ之ヲ言明シテ戴クコトヲ要求スル
積リデアル、ソレデ重複シマスケレドモ、

眺メマスト、役人ト商賣人トガ一緒ニナツ
テ木材ノ値段ヲ引上ゲテ居ルヤウニ一般カ
ラ考ヘラレル、一般材木業者ノ憤懣甚シ
イ幾多ノ材料ハ私ノ机上ニ集積シテ居ル、
ケレドモ私ハ勿論ハ公開ハシナイ、ケレ
ドモ今ニシテ當局ガ之ヲ改メズンバ由マシ
キ問題ヲ生ズルト云フコトヲ申上ゲマシテ、
之ニ對シテ山林當局ニ於カレテ如何ナル御
用意ガアルカ、御言明ヲ願ヒタイノデアリ
マス

最後ニモウ一ツ繰返シテ置キマスガ、ドウ
カ地方ノ森林資源ガ、殆ド其ノ地方ノ森林
資源ノ大部分ガ官有ニ屬シ、而モ其ノ官有
資源ノ賣買ハ殆ドデハナイ、全部資本閣ノ
爲ニ蹂躪ヲセラレ、而モ其ノ當路者ハ斯ク
スルコトヲ以テ高く賣レル、成績ガ舉ガル
ト云フヤウナコトカラ之ヲ改メルコトガナ
イ、斯ウ云フコトガアルカナイカ斷言シテ
戴キタイ、若ノ斷言ガ出來ナケレバ、御調
査ヲシテ斷言ヲシテ戴キタイ
ソレカラ今一ツハ最近木材ノ需要ガ激増
致シマシタ爲ニ價格ガ上ツテ來ル、サウス
ルト動モスルト營林當局ハ林木ノ拂下ニ付
テ値段ガ上ガル程成績ガ舉ガルト云フ人情
カラ、恰モ表面カラ眺メマスト、實質ハサ
ウデナイト確信シテ居リマスガ、表面カラ

○村上政府委員 國有林内ノ開墾適地ノ解
放ニ付キマシテハ屢、此處デ御答辯申上ゲ
タ通り、東北ノミナラズ、是ハ高知縣ニ於
テモ其ノ他九州ニ於テモ、總テ國有林ガ多
ク、ソレガ爲ニ耕地ノ少イ所ニ於キマシテ
ハ、耕地ニ適スルヤウナ所ニ付テハ、之ヲ
貸付ケルナリ、或ハ拂下ゲルナリ致シマス、
是ハ何モ東北ニ限ツタ問題デゴザイマセ
ヌ、又高知縣特有ノ三極造林、今日和紙ノ
原料トシテ三極ガ大事デアルト云フコトハ
私等ハ十分知ツテ居リマス、是等適地ニハ
栽培ノ爲ニ國有林ヲ貸付ケルト云フコト
ハ、從來モヤツテ居リマスガ、是ハ繼續シ
テヤリマス、ソレカラ國有林ノ拂下方針ニ
付テデアリマスガ、今日ノヤウニ物價騰貴
ノ時ニ於キマシテ公入札ヲ原則ト致シマス

コトハ、官吏ノ方ニ於テ釣上ガフ爲スト云
フ意思ハ毫末モゴザイマセヌケレドモ、結
果ニ於テ材價ガ上ルト云フコトハ有り得ル
ト思フ、併シナガラ斯様ナコトハ此ノ際成
ルベク避ケナケレバナリマセヌデ、會計
法ノ許ス範圍内ニ於テ斯ウ云フ制度ヲ少ク
トモ事變中ハ相當縮小シタイ、斯ウ云フコ
トヲ考ヘテ居リマス、是ハ直チニ具體案ヲ
立テテ實行スル積リデアリマス、尙ホ公入
札制度ヲ採リマスレバ、是ハ何處カラデモ
人ガ入ツテ來ルカラ、從來拂下ヲ受ケタ商
人ガ縣外ノ商人ガ多クツタト云フ實例ハア
ラウト思ヒマス、ソレデ從來モ地元ノ關係
ハ十分ニ考慮致シマシテ、地元ノ産業ニ必
要ナル資材ハ之ヲ隨意契約ニ依ツテ賣拂ッ
テ居リマシタ、併シナガラ高知縣ノヤウナ
所ノ杉デアルトカ柾デアルトカ縦トカ云フ
モノハ、是ハ直接地元デ買受ケラレル方ガ
無イ爲ニ、時ニ公賣或ハ特賣シタ形ニナツ
テ居リマシテ、是等ノ點ニ付キマシテ、今
後ドウヤツテ行クカト云フコトハ、十分今
後研究シテ見タイと思ヒマス、唯總テ商人
ヲ相手ニセズト云フコトハ出來マセヌ、ソ
レデハヤハリ國有林ノ拂下トシテ動キガ取
レマセヌ、ソレハ左様ニ御承知置キヲ願ヒ
マス

○長野長廣君 洵ニ御尤ナ御答辯ト存ジマ
ス、就キマシテハ、此ノ手續ノ問題デゴザ
イマスルガ、從來動モスレバ手續ニ困難ヲ
感ジマシテ、地方ノ農民或ハ團體ガ、開墾
或ハ拂下ヲ願フ上ニ於キマシテ、其ノ煩雜
ナ爲メ自ラ之ヲ差控ヘルト云フ向ガ多イノ
デゴザイマス、ソレデ出來ル限リ此ノ手續
ヲ簡易ニシテ戴キマシテ、又地方ノ營林署、
營林局、或ハ農林省、此ノ事務ノ進捗方ト
云フコトニ付キマシテモ、一ツ特ニ進捗出
來マサヤウニ改善ヲシテ戴クト云フヤウナ
コトニ出來ナイモノデアリマセウカ、其ノ
點ヲ一ツ御伺シタイ、ソレカラ只今ノ、商
人ヲ相手ニスルコトハ已ムヲ得ナイト云フ
コトハ、ソレハ勿論其ノ通りデアリマスケ
レドモ、地方ノ小サイ業者ト云フモノハバ
ラバラデアリマスカラ、寧ろ是等ヲ集ツタ
一ツノ統制シタ團體ニシマシテ、サウシテ
之ニ其ノ途ヲ開イテヤルト云フヤウナ世話
ヲ一ツ當局デヤツテ戴クコトハ出來ナイモ
ノドラウカト云フコトデアリマス、ソレカ
ラ今一ツハ、國有林ノ中デ事實上元ハ地方
民ガ植付ケタコトハ認メラレテ居ル、然ル
ニ行政裁判等ノ爲ニソレガ國有ニナツテシ
マツタ、サウシテ若シ其ノ縣ニ於テ財政上
等ノ關係カラ非常ニ必要ナル場合ニハ之

ヲ縣ニ拂下ゲテ、サウシテ伐木サセルト云フヤウナ契約トデモ云ヒマス、條件トデモ云ヒマス、サウ云フヤウナモノノ附イテ居ルモノモボツ、アルヤウデアリマス、又左様デナクトモ、モト民ノ植エタモノデアルコトハ間違ヒナイト云フヤウナモノモアルデアリマス、是等ノモノハ、只今申上ゲタヤウニ、地方ノ山林ノ大部分ハ國有林デアル、サウシテ其ノ地方ハ財源ニ困窮シテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、伐期ニ到達シタモノハ、此ノ施業ニ關スル規定モ出來タ曉ニ於テハ、成ベク之ヲ府縣ノ團體ニ、或ハ市町村ト云フヤウナ團體ニ拂下ゲテ伐木販賣セシムルト云フヤウナコトニスルコトガ宜クハナイカト考ヘマス、個人デアルト色々ハ利權其ノ他ノ關係デ忌ムベキ事柄ヲ伴フカラ私ハ主張シマセヌガ、曾テ條件附キノモノデアルトカ、或ハ國家ガ大部分ノ山林ヲ所有シテ居ルト云フヤウナコトノ爲ニ地方ノ自治團體ガ困窮シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、其ノ地方ニ許シ得ル範圍ニ於テ出來ル限りノ手心ヲ加ヘル必要ガアリハシナイカ、其ノ邊ニ付テノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 手續ハ成ベク簡易化シタイ、現在デモ其方針ヲ以テ進ンデ居リマス

ガ、尙ホ煩雜ナ所ガアレバ出來ルダケ之ヲ省略シテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ若シ斯ウ云フ公入札制度ヲ縮小シテ、ソレヲ隨意契約ニデモ改メル場合ハ、御説ノ通り小サナ商人等ハ之ヲ何トカ特殊ノ組合、工業組合ト申シマス、商業組合ト申シマス、或ハ任意團體カ何カサウ云フ團體ヲ作ラシテ、之ヲ取引ノ相手方ニシナケレバイカス、新ウ思ツテ居リマス、ソレカラ最後ノ御話ハ、是ハ民ガ植エタコトガ明白ニナツテ居リマスモノハ、今植樹費トシテ貸付ケテ居ルモノモアリマス、是ハ官地民有林デスガ、部分林制度ヲ採ツテ居ルモノモアリマス、是ハ御承知ノ通り伐期ニ達シマシタ場合ニ於テハ、官民トガ分岐スルノデアリマシテ、普通民ガ七分、官ガ三分位デアリマスガ、是ハ部分林契約ニ依ツテ色々モノノガアリマス、モツト民ノ多イノモアリマスシ、官ノ分収ノ多イノモアリマス、ソレカラ官有林ノ非常ニ多イ所デ伐木伐採シタ場合ニハ之ヲ町村ニ拂下ゲタラドウカ、斯ウ云フヤウナ御話ノヤウニ承ツテ居リマシガ、是ハヤハリ其ノ時々ノ場合ニ依リマシテ、從來ニ於テモ町村等ニ相當拂下ゲテ居リマス、左様ナ次第デアリマスカラ、之ヲ原則トシテ全部町村ニ拂下ゲルト云フコト

モ、前ニ申シマシタヤウニ商人ノ方ニハ一切拂下ゲナイト云フコトニナリマシテ、是ハ國有林ノ運營上カラ申シマシテ、サウ云フ原則ヲ立デルコトハ困難カト思ヒマス

○長野長廣君 私有ハ以上デ終リマス

○小山委員長 此ノ際松尾委員ニ御諮リヲ致シマスガ、アナタノ質問中大藏省ニ關スル御質疑ハ之ヲ保留サレテ居リマス、只今大藏政務次官御出席デアリマスカラ此際御發言ヲ求メマス——松尾君

今日マデト雖モ、山林ヲ主産トシテ居リマスル相續稅ニ付テハ非常ニ困難ナコトガアリマシテ、是ガ爲ニ非常ナ濫伐ガ起ルノデス、此ノ濫伐ガ木材ノ價格ヲ暴落セシメマシテ、其ノ落暴シタ結果トシマシテ、更ニ又他ノ山林家ガ資金ヲ得ル爲ニ已ムヲ得ズ多數ノ數量ヲ伐採致スコトニナツテ、段々供給過多ニナリマシテ、暴落ニ次グニ暴落ヲ以テシマシテ、山村デハ非常ナ經濟的ノ打撃ヲ受ケル、現ニ私ノ地方ニ於キマシテハ、此ノ被害ヲ受ケマシテ、相當ナ資産家ガ非常ニ没落ノ運命ニ陥ツテ居ルヤウナ方ガ出來タノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ常ニ此ノ點ニ付テ、山林ノ相續稅ダケハ少クトモ物納ニシナケレバナラスト考ヘテ居ル、サウスレバ之ニ對スル救済ノ途方開カレルノデス、又濫伐ノ弊ガ除カレル、山林其ノモノニ對シテ、相續ノ稅ノ割合ニ國家ガ之ヲ或ル見積リヲ立テマシテ、國家ニ、物ヲ以テ——山林ヲ以テ納メル、斯ウ云フコトニスレバ、國家ハ適當ナ時期ニ、即チ施業案ニ編成サレテ居リマスル通りニ伐採サレテ行ツテ段々換金サレマスカラ、此ノ事ガ完全ニ納稅ノ義務ヲ果サセル、斯ウ考ヘマスルノデスガ、サウ云フ御考ガアリマセヌカ、若シ物納ガ出來ナイト云フコトデアレ

○松尾(四)委員 私有ハ本案ト納稅ノ關係ニ付テ大藏當局ニ御尋ヲ致シタイ、其ノ他一二點尙ホ金融上ニ付テノ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ納稅ノ關係ヲ御尋申上ゲマス、此ノ施業案ヲ實施致シマシテ實行致シテ參リマスルト、伐採ガ自由ニナリマセヌ、又造林モ或ル程度強要サレル、山林ガ自己ノ所有デアリマシテモ、自己ノ意ノ儘ニナラナイ、束縛サレテ行キマスノガ所謂本案ノ骨子デアリマスル施業案ノ實施デアリマス、所ガ相續稅ヲ納メナケレバナラヌヤウナ時ニ相成リマシタ時ニ、一時ニ其ノ税金ノ調達ヲシナケマバナラス、相續稅ハ七箇年ノ分納ヲ許サレテ居リマスカラ、七箇年ノ間ニハ少クトモ山林ノ大部分ヲ伐リ拂ツテ處分シナケレバ納稅ガ出來マセヌ、

今日マデト雖モ、山林ヲ主産トシテ居リマスル相續稅ニ付テハ非常ニ困難ナコトガアリマシテ、是ガ爲ニ非常ナ濫伐ガ起ルノデス、此ノ濫伐ガ木材ノ價格ヲ暴落セシメマシテ、其ノ落暴シタ結果トシマシテ、更ニ又他ノ山林家ガ資金ヲ得ル爲ニ已ムヲ得ズ多數ノ數量ヲ伐採致スコトニナツテ、段々供給過多ニナリマシテ、暴落ニ次グニ暴落ヲ以テシマシテ、山村デハ非常ナ經濟的ノ打撃ヲ受ケル、現ニ私ノ地方ニ於キマシテハ、此ノ被害ヲ受ケマシテ、相當ナ資産家ガ非常ニ没落ノ運命ニ陥ツテ居ルヤウナ方ガ出來タノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ常ニ此ノ點ニ付テ、山林ノ相續稅ダケハ少クトモ物納ニシナケレバナラスト考ヘテ居ル、サウスレバ之ニ對スル救済ノ途方開カレルノデス、又濫伐ノ弊ガ除カレル、山林其ノモノニ對シテ、相續ノ稅ノ割合ニ國家ガ之ヲ或ル見積リヲ立テマシテ、國家ニ、物ヲ以テ——山林ヲ以テ納メル、斯ウ云フコトニスレバ、國家ハ適當ナ時期ニ、即チ施業案ニ編成サレテ居リマスル通りニ伐採サレテ行ツテ段々換金サレマスカラ、此ノ事ガ完全ニ納稅ノ義務ヲ果サセル、斯ウ考ヘマスルノデスガ、サウ云フ御考ガアリマセヌカ、若シ物納ガ出來ナイト云フコトデアレ

バ、施業案ト納税ト云フコトハドウモ紙觸シタ點ガ出來ルノデス、サウ云フ時ニハ施業案ナドト云フモノハブツ潰シテ納税ヲ先ニヤラナケレバナラスモノデアリマスカラ——此ノ點ヲ伺ツテ置キマス。

○松村(光)政府委員 森林ニ關スル相續税ノ納付ニ付テ物納ヲ認メル意思アリヤドウカト云フ第一ノ御尋デアリマスガ、物納問題ハ、森林收入ノミナラズ、其ノ他ニ於キマシテモ時々問題ニナル事柄デアリマスガ、直チニ之ヲ認メルカドウカト云フコトニ付キマシテハ御答ヲ申上ゲ兼ネマスガ、尙ホ十分考慮シ調査シナケレバナラスコトデアリマス、如何ナル範圍ニ物納ヲ認メルカト云フコトニ付キマシテハ、森林ノ物納ノミナラズ、多方面ニ關係スル所ガ少クナイノデアリマス、隨テ理論上カラハ、ドウモ物納デナケレバ困ルト云フコトハ屢々議論サレルコトデアリマスルケレドモ、今直チニ之ヲ認メルト云フコトハ明確ニ御答致シ兼ネルコトヲ遺憾ト致スノデアリマスガ、尙ホ十分調査ヲ致シマシテ、假ニ物納ガイカヌ、原則トシテ物納ハ駄目ダカラ認メ兼ネルト云フ場合ニナツタナラバ、然ラバドウ云フ方法ヲ以テ是等ノ不便ト云フカ、是等ノ状態ヲ緩和スルカト云フコトニ付キマシ

テハ、尙ホ十分調査ノ上御答致シタイト思ヒマス、隨テ此ノ物納問題、納税ト施業案トノ關係ニ付キマシテ矛盾ガ出來ルデヤナイカト云フ御尋デアリマシタガ、果シテ御尋ノヤウナ矛盾ガアルカドウカ、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ、モウ一應能ク調査ノ上御答申上ゲタイト思ツテ居リマス

○松尾(四)委員 納税ト施業案トノ關係ニ付テハ調査シテ御答下サルト云フコトデゴザイマスレバ、ドウモ是ハ已ムヲ得ヌコトデマシテ、此ノ物納ニ付キマシテ、一體物納ニシタナラバ國家ニドウ云フ不都合ガアルノデスカ、ドウモ私ハ他ノモノニモ、サウ云フ關係ガ及ブヤウニ思フト云フ御答デアリマスガ、サウ云フ物納ヲセナケレバナラスト云フ、此ノ山林ノ相續税ノヤウナ状態ノモノハ他ニハ無イヤウニ思フノデス、是ハ特別ナ資産デアリマシテ、或ル一定ノ所謂施業案ニ編成サレマシタヤウニ、山林ト云フモノヲ保有シテ行クコトデ山林ノ一定ノ價值ガ保タレルト山林局長ハ答ヘラレテ居リマス、其ノ通りデアリマス、又其ノ通りデナケレバナラス、其ノ年限ニ達スルマデニ其ノ施業案ニ依ラズシテ、納税ノ義務ヲ果ス爲ニ伐ラナケレバナラス、國家カ

ラ言ツテモ非常ニ不利益ナコトデアル、個人的ニモ勿論不經濟デアリマス、ソレデモ強ヒテ納税ノ期間ガ來タラヤラナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ事情ノモノハ他ノ相續税ナンカニハ起リ得ナイト思フ、特ニ山林財産相續ニ限リ出來ル事柄ト、斯ウ考ヘルノデスガ、是ハドウシテモ出來ナイト云フコトデアレバ、物納ニ出來ナイト云フ理由ヲ一ツ明白ニシテ戴キタイト思フノデス、調査ヲサレテ御答ヲスルト云フ今ノ御話デゴザイマスガ、現在アナタノ御常識ニ於テ御考ニナラレル點ダケデモ宜イデスカラ御答ヲ願ヒタイト思フ

○松村政府委員 物納ノ前提トシテ山林ヲ濫伐シ、隨テ無理ニ賣ラウトスルカラ暴落スルト云フヤウナ前提ニ御話ガアリシマタガ、成程場合ニ依リ、又所ニ依リマシテハドウシテモ納税期間中ニ伐採ヲシテ、ソレカラ其ノ收入ヲ以テ納税シナケレバナラスト云フコトカラ、左様ナ懸念ガアリ得ルトハ想像サレルノデスガ、併シ或ル期間内ニ一遍ニ——是ハ納税ガ分割納税デアリマスルカラ、其ノ納税ノ期間内ニ分割シテ處分スレバ宜イノデ、一遍ニ其ノ所有ノ森林ヲ濫伐シテ、サウシテ安クテモ賣ラナケレバナラス、處分シナケレバナラス、斯様ナ結

論ニ必ズ到着スルモノトハ限ラスノデアリマス、況ヤ伐採シタ木材ニ付キマシテハ、普通市場ニ依リ、經濟界ノ事情ニモ依リマスノデ、多少足元ヲ見ラレルト云フ虞モアリマセウガ、ソレハ特殊ナ場合ノヤウニ想像サレルノデ、一定ノ市價モアリ、ソレカラ各種ノ販賣方法ニ付キマシテモ、方法モアリマスノデ、伐ツタラ必ズソレハ足元ヲ見ラレテ叩キ落サレルト云フ結論ニモ到着シ兼ネルト思フ、唯問題ハ其ノ財産ヲ或ル期間内ニ處分シナケレバナラス、ソレヲ伐採シナケレバナラスト云フコトハ、販賣ノ上ニ於テ多少ノ不便ノアルコトハ想像サレルノデアリマス、隨テ之ニ對シテハ納税ノ方法ニ付キマシテ、何か私ガ先程申シマシタヤウナ研究調査ノ必要ガアルト考ヘマス、併シ濫伐シテ直グ二束三文デ之ヲ賣ラナケレバナラスト云フコトノ場面ハ、場合ニ依リマシテ起リ得テモ、ソレハ例外ノヤウナ場面デハナイカト思ヒマス、又物納ヲ認メルト云フコトニナリマスルコトハ、屢々是ハ問題ニナツテ居ルノデアリマスルケレドモ、森林外ニモ、ヤハリ相續税以外ニ付キマシテモ、物納ヲ認メヨト云フ議論ハ屢々是ハ起ル問題ナノデアリマス、隨テ森林ノ場合ニ理論上ハ正シイト云フ前提ノ下ニ物納ヲ認

メルト云フト、他ノ場合ニモソレガ波及ス
ルト云フ虞モアリマスノデ、物納ヲ認ムル
カ否カト云フ問題ハ、是ハ税制上ノ問題ト
シテ根本的ノ議論ニナリマスノデ、ソレデ
森林ノ場合ニ物納ガ善イトカ惡イトカ云フ
問題ト同時ニ、全般的ニ是ハ考ヘナケレバ
ナラヌト思ヒマスノデ、只今申シマシタヤ
ウニ、物納ノ問題ハ波及スル所少カラザル
ヲ以テ尙ホ慎重ニ考慮致シマシテ、萬一之
ヲ認メルト云フ場合ニハ、然ラバ如何ナル
場面ニ限ツテ之ヲ認メルカト云フ問題モ餘
程研究ヲシナケレバナリマセヌノデ、其ノ
意味ニ於キマシテ、尙ホ調査ノ上デ御答申上
ゲタイト思ツテ居ルヤウナ次第デアリマス
○松尾(四)委員 山林相續税ノ納税ハ納税
期間ニ餘裕ガアルカラ、直チニ濫伐ニハナラ
ナイ、又隨テ二束三文ニ賣ルヤウナ場合ヲ
想像出來ナイト云フ御答ノヤウニ存ジマス
ガ、ソレハ事實ニ即シマシテ全然違フノデ
アリマス、是ハ非常ニ濫伐ニ陥ル所ノモノ
デアルト存ジマス、殊ニ吉野林ハ御承知ノ
通り難ノ美酒ノ容器デアリマス、是ガ爲ニ
特別ナ價值ヲ持ツテ居ル、其ノ特別ナ價值
ガヤハリ其ノ吉野林ノ特徴デアリマシテ、
其ノ特徴ノ爲ニ値段ヲ維持シテ居ル、ソレ
デ斯ウ云フモノガ一時ニ市場ニ押掛ケテ行

キマスルト、毎年一年ノ需要ガ、例ヘバ五
万樽ノモノガ要ルモノトスレバ、ソレニ三
万モ多イ量ノモノガ市場ニ入ツテ行キマス
ト、不要ナモノデアリマスカラ、ソレガ爲
ニ値段ハ半値ニモナルヤウナ状態ガ始終起
ル、若シ値段ガ半値ニナレバ一万圓ノ税金
分ヲ拵ヘヨウト思ヘバ、一万圓分ヲ伐ツテ
足リタモノガ今度ハ倍ノ二萬圓分ノモノヲ
伐ラナケレバソレダケガ出テ來ナイ、斯ウ
云フ状態デアリマシテ、已ムヲ得ズ十町歩
ノ山ヲ伐ツテ處分スレバ納税ガ果セルモノ
ヲ二十町歩モ伐ラナケレバナラヌコトナル
ト思フ、即チソコニ濫伐ガ起ル、隨テ其ノ
影響ヲ受ケテ、今度ハ量ノ方カラ供給過多
ガ起キテ參リマス、已ムヲ得ズ値段ハ暴落
ニ暴落ヲ重ネテ、暴落ヲシテモ、ヤハリ山林
家ハ資本ヲ入レナケレバナラス時ニハ已ム
ヲ得ヌカラ、又伐ツテ收支ヲ合セテ行カナ
ケレバナラス、斯ウ云フ状態デ、非常ナ濫
伐ニナル、ソレデスカラ其ノ濫伐ヲ防グト
云フコトガ森林資源確保ノ第一ノ條件デ、
今日山林局アタリデハ最モ御心配ヲシテ下
サツテ居ルト思フ、ソレト全然逆ナ行キ方
ニナリマス、是ハ、此ノ法案ヲ出セバ出ス
程必要ト思ヒマス、ドウカ御研究ヲ御願シ
タイ、ソレカラモウ一ツハツキリシテ置イ

テ戴キタイノハ此ノ點ト、モウ一ツハ先ニ
二點申上ゲマシタ一點ハ、施業案ヲ實行シ
テ行キマスと伐採ガ出來ナイ、伐採ガ出來
ナイ時ニハ相續税ノ納付ニ非常ナ困難ガ起
ル、借錢ヲシテ居ル、借錢ヲスレバ借入金
ノ方ガ利子ガ高イカラ、結局山ハ施業案通
リニ伐採ガ出來ル時期ガ來タ時ニハ、モウ
既ニ金利ニ追ハレテ山ヲ全部伐リ拂ツテ
モ、拂ヘヌヤウナコトガアルカモ知レナイ、
又所謂物價經濟ニ左右セラレルコトモゴザ
イマス、サウ云フ關係カラ、此ノ施業案ヲ實
施サレテ居ル山ノ相續税ノ納付ノ時期ニ對
シマシテハ、施業案トノ關係ハドウナンデス
カ、施業案ハ編成サレテ居ツテモ、又別ニ
納税ノ義務ガ起ツタ時ニハ本人ノ自由デ伐
採出來ル、斯ウ云フコトニナルノデスカ、
一ツ明瞭ニシテ置キタイト思フノデス
○松村(光)政府委員 只今御尋ノ前半ノコ
トラ先ツ御答ヲ致シマス、成程偶々相續ト云
フ問題ガ起ツタ時ニ、全體ノ吉野杉ノヤウ
ナモノノ市價ガ落チテ居ルト云フ不運ニ遭
遇致シマスレバ、只今ノ御尋ノヤウナコト
ガ起リ得ルデアリマセウガ、併シソレハ偶々
市價ガ暴落シタ時ニ相續ト云フコトガ併セ
テ起ツタヤウナ場合デアリマスルノデ、相
續ト云フ問題ガ起ツタ爲ニ、サウ濫伐々々

ト言ウテモ、其ノ相續者ガドノ位ノ大森林
ヲ持ツテ居ラレルカ、兎モ角モ其ノ者ガ伐
ツタ爲ニ濫伐、暴落ガ起ルト云フコトハ、
ソレハ偶々起リ得ルカモ知レマセヌガ、市價
ノ暴落ト云フコトト必ズシモ兩者同時ニ起
ルコトデハナイト思ヒマス、唯斯様ナ問題
ハ森林金融トノ關係ガアリマスルノデ、若
シ非常ニ暴落シテドウニモナラヌト云フ場
面ガ起リマシタ時ニハ、是ハ相續財産評價
ノ問題トカ、ソレカラ其ノ時ニ伐採セズニ、
暫ク金融スルトカ何カシテ伐採ヲ一時延期
スルトカ云フヤウナ色々ナ問題ト關聯ガア
リマスルノデ、隨テ相續シタ、直グ伐ラナ
ケレバナラス、隨テ暴落スルト云フ、サウ
云フ三段論法的ノコトハ必ズシモ起リ得ナ
イノデハナイト先程申上ゲタ譯デアリマ
ス
尙ホ第二段ノ、兎ニ角相續ガ起ツタ場合
ニ施業案ヲドウスルカト云フ問題デアリマ
スルガ、ソレハ今農林當局トモ御相談シマ
シタガ、第十一條ノ末項ニ依リマシテ、「已
ムヲ得サルニ出デタル伐採」ニ付キマシテ
ハ、是ハ適用出來ヌト云フコトニナツテ居
リマスノデ、サウ云フ場合ニハ此ノ十一條
ノ末尾ノ規定ニ依リマシテ、此ノ施業案ニ
例外ガ設ケラレテアルヤウニ考ヘラレマス

ルノデ、其ノ點併セテ御答致シマス

○松尾(四)委員 サウ致シマス、第二段ノ施業案トノ關係ニ付キマシテハ、第十一條ノ末項ノ「生活ヲ維持スル爲己ムヲ得サルニ出テタル伐採」此ノ條文ガ當嵌マル譯デゴザイマスカ

○村上政府委員 相續稅ヲ拂ヘスガ爲ニドウモ強制執行デモ受ケナケレバナラスト云フヤウナ時ハ、生活ヲ維持スル爲己ムヲ得ザルモノト認メマス

○松尾(四)委員 其ノ點ハソレデ諒承致シマシタ、ソコデ私ハモウ一點伺ヒタイノデスガ、今既ニ政務次官モ十分御認メニナラレマシテ、説明ノ中ニモアリマシタガ、相續稅ヲ一時ニ納付シナケレバナラスヤウナ場合ニハ、ヤハリ金融モツケテ行カナケレバナラス、斯ウ云フコトヲ既ニ御認ニナツテ居ル、即チ本案ヲ實行シテ行キマスノニハ、金融ヲ確立スルト云フコトニ依ツテ本案運用ノ完璧ヲ期スルコトガ出來ルト思フノデス、ソコデ先刻農林大臣ニモ此ノ點ニ付テ御尋シタノデスガ、農林省ハ恐ラク此ノ點ニ異存ハナイノデス、アル筈ガナイ、大藏省ノ方ガ此ノ點ニ付テ非常ニコダハリガアルノデハナイカと思フ、金融ガ付カナケレバナラス、デスカラ此ノ法案ヲ實施シテ運

用シテ行キマス上ニ於キマシテハ、少クトモ森林金庫ノ制度デモ設ケル、現在ノ勸業銀行、農工銀行等ノ擔保價格ノ三分ノ一シカ貸サナイヤウナ金融、而モ金利モ決シテ低利デアリマセヌ、サウ云フ金融デハ此ノ法案ヲ實施シテ、本當ニ救済ノ途ヲ果スコトガ出來ナイと思フ、デスカラソレニ對シテ大藏當局ハ金融的援助ヲ與ヘテ下サル所ノ御考ガナイカ、今現ニ其ノ必要ヲ痛感シテ居ル、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、ソレヲ一點伺ヒタイ

同時ニモウ一ツ伺ツテ置キマスガ、先般本會議デモ申上ゲマシタシ、又同僚カラモ申上ゲタノデスガ、國有林ノ森林收入ヲ特別會計ニ移スト云フコトデアリマス、今ハ大藏省ノ豫算收入ノ中ニ森林收入ト云フモノヲ設ケテ、ソレデ金額ハ押ヘテアルガ、數量ニハチツトモ關知シテ居リマセヌ、其ノ金額マデハ安クテモ高クテモ間ニ合ハサナケレバナラス、サウ致シマスト暴落致シマシタ時ニハ、非常ニ多量ノ官行材ガ出來ル、其ノ多量ノ官行材ノ爲ニ市場ヲ壓迫スルト云フノデ、先刻申シマシタ相續稅ノ時ノ供給過多ト同ジヤウナ状態ニ陥ルノデス、ソレト反對ニ今度ハ非常ニ木材ノ價格ガ暴騰シテ、所謂國民生活ヲ脅スヤウナ状態ニナ

ツテモ、ヤハリ金額ヲ押ヘテアルカラ、其ノ金額ヨリ多ク伐ル必要ハナイ、ソコデ供給不足ニナル、國家自ラ國民生活ノ大本ヲ握ツテ居ラレテ、而モ自ラ國民生活ノ安定ヲ脅カス、斯ウ云フコトガ此ノ森林收入ノ上ニ於テ毎年々々繰返サレテ居ル、ソコデ本案ヲ實施スルコトニナレバ茲ニ我國ノ山林政策ノ根本ガ確立スルノデアリマスカラ、此ノ機會ニ於テ思ヒ切ツテ此ノ特別會計ヲ設ケラレテ、木材ノ需給關係ヲ一元的ニ、而モ日滿ヲ通ジテ一元的ニヤツテ行クト云フ建前ニシテ戴カナケレバナリマセヌガ、是ハ大藏省ノ考ヘ一ツデス、而モ大藏省ニハ何等反對スル譯ハナイと思ヒマス、ソレダケノ金額ハ特別會計ニ於テ農林省ニ御任セニナレバ一向差支ナイコトと思ヒマス、何十年モ前カラヤツテ居ル森林收入トシテ其ノ金ヲ收入シナケレバナラスト云フコトモナイト思ヒマシテ、今日ハ斷然之ヲ改メラレル好機會デアルト思ヒマス、ソレデ此ノ金融關係ノコトト、特別會計ノ問題トノ二點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○松村(光)政府委員 先程私が御答申上ゲマシタコトハ、非常ニ大キナ相續稅ヲ取ラレル時期ニ森林ノ木材ノ市價ガ暴落シテ中容易ナラスト云フ特殊ノ場合ニ於テハ、

相續者ガ其ノ財産ノ評價ノ上ニ於テ、又特ニ金融ト云フヤウナコトヲ自ラ講ジナケレバナラス場面ガ起ツテ來ルト云フコトヲ申上ゲマシタノデ、此ノ施業案ヲ實施スルナラバ、併セテ森林金融、殊ニ森林金庫ノヤウナモノヲ考ヘル意思アリヤ否ヤト云フ御質疑デアリマスガ、成程森林金融ノコトモ大本的ニハ講ジナケレバナラスコトデアリマスガ、森林金庫ヲ今直チニ設ケルヤ否ヤト云フコトニ付テハ今遽ニ御答申上ゲ兼ねルノデアリマス、十分研究シ、又事務當局トモ相談ヲシタ上デ申上ゲタイと思ヒマス

第二ニ今日ノ森林收入ノヤウナヤリ方デハ市價ノ激變ノ爲メ困ルデハナイカ、一方施業案ヲヤルト云フ國家ノ森林政策ノ大方針ニ悖ルデハナイカト云フ御質問ノヤウニ伺ヒマシタガ、是ハ大藏省ガ森林收入ヲ規定致シマスコトハ、國費多端ナル折柄已ムヲ得ズ各年度々々此ノ位ノ收入ヲ得タイト云フ希望ニ基イテ茲ニ計上致シマスノデ、其ノ時々ノ市價ノ變動ニ依ツテ只今御話ノヤウナコトガアルコトハ避ケ難イコトと思ヒマス、併シ之ヲ特別會計ヲ設ケテ、サウシテ需給關係ト見合セ、更ニ森林國策ノ大方針ト見合ツテヤルト云フコトハ必要ナ事柄ノヤウニ考ヘラレマスルケレドモ、併シ之

ヲ直チニ特別會計ニシテ、只今御質疑ノヤ
ウニ整理スルカドウカト云フコトニ付キマ
シテモ、尙ホ十分考慮致シマシテ、農林當
局トモ相談シ、果シテ此ノ場合特別會計ガ
旨ク行クモノカ、行カヌモノカ、元來需給
關係ノミナラズ、市價ハ國際的ニモ國內的
ニモ變動スルノデアリマスルカラ、一定ノ
伐採量ヲ決メマシテ、サウシテ各年度ノ森
林收入ヲ豫定ノ如ク得ルト云フコトモ中々
簡單ナコトデナイト考ヘラレマス、隨テ年
年先程申シマシヤウナ森林收入ト云フコ
トヲ豫定シテ、餘分ニ伐ルコトモアラウ、
又伐ラザルコトモアラウ、ソレニ伴ウテ起
リマスル所ハ、見様ニ依ツテハ弊害トモ考
ヘラレマスノデ、尙ホ森林會計ノコトニ付
テハ、十分研究ヲ致シタ上デ適當ナ對策ヲ
立テタイト思ヒマスガ、今直チニソレガ宜
カラウト御答致ス兼ネルコトハ遺憾ト考ヘ
マス

求シテ居ラレテ、唯大藏省ガ之ヲ斥ケ
テ居ルノデヤナイカト思ヒマスシ、又
モウ一ツノ特別會計ノ問題モ大藏省ノ
方デ斥ケテ居ルト思ヒマスガ、私ハ大藏省ノ
御役人サンヲ攻撃スル氣ハ少シモゴザイマ
セヌケレドモ、政府ガ民間ノ聲ヲ聽クト云
フコトニ當ツテハ、ドウシテモ役所ノ建物
ノ中ニ立籠ツテ居ルト、餘リ本當ノ聲ガ通
リニクイノデス、アナタハ政黨ヲ代表シテ
政治家トシテ大藏省ニ入ラレテ居ツテ、今
日デハ大藏大臣ヲ動カシ得ル位置ニ居ラレ
ルノデスカラ、ドウカ此ノ金庫ノ問題、特
別會計ノ問題ハアナタノ御在任中ニ、大藏
省トシテハ、農林省ガ要求スレバ承認スル
ト云フヤウニ御努力下サルヤウ私ハ希望致
シマス、本當ニ政治家トシテ民間ノ聲ヲ實
現ヲシテ戴ク位置ニ——私ノ政黨デハアリ
マセヌガ、唯一ノ政黨ノ代表トシテ入ツテ
居ラレマスルノデ、ドウカアナタノ御在任
中實現スルヤウニ御努力願ヒタイノデ、何
カ一ツ此ノ機會ニ於テ御信念ヲ發表シテ戴
キタイト思ヒマス

○松村(光)政府委員 個人ノ信念ハアリマ
スルガ、御答辯ヲ差控ヘテ置キマス、御質疑
ノコトハ能ク考ヘマシテ、事務當局トモ出
來ルダケ打合セヲ致シタイト思ヒマス

○小山委員長 川俣サンニ申上ゲマス、ア
ナタノ大藏省ニ對スル質問ト商工關係ノ質
問ハ此ノ際御發言ヲ願ツタ方ガ宜カラウト
思ヒマス

○川俣委員 大藏當局ニ對スル質問ヲ保留
シテ居ツタ點ヲ此ノ際申上ゲタイト思ヒマ
ス、當局ハ既ニ御承知ト存ジマスガ、國有
林野所在地市町村ニ對シテ、當該所在地國
有林野ガ有租地ナラバ課セラルベキ地租附
加税ニ相當スル金額ヲ該市町村ニ交付シテ
居ルノハ、昭和四年ヨリ實行中ノ規則デゴ
ザイマスガ、是ハ非常ナ地方ノ熱望ニ基イ
テ農林當局ガ斡旋サレマシテ、今日ソレガ
實施サレテ居ルヤウデゴザイマスガ、此ノ
點ニ付テハ大藏省モ之ヲ適當ナリトシテ、
將來モ續ケテ行カレル意思デアラウト思ヒ
マスガ、此ノ點一點御伺シテ置キタイト思
ヒマス、尙ホ是ハ單ナル地方財政ヲ調整ス
ルダケノ交付金デハナイト私ハ思ツテ居ル
ノデアリマス、勿論市町村財政ノ圓滑ナル
方法ト致シテ考ヘラレテ居ラレマセウケレ
ドモ、實際ハ現在ノ國有林ノ育立チカラ見
マシテ、今日ノ國有林ガ單ナル所謂國ノ國
有林デハナクシテ、各住民ノ長イ間ノ愛撫
ニ依ル森林デアリマスコトハ、既ニ御承知
ノ通りデアリマス、隨テ今日此ノ國有林ヲ

管理經營シテ行キマスニハ、農林當局モ既
ニ御認ニナツテ居リマス通り、全ク是ハ山
村民ノ協力ナクシテハ國有林ガ保護育成サ
レナイノデアリマス、隨テ其ノ保護育成ニ
對スル古來カラノ美風ニ對スル當然ノ制度
トシテ生レテ來タモノト私共ハ考ヘテ居ル
ノデアリマスガ、此ノ點ヤハリ御認デゴザ
イマセウカ、此ノ一點御伺シテ置キマス

○松村(光)政府委員 無論國有林ヲ保護育
成シマスルニハ其ノ當該地ノ人々ト協力ヲ
要スルコトハ言フヲ俟チマセス、交付金ノ
問題ハ隨テ此ノ保護育成ト云フヤウナ考モ
一部分ハ入ツテ居ルト思ヒマスガ、ソレガ
全部デアアルカドウカハ直チニ御答致シ兼ネ
マス、交付金ハ大體ニ於キマシテ今後繼續
サルベキモノト思ヒマス

○川俣委員 ソコデ一寸御尋致シタイトデ
ゴザイマスガ、昭和九年度ニ於テ國有林野
ノ所在町村ハ三千六百一十一デアリマス、サウ
シテ其ノ面積ガ約四百二十二万町歩、十一
年度ハ國有林野所在市町村數ハ三千二十デ
國有林野面積ガ四百二十五万七千八百十六
町歩ニナツテ居リマスガ、交付サレル市町
村數ハ、ソレカラ約七八百減リマシテ、昭
和九年ニ於キマシテハ二千二百九十一箇町
村、交付金ヲ受ケル面積ガ三百六十二万八

千四百七十一町歩、十一年度ハ四百二十五万七千八百十六町歩ノ中三百六十二万四千九百八十四町歩シカ交付サレテ居ナイノデアリマス、其ノ間ニ約六十万町歩、約七百万カラ八百市町村ガ年々除外サレテ居リマシマス、實際ニ於テ交付金ガ渡ツテ居ナイノデアリマス、是ハ御承知ノ通り保安林其ノ他公益用ノ國有林ガ存在致シマス爲ニ之ヲ省イテ居ルノデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ國有林ノ中ノ保安林ノ指定ハ土砂止林、或ハ水源涵養林、或ハ水害防備林、或ハ防風林、或ハ飛砂防備林、或ハ魚附林、或ハ公衆衛生林、或ハ風致林トカ云フコトニナツテ居リマシマスガ、大體國有林中保安林ニ屬スベキ面積ノ約九割五分ハ治水關係ノモノデアリマス、隨テ此ノ治水關係ト云フコトヲ考ヘテ見マスト、保安林ノ中デ其ノ町村ニダケ必要ナモノハ風致林デアリマス、後ハ大抵當該町村ニ在ルト云フコトニ依ツテ、其ノ當該町村ノ利益ト云フモノハ殆ド不足デアリマシテ、附近數箇町村ノ利益ノ爲ニ保安林ガ存在スル、隨テ數箇町村ノ利益ノ爲ニ其ノ當該町村ノミガ交付金ヲ除外サレナケレバナラヌト云フコトニナリマスレバ、其ノ打撃ト云フモノモ相當ナモノニナルノデアリマシマス、所謂保安林ハ縣全體、國全體ノ爲ニ存

在スルノデアツテ——其ノ町村ノ爲ニ存在スルナラバ、ソレハ交付金ノ來ナイコトモ私ハ已ムヲ得ナイト思フ、其ノ町村ニハ偶々保安林ガアルガ、隣ノ町村ハ保安林ガナイ爲ニ全額ガ交付サレル、此ノ町村ハ偶々全縣下ノ爲ニ保安林ガ存在スル、水源地涵養ノ爲ニ存在スル、其ノ爲ニ交付金ガナイト云フコトハ甚ダ不公平デアルバカリデナク、其ノ町村ノ受ケル打撃モ大キイノデアアル、是ハ保安林ガ必要デナイト云フコトヲ申上ゲルノデハナイ、其ノ恩典ハ均霑サスベキデアアル、モット公平ニヤルベキデアアル、金額ニ於テモ大シタコトハナイノデアリマスガ、山村ト致シマシテハ其ノ小サナ金額モ相當大キイコトニナリマスノデ、此ノ點ニ付テ保安林ガ存在致シテ居リマシテモ、ソレハ國家ノ爲メ、縣ノ爲ニ存在スル保安林デアリマスカラ、此ノ町村ニ對シテモヤハリ交付サルベキガ私ハ至當デヤナイカト考ヘマシマス、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒマス

ラルベキ森林ニ對シテハ交付金ヲ出スノガ至當デヤナイカト云フコトデアツタト考ヘマス、是ハ能ク一ツ事務當局トモ打合せマシテ、保安林ヲ指定シタ町村ニハ如何ナル基準ヲ以テ交付金ヲ出スベキカ、色々關聯シタ問題モ少クナイト思ヒマス、是ハ森林以外ノコトデアリマスガ、是同様ノコトガ先年鑛山關係ニ於テモ起リ、鑛山ノ地方稅ヲ國稅ニ移管シタ場合ニ於キマシテモ、鑛山地帶ノ町村ハ非常ニ面倒ガ起ツタヤウナコトモアリマス、國家ノ施設ノ場合ニ於テ斯様ナコトハ時々起リ得ルノデアリマス、ソレヲ默ツテ居ツテモ宜イト云フ趣旨デアリマセヌケレドモ、今ノヤウナコトニ依ツテ起リマシタ町村ニ對スル交付金ニ付テハ、篤ト調査研究致シマシテ更ニ御答申上ゲタイト思ヒマス

要デアルカラ、地租附加稅ガアルベキ管ガナイ、ソレニ該當スル金額ガナイト云フコトデアリマシテナイ、所ガ公益ト云フコトハ、其ノ町村ノ爲ニアル風致林ノヤウナ場合デアリマスレバ、是ハ其ノ村ノ爲デアリマシマスガ、其ノ保安林ガアルト云フコトガ數箇町村、縣全體、國全體ノ爲ニ存スルノデアリマシテ、其ノ村ノミノ爲ニ存スルノデアリマシテ、當然交付サルベキモノデアラウト考ヘル、斯ウ申上ゲタノデアリマシテ、金額モ大キクアリマセヌシ、地租附加稅ニ相當スル金ト致シマシテ、算定ノ基礎モアルノデアリマシテ、何モ困難ナコトデハナイト思ヒマス、唯其ノ頭ニナツテ戴キマスレバ、簡單ニ出來ルコトデアルト思ヒマスカラ、十分所管事務當局トモ御協議ナスツテ戴キタイ、農林省ハ恐ラク之ニハ異議ガナイト思ヒマス、大藏省サヘ御決心下サイマスレバ宜イ、ソレニ金額モ大シタコトデアリマセヌ、唯不公平デアルト云フコトト、山村ガ受ケル打撃ガ非常ニ大キイト云フコトガ重大ナノデアリマスカラ、ドウゾ此ノ點ハ篤ト御配慮願ヒタイト思ヒマス

○松村(光)政府委員 只今ノコトハ保安林

○松村(光)政府委員 今手許ニ書類モゴザ

指定ノ場合ニ交付金ヲ其ノ關係町村ニ交付セヨト云フ新ナル法規ヲ設ケルコトデアリマスガ故ニ、尙ホ事務當局トモ打合せマシテ其ノ上デ御答申上ゲタイト思ヒマス

○川俣委員 新ナル法規デハナイノデス、交付規則ノ第一條ノ所ノ保安林ト云フ言葉ヲ削除スレバ出來ルノデアリマシテ、簡單ナコトデアリマス

モウ一點御尋致シテ置キタイノデアリマスガ、松尾サンカラ熱心ナル御質問ガアリマシテ、大藏當局ガ御答辯ニナリマシタガ、

大藏省トシテ恐ラク今日日夜苦勞ナサツテ居ラレルノハ輸入ノ防遏ト輸出ノ振興デアラウト思ヒマス、ソレヲ眞劍ニ本當ニ考ヘラレマスナラバ、所謂「バルブ」材ノ輸入、用材ノ輸入防遏ノ上カラ、國內資源ノ確保ニ向ツテ、大藏省ガ熱意ヲ示サレナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ熱意ヲ何處ニ出スカト云ヘバ、私ハ農林當局ガ作リマシタ此ノ森林法ノ完璧ヲ期スル、所謂畫龍點睛ト申シマス、目ヲ入レルコトガ大藏省ノ任務ダト思ヒマス、如何ニ農林省ガ計畫致シマシテモ、大藏省ノ協力ガナケレバ此ノ計畫ハ死物化シテ、何等大藏省ノ期待スルヤウナ輸入防遏モ出來ナケレバ、輸出振興モ出來ナイ結果ニ相成ルト思ヒマス

ラ、此ノ點ハ他ノ産業ト異リ、是ハ次官ハ十分御承知ノ點ト思ヒマスカラ、特別ノ援助獎勵、或ハ金融方法ヲ講ゼラレナケレバ此ノ日本ノ森林政策ハ立タナイノデアリマスカラ、特別ニ松尾サンヘノ御答辯ニ熱意ヲ示サレタヨリ、更ニモツト熱意ヲ持ツテ巧ミナル答辯デハ致シ方ナイノデアリマシテ、モツト熱意ヲ持ツテ一ツ當ラレシコトヲ望ムノデアリマスガ、之ニ對スル御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○松村(光)政府委員 「バルブ」材ノ國內資源ヲ涵養スル爲ニ、モツト積極的ノ獎勵其ノ他ノ施設ヲ講ゼヨト云フ御質疑ノヤウデアリマスガ、「バルブ」材ノ問題ハ是非ハ非常ニ複雜多岐ナル問題デアリマシテ、殊ニ是ハ森林法全體ニモ關係ヲ持チ、其ノ關係スル所モ少クナク、殊ニ今日又將來ノ「バルブ」材ヲドウスルカト云フコトハ、單ニ國內資源ノ涵養ノ問題ノミナラズ、日滿支其ノ他各方面ノ外地トモ關係ヲ持ツ大キナ國策ノ一ツデアリマスノデ、如何ナル方法ヲ以テ此ノ問題ヲ解決スルカト云フコトハ、國策ノ一ツトシテ必要ナコトデアリマスルガ、直チニ此處デ御答スルコトハ差控ヘタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 モウ少シ私ノ質問ヲ能ク聽イ

テ戴キタイノデス、輸入防遏ト輸出振興ノ爲ニ、國內資源ノ確保ニ向ツテ現在森林法ガ改正サレヨウト致シテ居ルノデアリマス、其ノ改正ノ爲ニ此ノ大キナ案ガ上程サレテ居ル次第デアリマスガ、之ニ向ツテ其ノ計畫ハ農林省デ立テ居ルノダカ、財政的方面ヲ受持ツテ居ラルル大藏當局ガ之ニ對スル熱意ヲ示サレナケレバ、此ノ法案ガ死物ニナルノダカラ、此ノ法案ニ對シテモツト熱意ヲ持ツテ、此ノ達成ノ爲ニ努力願ヒタイト云フコトガ私ノ質問ノ要點デアリマス

○松村(光)政府委員 私此ノ法案ノ内容ヲマダ詳細ク承知致シマセヌノデ、隨テ今御質疑ノ重點ヲ了解致シ兼ネルノデアリマスルガ、段々此ノ法案ヲ實施スルニ當ツテ、各種ノ補助金ナリ助成金其ノ他ニ付テ、大藏當局ハ一ツ尙ホ一段ノ努力ヲセイト云フ御趣旨ノヤウニ解セラレマスノデ、十分是モ調査研究致シタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 大藏當局ハ此ノ法案ニ對シテ

マス、政府全體ガ此ノ法案ニ對シテ責任ヲ持テナイヤウナコトナラバ、サウ云フ法案ヲ議會ニ出スト云フコトハ是ハ侮辱デアルト思フ

○松村(光)政府委員 茲ニ出デ居リマスル法案ハ其ノ趣旨ヲ以テ提出シタノデアリマスルガ、之ヲ増額スルカ或ハモツト徹底的ニヤルカト云フコトニ付キマシテハ、直チニ此處デ責任ヲ以テ御答致シ兼ネルト云フ意味デアリマス

○川俣委員 ソレダケノ熱意ヲ有シテ將來之ニ當ラレルカ否ヤト云フコトヲ御尋致シテ居ルノデアリマス

○松村(光)政府委員 熱意ト、ソレヲ實行スルカ否ヤノ御答ハ別物デアリマス

○川俣委員 私ハ大藏次官ト論争スル積リハ一ツモ持ツテ居リマセヌガ、一體政黨出身ノ大藏次官ガサウ云フヤウナ態度デ事ニ當ルト云フコトハ、實ニ私ハ穩當ヲ缺クモノデハナイカト思フ、ソレハ答辯技術デアリマシテ、モツト日本全體ノ立場カラ此ノ法案ニ付テ慎重ニ考ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、松尾サンノ述べラレタコトモ、私ハ決シテ自分ノコトダケヲ申サレタノデハナイト思フ、皆眞劍ニ此ノ所謂興亞議會ニ向ツテ其ノ運用ノ宜カラシコトヲ願ツテ

居ル、政務次官ノ答辯ノ善惡ナドハ、國政ノ上ニ於テハ何等ノ影響ガナイ、日本ノ政治ヲ運用スルト云フコトニ必要デアレバコソ、政務次官ヤ參與官ガ出來テ居ルノデアリマシテ、政務次官ヤ參與官ノ爲ニ政治ガアルノデハナイト私ハ思フ、答辯技術ノ善惡デハナイ、私共ハ大藏當局ノ熱心ナ指導、之ニ對スル助力ナシニハ、此ノ法案ノ活用ガ出來ナイコトヲ憂ヘマシテ申上ゲルノデアリマス、ソナナ態度デアルカラ大藏當局ノ考ヘテ居ル輸入防遏モ出來ナケレバ、貿易ノ「バランス」モ取レナイヤウナ結果ニ相成ツテ居ルト思フ、尠クトモ自分ノ關係致サナイ、當面ノ自分ノ責任部門以外ノ點ニ付キマシテモ、十分ナ熱意ヲ持ツテ行カナケレバ、大藏當局モ終ヒニハ持切レナイ結果ニ相成ルト思フ、是ハ意見デアリマスカラ答辯ハ求メマセスガ、慎重ニ御考慮願ヒタイト思ヒマス、私ハ此ノ點ニ付テノ大藏當局ニ對スル質問ハ是デ打切りマス

○小山委員長 川俣君、商工省關係ノ質問ヲ御繼續願ヒマス

○川俣委員 商工省ニ御尋致シタイ點ヲ保留致シテ居ツタノデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ申上ゲマス、木炭ノ價格統制ニ付テ御尋致シマス、木炭ガ國民生活ノ必需品デア

ル爲ニ、大衆ノ生活擁護ノ爲ニ木炭ノ公定價格ヲ決定サレマシタコトモ、此ノ時局トシテハ已ムヲ得ナイコトダト思ヒマスケレドモ、併シナガラ此ノ算定ノ基礎ハ何處ニ置カレタノデアルカドウカ、農林當局ト十分打合セヲサレタト思ヒマスケレドモ、其ノ公定價格ノ算定ノ基礎ニ於テ、吾々ハ非常ニ疑問ヲ持ツ點ガ多クアルノデアリマス、殊ニ私ハ一例ヲ申上ゲテ私ノ失敗シタコトモ申上ゲナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、木炭ノ價格統制ニ向ヒマシテハ、經濟警察ガ活動致シテ居リマスガ、私共モ山村ニ於ケル製炭業者ノ苦痛ヲ見ルニ忍ビズ、憤慨致シマシテ、問屋或ハ仲買人ノ所謂炭ノ先賣制度ニ對シテ、徹底のナ膺懲ヲ加ヘヨウト考ヘマシタ、例ヘバ田地田畑ニ於ケル米ノ先取引ト同ジヤウニ、秋ニ稔ルベキ米ヲ三月乃至四月或ハ七月、八月頃ニ先賣リスルノデアリマス、一俵五圓トカ六圓トカ云フ秋相場ノ半額ニモ充タナイ金デ、米ノ賣買ガ行ハレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレト同ジヤウニ、炭モ現在ノヤウナ金融狀態ニ於キマシテハ、山村民ノ生活ノ現狀カラ見マシテ、昨日炭ヲ燒イテ今日食フ人、今日燒イタ炭デ今日食フ人、明日燒ク炭デ今日食フ人ト三色位ニ分レテ

居ル、甚シイ人ハ來年燒ク炭ヲ以テ今日生キテ行カナケレバナラヌヤウナ人が澤山アルノデアリマス、是ハ國有林ノ方ハ助成トカ指導ガアリマシテ別デアリマスガ、民有林ヲ燒イテ居ル大半ノ者ノ「バック」ヲ爲シテ居ルノハ仲買人デアリマス、仲買人ノ金融ノ下ニ炭燒ガ炭ヲ燒イテ居ルノデアリマスガ、其ノ爲ニ私共去年ノ春調べタ所ニ依リマス、十二年ノ五月頃ニ、一俵二十八錢、高値三十一錢位デ賣買シテ居ルノデアリマス、即チ先賣シテ居ルノデアリマス、サウシテ炭ガ六十八九錢カラ七十錢ニナツタ時ニ、其ノ前ニ其ノ半分ニモ付カナイヤウナ値段デ取引シテ居ルト云フコトハ暴利デアルト云フノデ、警察ヲ大イニ鞭撻致シマシテ此ノ仲買ヲ取調べサセタノデアリマスガ、私ハソレデ以テ目的ハ達成シタト思ツテ、大イニ膺懲ヲ加ヘタ積リデ居ツタ、所ガ製炭業者ガ三里モ四里モ山奥カラ降りテ來テ、サウ云フコトデ仲買人ヲ征伐サレルト、川俣サン、私共ヲ助ケテ下サル筈デセウガ、ソレハ助ケテ貰ツタコトニハナラヌ、明日カラ食フ米ヲ何トカ心配シテ呉レ、或ハ次ニ炭ヲ燒ク金ヲ何トカ考ヘテ呉レ、仲買人ヲ征伐シテ呉レルコトハ宜イガ、今征伐サレタノデハ明日カラ食フ米

ガナイカラ、征伐スルコトハ止メテ呉レト云フ逆ナ頼ミヲサレタ、結局生炭業者ヲ助ケヨウト思ツテ、却テ製炭業者カラ恨ヲ受ケタヤウナ結果ニ相成ツタノデアリマスガ、斯ウ云フ點カラ見マシテ、中々製炭業者ノ立場ト云フモノハ苦シイ中ニアルノデアリマス、製炭業者ヲ助成スルト云フコトハ、是ハ容易ナコトデハナイノデアリマスガ、サウシタ容易ナラヌ複雑多岐ナル經營方法ヲ致シテ居リマス製炭業者ノ生産致シマシタ炭ヲ、一般大衆消費者ノ爲ニ公定價格ヲ決定サレルノデアリマスケレドモ、ドウモ其ノ算定ノ上ニ於テ、私共ハ腑ニ落ちナイ點ガアリマスガ、如何ナル算定方法ヲサレテ居ルノカ、其ノ點ヲ御尋シタイ

○新倉政府委員 昨年木炭ノ販賣價格ニ付キマシテ、物價委員會ニ諮問致シマシテ、此ノ物價委員會ニ於キマシテハ農林當局ハ勿論ノコト、各方面ノ専門家ガ集リマシテ、木炭ノ公定價格ヲ大體決メタノデゴザイマス、御話ノ通りニ、木炭ノ製炭事情及ビ取引事情、其ノ他相當複雑多岐ニ互ツテ居リマシテ、必ズシモ一片ノ公定價格ヲ以テ各方面ノ圓滿ナル——何ト申シマスガ、價格ノ運用ガ出來ル、完全ナコトガ出來ルト云フ風ニ實ハ思ツテ居リマセヌ、併シナガラ

其ノ當時ノ情勢ト致シマシテハ、之ヲ放任シマス、非常ニ騰貴ノ情勢ニナリマシテ、各方面ニ對スル影響モ非常ニ憂慮サレマシタノデ、昨年公定價格ヲ決メマシタ時ノ大體ノ方針ハ、其ノ當時ハマダ八月九月ノ交

ガアリマシテ、其ノ爲ニ問題ヲ起シタコトモ實ハ承知シテ居リマス、又一部分ハ訂正シタコトモゴザイマス、併シ大體ノ氣持ハ、今申シマシタヤウナコトヲ決メタノデゴザイマス

合フ、間ニ合ハスト云フ經濟觀カラ炭ヲ作ツテ居ルヨリモ、ソレヲ作ラナケレバ生活出來ナイカラ、已ムヲ得ズ作ツテ居ルノデアリマス、若シ其ノ仲買人カラノ金融ガ止リマスレバ、他ニ日傭勞働ニ從事スルヤウ

私共ハ思フノデアリマス、私ハ四箇町村ノ製炭ニ對スル費用ヲ調べサセタコトガアリマス、是ハ實際製炭業者ニ付テ、私共ノヤウナ關係者ガ逐一調ベタモノデアリマスガ、唯是ハ同ジヤウナ基礎ヲ調ベテナイノデ、幾分ノ違ヒガアルカト思ヒマスシ、又原本ノ値段ニ付テモ、官有林デアルカ民有林デ

デゴザイマシタカラ、是ヨリモ先ニ於テ或ル程度上ゲルト云フコトハ考ヘナクテハナラナイダラウ、併シナガラサウ著シク上ゲルト云フヤウナコトデナシニ、此ノ程度ガ公定價格デアルト云フ風ニ示スコトニ依ツテ、寧ロ或ル程度ノ製炭業者等ノ安定ヲ期スルコトモ出來ルノデハナイカ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、其ノ當時ノ値段ヨリモ物ニ依リマス多或少ニシマシテ、本年ノ三月マデ此ノ値段ニシヨウト云フ風ニ決メマシタ、隨ヒマシテ、其ノ當時ニ於テ製炭業者ノ方ノコトモ是デ十分ハ考ヘマセス

○川俣委員 大體商工當局ノ御考ノ點ハ私共モ諒承出來ルノデアリマスガ、尙ホモウ少シ製炭業者ノ立場ト云フモノヲ理解ヲシテ戴カナケレバナラヌト思ヒマスカラ申上ゲタイト思ヒマス、私共ハ農林當局ガ別ナ金融ヲ考ヘテ行ツテ、生産ノ助成ヲスルナラバ別デゴザイマスケレドモ、金融ノ約七割五分、八割ト云フモノハ個人金融ヲ受ケテ居リマス現在ニ於テ——是ハ民有林デ

ス、國有林ノ方ハ又別デスケレドモ、民有林ノ中ノ約七割五分カラ八割ハ個人金融ヲ受ケテ居ル、隨テ其ノ金融ヲ致シテ居リマス者ハ、所謂金融業者デナク仲買人デス、仲買人ハ炭ガ上ル當テガナクナルト、金融致サナクナリマス、ソコデ生産制限ニナラザルヲ得ナイ結果ニナル、唯其ノ場合ニ幸力不幸力、比較的生産制限ヲ來タサナイデ居リマスノハ、經濟的理由デハアリマセヌ、今申上ゲマシタヤウニ先賣シナケレバ喰ヘナイヤウナ製炭業者ガ多イノデアリマス、隨テ是ハ經濟的ニ間ニ

アルカ、内容ノ分ラナイヤウナ點モアツテ、聊カドウカト思ハレルヤウナ點ガアルカモ知レマセヌガ、茲ニ全部ノ計算ガ作ラレテアリマスカラ、ソレヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、石窯ヲ築ク費用ガ一窯ニ付テ勞力ガ延十五人ヲ要スル、ソシテ賃銀一圓トシテ計算シテ、一窯ノ製造可能ナ俵數ハ百五六十俵カラ二百二十俵、平均百八十俵位ニナリマスケレドモ、先ヅ二百俵ト計算シテ、一人一圓、十五人デ十五圓デスカラ、二百俵トシテ一俵當リ七錢五厘デアリマス、立木代ガ一立方米一圓二十六錢——是ハ官有林トスレバモウ少シ安イサウデアリマスガ——兎ニ角一圓二十六錢ノ計算デアリマス、一立方米デ七俵ノ生産ガアリマス、是モ勿論其ノ木ノ善シ惡シニ依ツテ六俵ヨリ出來ナイコトモアリマセウシ、或ハ七俵半出ルコトモアリマセウケレドモ、七俵ト計算サレテ居リマス、是ハ澤山ノ例ヲ取ツデ

平均シタノデアリマスカラ、七俵一分二分ニナツタノカモ知レマセスガ、兎ニ角七俵トシテ、一俵當リ十六錢六厘ニナリマス、ソレカラ伐木、採材、集材費ガ一案四俵出來デアリマス、是ハ石ノ小窯デ堅炭デアリマスガ、之ニ要スル勞力ガ一人二分、賃銀一圓トスレバ一俵三十錢、ソレカラ一案四俵燒上ゲテ俵裝スルマデノ勞力ヲ六分ト見テ、賃銀約一圓デアリマスカラ、六十錢ノ四分ノ一即チ十五錢デアリマス、ソレカラ雜費、消耗費デアリマス、御承知ノヤウニ此ノ消耗費モ計算ニ依リマシテハ非常ニ高クナリマスガ、鋸ノ消耗費デアルトカ、其他ノ消耗費、或ハ小屋代ト云フヤウナモノヲ見テ來ルトハ中々多大ナモノニナリマスケレドモ、餘リサウ計算スルト金額ガ大キクナリマスノデ、極ク必要ナ雜費ト消耗費ダケヲ計算致シマシテ、十三圓五十錢、一竈二百俵ト計算致シマスカラ、是ガ一俵ニ付テ六錢八厘、俵ノ俵裝代、材料費トシテ一俵六錢ニ見マス、是デ一俵八十一錢九厘ノ生産費ニナリマス、黒炭ノ方ハドウカト申シマス、竈ヲ造ル費用ガ、一竈四百俵燒ケル大竈デアリマスガ、此ノ大竈四十人位ノ人ヲ要スルヤウデアリマス、隨テ是ガ一俵當リ十錢ニナリマス、立木

木代ガ一立方米一圓二十六錢、九俵ノ生産アリトシマシテ是ガ十四錢、伐木、採材集材費ト致シマシテ、一竈三十俵分ト致シマシテ——黒炭デアリマスカラ四十俵位マデ出來マスケレドモ、三十俵ト致シマシテ、勞力延人員ガ八人、是ガ二十六錢六厘、製炭費ガ燒上ゲラレテ俵裝マデニ、三人五分ト見マシテ、賃銀一圓トシテ是ガ十一錢六厘、雜費消耗費、一竈四百俵ノ竈ニ對シテ二十六圓ト見マシテ六錢五厘、俵代材料費ガ六錢ト見マシテ、七十四錢七厘ニナリマス、是ガ四箇町村約九十二人ノ炭燒ノ平均デアリマシテ、兎ニ角是ガ實際ノ生産費デアリマス、賃銀一圓トシテノ計算デアリマス、隨テ此ノ外ニ御承知デアリマセウガ間接ノ費用ト云フノガ大變掛ツテ居リマス、又之ニ今申上ゲマシタヤウナ金利、間接ノ準備費、天候不順デアルトカ、交通費等ノ費用ヲ見マスカラバ、原價ハモツト高クナル、而モ此ノ一圓ト見タノハ、工場ニ働クヤウナ八時間労働ノ計算デハアリマセス、極度ノ過労働ノ時間ヲ計算致シマシテ一圓ト見テ居ルノデアリマス、隨テ普通労働ニ換算シテ見ルト、之ヲ間接ニ費シタ費用、日數等ヲ計算致シマシタナラバ、一日ノ平均賃銀ハ前ノ委員會ニ於テ申上ゲタヤウナ

極ク低イ賃銀ト相成ルノデアリマス、是ハ間接ニ使ヒマシタ所謂準備ニ山へ行ツテ、其ノ立木代ヲ算定スルトカ、立木ノ原木ノ調査ヲスル、或ハ小屋ヲ建テル、或ハ原木ヲ買ヒニ歩ク所ノ間接ノ費用、日數ト云フヤウナコトヲ計算シマスカラバ、莫大ナ高イ原價ニナルノデアリマス、之ヲ計算シテ見ルト、大體地方ノ取引其ノモノガ生産原價ヲ割ツテ居ルヤウナ状態ナノデアリマス、之ニ對シテハモウ少シ商工省デモ考慮シテ戴キマセスト私ハ減産ニナルト思フ、減産ノ結果ハ却ツテ消費者階級ニ迷惑ヲ及ボスノデハナカラウカトモ考ヘマスシ、モツト増産ヲ圖ルト云フコトデアリマスカラバ、モツト大所高所カラ、金融ノ方法ナドモ講ジテ、農林當局ト協力サレマシテ増産ニ當ラナケレバ是ハ容易ナラヌコトニナルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○新倉政府委員 只今木炭ノ生産費ニ付キマシテ、極メテ詳細ナ、又貴重ナ御説明ヲ戴キマシテ、今後ノ研究ニ非常ニ參考ニナルト存ジマスガ、實ハ物價委員會デ色々物ノ値段ヲ決メマスカラ、生産費ト云フモノモ相當研究ハ致シテ居リマス、例ヘバ最近「ステールファイバー」ノ價格ヲ公定スルト云ヒマス、其ノ原料代ハドウナルカ製造費ハドウナルカト云フ風ニ計算致シマシテ、一應ハ生産費ヲ出スノデアリマスガ、一應出シマシタ生産費ト云フモノハドノ品物ニ付キマシテモ相當高イモノニ付クノデアリマス、ソレデ計算上出マシタ生産費ヲ其ノ儘ニ價格ヲ決メマス、恐ラク現在ノ情勢ニ於キマシテハ、物價ヲ抑制スルト云フコトデナシニ、寧ロ逆ニ物價ヲ上ゲルト云フヤウナコトニナルト云フ風ニ實ハ考ヘテ居リマス、サウ云フコトデゴザイマスカラ、必ズシモ吾々ハ生産費ヲ計算シテモ、其ノ儘デ價格ヲ決メルト云フコトニ致シテ居リマセス爲ニ、此ノ價格公定ノサレマシタ物ニ付テ各方面カラ色々御意見ヲ伺ツテ居リマス、勿論専門委員會デヤツテ居リマスコトニモ色々間違ヒ或ハ不備ガゴザイマスカラ、修正シナケレバナラヌ點ハアルトハ存ジテ居リマスケレドモ、一般論ト致シマシテハ、唯生産費ダケヲ見テ其ノ儘直グ價格ヲ公定スルト云フ具合ニ行カスト思ツテ居リマス、ト云フ點ハ、相當生産費計算ノ重大ナ點ニ觸レルノデゴザイマスガ、生産費ヲ調べテ參リマス、實ハ可ナリ開キガアルノデアリマス、非常ニ安イモノト、非常ニ高イモノトアリマシテ、其

ノ場合ニドノ邊ヲ採ルカト云フコトモ實ハ極メテ困難ナ問題ナノデアリマシテ、要ハ或ル程度生産費カラ見テ苦シイト云フヤウナ方面ニ於キマシテモ、斯ウ云フ際デアルカラ我慢ヲシテ、出來ルダケ生産費ノ切下ニ御努力願フト云フ方面ヲモ考ヘテ戴カナケレバナラス、勿論此ノ爲ニハ先程來御話ニナリマシタ金融ノ問題、或ハ増産ニ對スル色々ナ施設ノ問題モゴザイマスノデ、サウ云フコトニ付キマシテハ農林當局ニモ御願致シマシテ、十分ニ配慮シナケレバナライ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、唯生産費ガ高イカラ其ノ儘認メタラドウカト云フ御意見デアリマスルト、此ノ點ニ付キマシテハ餘程慎重ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラスト云フ風ニ考ヘテ居ルト御答スル外ハナイノデアリマス

○松尾(四)委員 關聯シテ——今ノ木炭ノ價格統制ノ事デ、俵裝ガ非常ニ嚴重ニ統制サレテ、或ル規格ヲ決メラレテ居ルヤウデスガ、是ハ現實ニ即シテ吾々地方デ考ヘテ見マス、其ノ近クノ山村ノ消費者ニ賣出ス場合ニ於テモ、ヤハリ其ノ規格ニ基ク俵裝ニシテ之ヲ渡サナケレバナラスト云フノデ、ソレダケ消費者或ハ製炭者ノ方ニ負擔ガ重クナルノデスガ、アア云フ點ハ、山村

ノ消費者ガ近クデ、焼イタ木炭ノ供給ヲ受ケル場合ハソレヲ規格カラ除クト云フヤウナコトハ出來ナイノデスカ、其ノ點ハ餘程價格ニ關係スルヤウニ思ヒマスガ

○村上政府委員 御説ノ通り只今ノ俵裝ハ今日ノ情勢カラ見ルト少シ強過ギルヤウナ所ガアリハシナイカ、ソレデ俵裝ノコトニ付キマシテハ、私共ノ方デモ今實ハ至急研究中デゴザイマシテ、出來ルダケ負擔ノ掛ラナイヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○松尾(四)委員 御研究中デアリマスコトハ大變結構デスカラ、負擔ノ掛ラヌヤウニ御研究ヲ進メテ戴クコトハ希望致シマスガ、同時ニ、市場デナシニ、近クノ山村ノ消費者ニ直チニ渡スト云フ場合ニハ、別ナ除外例ヲ設ケテ戴クコトヲ希望致シタイトデアリマスガ、其ノ點ハドウデゴザイマセウカ

○池田委員長代理 商務局長ハ、大臣ノ方カラ急イデ來ルヤウニトノ要求ガアルサウデアリマスカラ、簡單ニ御願シマス

○村上政府委員 能ク研究致シマシテ成ベク御希望ニ副フヤウニ致シタイト思ヒマスカ

○川俣委員 今生産費ヲ基ニシテ總テノ物價ヲ算定スルト云フコトハ、物價抑制ノ上カラ餘リ好マシクナイト云フヤウナ御意見デアリマス、私ハ其ノ點ハ一應認メルノデ

アリマス、併シソレハ社會常識カラ見デ、或ル生産過程ト云フモノニ於テ非常ニ生産者ガ有力デアリマシタ場合ニ於テハ、サウ云フモノヲ以テ直グ算定スルト云フコトニ付テハ、私ハ色々ナ疑問ヲ持ツノデアリマスケレドモ、寧ロ山村ノヤウナ所ノ生産品ノヤウナモノハ、兎角生産費ヲ無視サレ、其ノ意見ガ認メラレナイ状態ニ在リマスノデ、私ハ特ニ其ノ生産費ニ付テ茲ニ申上ゲタノデアリマシテ、サウ云フ方面ノ生産者側ノ意見ハ——他ノ場合デアリマスレバ、相當ニ恐ラク商工省當局ニモ反映シテ居ルト思フノデアリマス、併シナガラ木炭業者ガ、恐ラク商工省ヘ生産費ガ此ノ位掛ルカラト云フヤウナコトヲ言ツテ行ツタコトハアルマイト思フ、他ノ場合デハ恐ラクモツトヒドイダラウト思フ、此ノ申シテ行カナイ方面ノ意見モ十分ニ尊重シテ欲シイト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、十分御參考ニサレルト同時ニ、四月ノ改訂ノ場合ニハ之ヲ參考ニシテ御意見ヲ纏メラレルヤウニ希望シテ、私ノ質問ハ打切りマスカ

○池田委員長代理 一寸御諮リ致シマスカ、委員外ノ武田德三郎君カラ質問ノ要求ガアリマスガ、許可シテ御異議アリマセヌ

カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○池田委員長代理 武田君

○武田德三郎君 私ハ委員外トシテ極メテ簡單ナル質問ノ御許ヲ願ツタ所、幸ヒ發言ヲ許シテ戴イテ洵ニ有難ウゴザイマス

私ハ此ノ法案ヲ拜見シテ、洵ニ機宜ニ適シタ法案デアルト思ツテ居ルノデアリマス、併シ又一面カラ考ヘマス、日本ノ森林ノ根本ニ對シテ農林當局——農林當局ト申シマシテモ、私ハ山林局長ノ御熱意ハ特ニ之ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、農林大臣初メ、其ノ他ノ農林當局ノ御熱意ニ、少シ不満足ト申シマス、懺ラスト申シマス、ドウモ山林ニ對スル熱意ガ甚ダ不十分デアルヤウニ思フノデアリマス、農林大臣ニ二御同致シタイト思ツテ居ツタノデアリマスケレドモ、農林大臣ハ御見エニナリマセヌシ、又本法案モ本日デ質問ヲ打切ラレルト云フコトデアリマスノデ、山林局長カラデモ宜シウゴザイマスカラ一應同ツテ置キタイト思フノデアリマス

前申シマシタ通り、本法案ハ極メテ機宜ニ適シタ法案デアルト思ヒマスケレドモ、之ヲ實行スルニ當ツテノ用意ガ缺ケテ居ルデハナイカ、併シ其ノ用意ノ缺ケテ居ルト

云フコトハ、農林當局初メ政府ハ、日本ノ森林ト云フモノニ對シテ認識ガ缺ケテ居リ、熱意ガ缺ケテ居ルデハナイカト云フ風ニ實ハ思フノデアリマス、然ラバドウ云フ譯デサウ申スカト云フト、此ノ法案ヲ實施スル上ニ於テ、色々細カナ點ハアリマスケレドモ、ドウシテモ農林當局トシテ御用意ヲナサラナケレバナライモノガ二三アルガラウト思ヒマス、第一ニ先程松尾君カラモ御話ガアリ、委員會ノ速記録ヲ拜見シマス、ト、他ノ委員諸君カラモ、重ネ／＼ノ御質問ガアツタヤウデアリマスカラ、私ハ其ノ點ハ敢テ御答辯ヲ求メル譯デハアリマセスガ、即チ林道ノ完備、次ニ林野ノ整備、ソレカラ出來タ所ノ各組合ノ指導ノ技術員ヲ遺憾ナク配置スルト云フコトデアラウト思フ、其ノ他細カナ點ハアリマスケレドモ、私ハ此ノ三ツガ重大ナルコトデアルト思フノデアリマス、然ルニ本委員會ノ速記録ヲ拜見致シマス、農林大臣自ラノ御答辯ニ於テモ、山林局長ノ御答辯ニ於テモ、又政務次官ノ御答辯ニ於テモ、森林業者ノ金融ニ對シテハ委員會ヲ設ケテ篤ト研究シヨウトカ又金融ニ關シテモ篤ト考ヘテ見ヨウト思フガ、併シナガラ此ノ組合ガ出來タカラト云ツテ森林業者ノ金融ガ現在ヨリ惡クナル筈

ハナイ、デアルカラマア必要トハ認メルガユル／＼ト一ツ考ヘテ見ヨウト云フヤウナ御答辯デアリマス、一體山林局長御自身ガ此ノ案ヲ御立案ニナツテ、之ヲ實行スル場合ニ於テ、他ノ委員諸君カラモ非常ナ御熱意ヲ以テ御質問ニナツタ金融ノ問題ヤ、其ノ他今申上ゲタヤウナ問題ニ付テソナ生溫イコトデ此ノ法案ガ圓滑ニ施行出來ルト御考ニナツテ居ルノデアラウカドウデアリマセウカ、私ハ甚ダ疑ヒナキヲ得ナイノデアリマス、寧ろ實際カラ言ツタナラバ、山林局長ハ非常ナ困難ノ御立場デアラウカトモ思ヒ、寧ろ御同情申スノデアリマスガ、洵ニ私ハ煮切ラスヤリ方デハナイカト思フ、デアリマスカラ此ノ法案ガ極メテ機宜ニ適シテ居ルト私ハ申シマシタケレドモ、一面カラ見レバ所謂泥縄式ノ法案デハナイカトモ惡ク考ヘレバ考ヘラレルノデアリマス、即チ急ニドウモ材木ガ足りナクナツタ、急ニ「パルプ」ノ自給ヲシナケレバナラナクナツタカラ、サアドウダト云ツテ急ニ一面ダケノ法案ガ出來タガ、ソレヲ圓滑ニ運用スル補助的ノ方法ガ之ニ伴ハナカツタト云フヤウナ結果デハナイカト思フノデアリマス、ソレデ金融ノ問題等ニ付キマシテハ、甚ダ不満足デハアリマスケレドモ、既ニ屢、御答

辯ニナツテ速記録ニ於テモ拜見シテ居リマスカラ、是ハ甚ダ遺憾デアルト云フコトヲ申スダケデ、其ノ點ハ敢テ伺ハナクデモ宜イノデアリマス、唯今申シタ中ノ第三點ノ技術員ヲドウ云フ工合ニシテ、各組合ニ御配置ニナルカ、サウシテソレニ向ツテノ補助ヲ如何様ニナサル積リデアリマスカ、今日御承知ノ通りニ農會ナドニ付キマシテハ、各町村ニ於テ指導員ト云フモノヲ府縣若クハ國庫カラ相當ナ補助ヲ與ヘテ置イテアリマス、此ノ農村若クハ農會ノ指導員ニ對シテ、國庫ノ補助ヲヤツテ貰ヒタイト云フ議論ハ、是ハ數年來非常ニ熱烈ニ唱ヘラレテ、漸次ソレガ實行サレテ、其ノ效果ハ著シイモノガアルノデアリマス、況ヤ森林ノ如キニ至ツテハ、折角組合ヲ拵ヘテモ、施業案ヲ作ルトカ、或ハ其ノ施業案ヲ實行スルト云フ上ニハ、相當信賴スベキ技術員ガソコニ在ツテ、之ヲ指導スルニアラズンバ、私ハ實行スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、之ニ付テハ――

勿論此ノ法案ガ出來タカラト云ツテ、全國ノ組合ガ直チニ一齊ニ出來ルモノデハアリマスマイカラ、ソレ／＼農林省ニ於テハ實行ノ順序方法ニ付テ御計畫ガ立ツテ居ルデアリマセウガ、少クトモ組合ガ出來タナラバ、ソコニ相當ナ技術員ガ在ツテ、之ヲ指導スルニアラズンバ、私ハ實行ハ出來ナイト思フノデアリマスガ、如何様ニシテ此ノ指導員ヲ適當ニ配置シ、サウシテソレニ向ツテ適當ナ補助ヲナサルノデアルカ、即チ之ヲ言ツテ見レバ人的ニ如何様ナ御準備ガアルカ、サウシテソレガ若シ相當ノ補助ヲ與ヘルト云フ御計畫デアリマスカラバソレヲドウシテ豫算化スル御用意ガアルカト云フコトヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 森林組合ノ技術員ニ付キマシテハ十年計畫デ約三千ノ技術員ヲ置キタイト思ヒマシテ、本年度ヨリ其ノ一年度三百人ニ對シテ俸給ノ三分ノ一ヲ補助スルコトニナツテ居リマス

○武田徳三郎君 委員會ノ質問應答ノ速記録ヲ拜見シマシタノニ一寸ハツキリシナイ所ガアリマスノデ伺ツテ置キタイノデスガ今度ノ此ノ法案ヲ實行致サレル趣旨ハ、公有林竝ニ民有林ノ老熟シタル樹木ヲ伐拂ツテ伐採ヲ致サウ――固ヨリソレノミガ目的デハアリマスマイケレドモ、サウ云フコトガ相當大キナ問題ニナツテ居ルト思フノデアリマス、勿論植林ト云フコトモアリマセウガ、差當リノ問題トシテハサウ云フコトガ農林省立案ノ當面ノ狙ヒドロデアルト

思フノデアリマス、サウシマスト現在、私
専門家デモアリマセスシ、深クハ存ジマセ
ヌガ、私ノ地方ノ實情カラ申シマスルト、
此ノ農村ノ公有林竝ニ私有林デアウテ伐採
ニ適當スルヤウナ森林地帯ト云フモノハ、
大部分奥ニ行ツテ居ルノデアリマス、民有
林或ハ公有林近クノモノハ殆ド伐ツテシ
マツテ、遠クノ山ノ木ガ残ツテ居ルト云フ
實情デアラウト思ヒマス、是ハ私ノ郷里ナ
ドノ實情カラ申シマシテ、大體全國的ニサ
ウ云フ傾向デナイカト思フノデアリマス、
サウシマスト、之ヲ有利ニ伐出シテ政府ノ
狙ヒドコロニ適フヤウニスルノニハ、ドウシ
テモ先ヅ林道ガ必要ダト云フコトハ申スマ
デモナイノデアツテ、是ハ既ニ質問應答ノ
中ニモ政府ハ認メラレテ居ルノデアリマス
ガ、是ガ民間ノ團體等デ調査セラレタ所ヲ
聞キマスト、餘程林道ノ設備ニ付テハ相當
大キナ計畫ヲシナケレバ其ノ目的ニ副ハナ
イヤウニ私ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、
本案實行ニ伴フ所ノ林道ノ御計畫ハ、何箇
年ニドノ位ノ料數ノ林道ヲオ付ケニナルカ
或ハ又森林鐵道ヲオ付ケニナルカ、其ノ料
數並ニ御計畫ノ金額ニ付テ、大體ノ御腹案
ガアリマシタラ伺ツテ置キタイノデアリマ
ス

○村上政府委員 本年度ノ豫算ニ出シテア
リマスノハ百万圓デアリマスガ、是ハ屢、大
臣モ御答辯ノヤウニ不十分ナ金額ト思ヒマ
ス、ソレデ私共ガ只今持ツテ居リマスモノ
ハ十年計畫約三百萬町歩ノ老齡過熟ノ林
分ノ開發ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ
シテ、其ノ計畫ハ前ニモ申上ゲマシタヤウ
ニ車道ノ延長ガ二萬二千五百九十四町、ソ
レカラ土場ガ六千四百三十八「アール」木材
流送路延長ガ八百八十三「アール」貯木場ガ
三萬四千四百四十「アール」ヲ建設ショウ、斯
ウ云フ計畫ヲ持ツテ居リマス、尙ホ此ノ點
ニ付キマシテハ更ニ民間ノ御要望、山ノ實
地ト云フヤウナモノヲ調査致シマシテ、更
ニ多少ノ是正ヲ加ヘテ適切ナ案ヲ得タイト
斯ウ考ヘテ居リマス

○武田德三郎君 只今伺ツタ程度ニ於キマ
シテハ、私ノ知レル限りニ於テハ甚ダ不十
分デナイカト考ヘマスガ、ソレハ先ヅ別問
題ト致シマシテ、左様ナ御計畫ノ立ツテ居
ルコトハ洵ニ結構デアリマスガ、サウシマ
スト其ノ金額ハ相當額ニ上ルモノト思フノ
デアリマスケレドモ、是ガ豫算化スルノ用
意ガアルノデアリマスガ、大藏省ト諒解ノ
上一定ノ繼續年度ヲ決メテアルト云フコト
デアレバ勿論議論ハアリマセスガ、假ニ十

年ナラ十年ノ繼續事業トシテ、大藏省ノ承
認ガナイト致シマシテモ、サウ云フ案ヲ御
立テニナル上ニ於テハ大藏省其ノ他ト十分
ナ御協議ガ成立ツテ、ソレガ十年間ニ必ズ
實現シ得ルト云フ御自信ガ農林當局ニオア
リニナルノデアリマスカドウデアリマスガ
○村上政府委員 此ノ點ニ付キマシテハマ
ダ大藏省ト十分協議シテアルト云フ譯ニハ
參リマセスノデ、是ハ私共ノ方ノ案デアリ
マス、今後大藏省ト十分折衝シテ成ベク其
ノ實現ヲ期シタイ、斯ウ云フ譯デス

○武田德三郎君 ドウモ其ノ位ナコトデハ
ナイカト思ハレル、先程モ實ハ山林局長ニ
御同情申シタノデアリマスガ、山林局長ニ
サウ云フコトヲ申シテモ仕様ガアリマセス
ガ、吾々モ近ク何等カノ形ヲ以テ政府ニ此
ノ森林政策ニ付テ鞭撻ヲ加ヘタイト實ハ考
ヘテ居ルノデアリマス、理窟カラ申セバ、
是程ノ案ヲ出シテ之ヲ實行ショウト云フ計
畫ヲ立ツテ居ツテ、ソレニ伴ツテ是非要ル
所ノ林道トカ、或ハ又金融ノ方法等ニ向ッ
テ確タル意見ガナク、唯自分ダケノ腹案デ
アル、局ダケノ腹案デアルト云フヤウナコ
トデハ、甚ダ私ハ力弱イヤウニ思フノデア
リマス、私ハ山林局長ヲ攻撃スル意味デ
御質問申上ゲテ居ルノデハナイ、大イニ協力

致ス積リデ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、
折角是程ノ案ヲ御出シニナツテ、ソレノ實
行ニ當ツテチガハダニナリ、其ノ效果ガ舉
ヲスト云フヤウナコトニナツテハ、甚ダ國
家ノ爲ニ遺憾デアルト思ヒマスカラ、吾々
モ出來ルダケ政府ニ協力ヲ致シテ實現ヲ圖
ルヤウニ致シタイノデアリマスガ、此ノ吾々
ノ希望ノアル所ヲ局長カラ大臣ニ能ク御
傳ヘ願ツテ、局長御自身モモウ少シ粘リヲ
出シテ此ノ計畫ヲ御實行ニナラナイト、私
ハ意外ナ蹉跌ヲ來シハシナイカト云フコト
ヲ惧レル、其ノ事ヲ御願シテ置キマス
モウ一ツ伺ヒタイコトハ、豫テ吾々治山治
水ニ關シテ考慮ヲ拂ツテ居ル者ガ、昨年ノ議
會ニ於キマシテモ治山治水ノ根本計畫ニ對
スル建議案ト云フモノヲ衆議院ニ於テ全會
一致ヲ以テ決議シテアルノデアリマス、然
ルニ政府ハ之ニ對シテ餘リ考慮ヲ拂ツテ居
ラレナイヤウニ思フノデアリマス、此ノ森
林事業ト云フモノガ如何ニ國土保安ノ上ニ
又日本全體ノ民生ノ上ニ於テ至大ノ關係ニ
アルカト云フコトヲ、ドウモ政府全體、農
林當局モ甚ダ其ノ點ノ認識ガ缺ケテ居ルヤ
ウニ思フノデアリマス、吾々ノ聞イタ所ニ
依リマスレバ、災害防止ノ設備ニ付テ、政
府ハ一昨年来五箇年計畫トシテ五百萬圓

ト云フ、何ト申スカ、雀ノ涙ト云フヤウナ案ヲ立テテ、是ガ實行ニ向ツテ居ラレノデアリマス、吾々ハ昨年、左様ナコトデハ、マア無イヨリハ宜イ位ノモノデ、餘リ大キナ效果ヲ與ヘルモノデハナイト云フコトヲ力説シテ、建議案ヲ出シテ居ルニモ拘ラズ、一向之ニ向ツテ御注意ニナツテ居ラレナイヤウニ思ヒマス、吾々ノ見ル所デハ、大體地滑リ、類雪ノ防止、防潮、海岸ノ砂防、防風ト云フヤウナモノニ對シマシテハ、少クトモ二億圓位ノ金ヲ之ニ投ズルニアラズンバ完全ナルコトハ出來ナイト思ツテ居ルノデアリマス、完全ドコロデハナイ、ソレデモ十分ナ譯ニハ行カナイガ、マア最低限度ソレ位ノコトハヤラナケレバナラナイ、ソレヲ十箇年計畫ニスルナリ、十五箇年計畫ニスルナリハ其ノ時ノ狀況ニ依リマスケレドモ、斯様ナルコトハ一日モ早クヤラナケレバナラヌコトデアリマスカラ、少クトモ十箇年計畫位ニハ之ヲ實行シナケレバナラヌト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ吾々ノ希望スル所ハ、ソレハ勿論必要デアリマスルガ、ソレヨリ一步進メテ必要ナコトハ、日本ノ山岳地帯ノ狀況カラ見マシテ、水浸竝ニ風化ノ爲ニ始終山ガ拔ケテ居ルノデアリマス、勿論之ヲ防グ爲ニハ

植林ヲスルト云フコトハ根本的ナコトデアリマスルガ、其ノ植林ト同時ニ其ノ崩壊ヲ防グ何等カノ施設ヲ爲シ、左様ナ水浸風化スルヤウナ地帯ニ於テ、ソレノ適當ナル施設ヲ致シマスルナラバ、毎年ノ水害其ノ他ノ山林ニ關係スル所ノ災害ヲ除クコトハ出來ルト思フノデアリマス、而モ吾々ノ専門家カラ承ル所ニ依ルト、今申上ゲタヤウナ地點ヲ大體極ク大雜把ニ調ベタ所ニ依リマスト、全國ニ於テ六百万町歩ニ上ツテ居ルデアラウト云フコトニ承ツテ居ルノデアリマス、而モソレヲ未ダ崩壊セザル前ニ若干ノ施設ヲ致セバ、其ノ崩壊ノ害ヲ完全ニ防ギ得ナイト致シマシテモ、大部分ノ害ヲ防ギ得ル、而モソレハ一町歩ニ對シマシテ約三十圓位ヲ掛ケマスルナラバ、其ノ害ヲ除キ得ルト云フ風ニ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、然ルニ一面ニ於テ地滑リガアツタ後ニ之ヲ復舊シ、若クハ將來ノ地滑リヲ防止スルト云フ爲ニハ、一町歩ニ對シテ一千百圓以上モ掛ル、又類雪防止ノ爲ニハ一町歩當リ二百五十圓モ掛ル、防潮ノ爲ニハ三千圓モ掛ル、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、現在サウ云フヤウニ掛ツテ居ル狀態デアリマス、サウシテ見マスト、山岳ノ未ダ崩壊セザル中ニ崩壊ノ危險ノアル

地點ニ向ツテ豫防的ノ設備ヲ致シマスルナラバ、三十圓デ済ムト云フコトデアリマサルナラバ、先ヅ其處ニ全力ヲ注グベキモノデハアルマイカト吾々ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ先程申上ゲタル通りニ、政府ノ災害防止ニ對スル五箇年計畫五百万圓ト云フモノノ中ニハ、サウ云フ意味合ノモノハ私ハ含ンデ居ナイト思フノデアリマス、斯様ナコトデハ私ハ此ノ五箇年計畫五百万圓ソレ自身ガ雀ノ涙ノヤウナモノデ、日本ノヤウナ全國ノ七割ヲ占メテ居ル高峻ナル山岳地帯ニ向ツテノ設備ト致シマシテハ、洵ニ冗談臭イヤウナモノデハナイカト思フ、左様ナ小ナル規模ニ於テ之ヲ何年ヤツタカラト云ツテ、此ノ治山治水ノ根本ガ確立スルモノトハ私ハ思ハヌノデアリマス、是等ニ付テ山林局長ハ政府ヲ代表シ農林省ヲ代表スルト云フコトハ出來マスマイ、又サウ云フコトヲ私ハ求メマセヌガ、農林大臣ガ居ラレタナラバ私ハ此ノ根本問題ヲ突込ンデ伺ツテ見タイト思フノデアリマスルケレドモ、是ハ先程申上ゲル通り一ツ局長カラ能ク御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ御傳言願フコトニ致シテ置キマシテ、山林局長ハ私ノ今申シタコトニ對シテ如何ナル御考ヲ御持チニナルカ、又如何ナル御計畫ヲ山林局長ト

シテ御持チニナルカト云フコトヲ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス

○村上政府委員 只今種々御親切ナル御言葉ヲ頂戴シマシテ、私共林政ノ一斑ヲ擔當シテ居リマス者ハ感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、從來ノ五百万圓ノ災害防止施設ト云フモノガ甚ダ微弱ナモノデアルト云フ仰セハ全ク其ノ通りデアリマス、今日年々災害ガ起リマシテ、其ノ後ノ災害復舊費デモ、昨年ノ災害等ニ於キマシテモ既ニ四百五十萬圓ノ費用ヲ要スルヤウナ次第デアリマシテ、之ヲ未然ニ防止スル所ノ施設ガ完成致シマスレバ、斯様ナ後カラノ彌縫策ハナクシテ宜シイノデアリマシテ、是等ノコトニ付テハ是非サウ云フ方面ニ進ンデ行カナケレバナラヌト思ヒマス、私一己ノ考ト致シマシテハ、武田議員ノ御意見ニ全然同感デゴザイマシテ、極力其ノ方ニ進ンデ行カナケレバナラヌト思ヒマス、勿論是ハ政府全體ノ問題ト致シマスト、只今武田議員ノ御説明ニモアリマシタヤウニ、二億圓モ掛ルコトデアリマスカラ、直チニ實行ガ出來ルカドウカ、是ハ一寸何トモ此處デ私カラ申上ゲル譯ニ行カヌト思ヒマスガ、實際アナタノ仰セノヤウニ、未然ニ防グバ後デ回復スルヨリカ非常ニ安ク済ムト云フコトハ明

ナコトデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ、私共モ今後更ニサウ云フ方面ノ實現ニ對シテ努力シナケレバナラス、斯ウ考ヘテ居リマス

○武田德三郎君　ドウゾ　一ツ　山林局長ハ、吾々モ十分ニ協力致シマスカラ、粘リ強ク其ノ點ニ向ツテ御努力ヲ願ヒタイト存ジマス

ソレカラ是モ、先程松尾君カラモ一寸御話ガアリ、速記録ヲ拜見シテモ、既ニ一二度他ノ委員カラモ御質問ガアツタヤウデアリマスガ、特別會計ニシテハドウカト云フ問題デアリマス、之ヲ私ハ又繰返シテ申ス積リハナイノデアリマスガ、先程松尾君ノ御質問ニ對スル御答辯ヲ伺ツテモ、又委員會ノ速記録デ此ノ點ニ向ツテノ政府ノ御答辯ヲ伺ツテモ、極メテ曖昧ナンドス、私ハハツキリ伺ヒタイ、必要デアルト云フコトヲ肯定サレタヤウデモアリ、サラバト云ツテ必要ガカラ直チニ之ヲ實行スルト云フ譯ニモ行カヌ、ソレデハ何時カラ實行シヨウト云フ程ノ熱意モ見エナイ、ドウモソレハ必要ダト思フガ、楮テソレヲドウ云フ工合ニ扱フカト云フコトニ對シテハ、考慮中デアルトカ、考ヘテ見ヨウトカ、研究中デアルトカ云フヤウナ御話

デアルノデアリマス、森林ノ經營ヲ特別會計ニスルト云フコトハ、日本ノ森林經營ノ根本策ヲ如何ニシテ立テルカト云フ根本ノ問題ニ關係シテ居ルコトダラウト思フ、ソレヲヤルカヤラナイカ、又ソレガ必要ダト云フナラバ、ドウ云フ觀點ニ立ツテ森林ノ經營ヲ特別會計ニシナケレバナヌカト云フ其ノ認識ガハツキリシナケレバイケナイノデアリマス、ヤル積リデハアルケレドモ、ソレハ或ハ農林省ダケデ幾ラヤル積リダト云ツテモ、出來ナイ場合モアリマセウ、山林局長ガ如何ニ御熱心デアツテモ、色々ナ政治的關係デ出來ナイ場合モアリマセウケレドモ、山林當局トシテ、是ハ日本ノ山林經營ノ根本トシテドウシテモシナケレバナラヌモノダト云フ信念ガ有ルト無イトデハ總テノ山林經營ニ及ボス影響ハ少クナイト思フノデアリマス、ソレデ私ハ其ノ點ヲ一ツハツキリ伺ツテ置キタイ

ソレカラ時間ガアリマセヌカラ序ニモウ一ツ伺ツテ置キマス、一體山林局長ハ山林當局ト致サレテ、我國全體ノ山林經營ニ向ツテドウ云フ風ナ御考ヲ持ツテ居ラレルカ之ヲ更ニ具體的ニ申上ゲルナラバ、今日農林省ノ所管ハ申スマデモナク北海道並ニ外地ハ其ノ中ニ入ツテ居ラナイノデアリマス、

併シ木材其ノ他ノ林產物ニ關シテ自給自足ノ途ヲ立テラレルト云フ意味ニ於キマシテハ、外地ヲ考ヘズニハ、是ガ出來ナイコトハ當然デアリマス、然ルニ今日ノ實情ハドウデアリマセウ、洵ニ遺憾千萬ナコトガ多イノデアリマス、此ノ點ニ付テハ速記録ヲ見マシテモ、北海道ト樺太ノコトニ向ツテ頻リニ質問應答ガアリマシタガ、私ハ更ニ臺灣ノコトヲ考ヘテ見ルト、甚ダ遺憾ナコトガ多イ、臺灣ハ其ノ六割七八分ガ山林地帶デアルト私ハ承知シテ居リマス、而モアノ氣候ト風土、地味ニ於テ木ノ育成ノ良イコトハ申スマデモナイ、檜ノ如キデモ、臺灣ノ檜ト云ヘバ内地ノ物ハ到底及バナイヤウナ立派ナ木材ガ出テ居ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、今日統計ノ示ス所ニ依レバ、内地ニ於テハ一町歩カラ七八圓ノ收入ガ舉ツテ居ルニモ拘ラズ、臺灣ニ於テハ僅ニ一圓五十錢ノ收入シカ舉ツテ居ラナイ、サウシテ樹木ノ育成ノ最モ盛ナル臺灣ニ於テ昨年ノ如キハ木材ノ移入高ガ八百万圓以上ニ上ツテ居ルト云フコトデアリマス、是ハ私ハ山林局長ニ申スノデハナイガ、臺灣統治當局ハ山林ニ向ツテハ全ク盲目デアルト言ハナケレバナラス、斯様ナコトヲシテドウシテ臺灣ノ開發ガ出來ヤウカト思フ、

併シナガラ是ハ臺灣ノ當局ノミヲ責メテモイカヌノデアリマス、日本全體ノ山林經營ノ根本方策ヲ立テルト云フコトニナレバ、臺灣ノコトモ、朝鮮ノコトモ、北海道、樺太ノコトモ、之ヲ綜合的、一元的ニ立案ヲシテ、初メテ日本ノ山林經營ガ出來ルモノト思フノデアリマス、之ニ向ツテ山林當局トシテハ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレルカ、唯自分ノ所管ハ内地ダケデアルカラ、自分ノ所管ニ對シテダゲハ責任ヲ持ツテ相當ノ考慮ヲ拂ヒ、計畫モ立テルガ、外ノコトハ我關セズト仰シヤルナラバソレマデノ話デアルガ、實ハ是ハ先程モ申上ゲタ通りニ、農林大臣ニ確カト御確メヲ申上ゲタイ問題デアリマスケレドモ、農林大臣ガ居デニナラナイカラ、少クトモ山林當局トシテノ山林局長ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員　國有林ヲ特別會計ニスルコトノ必要ナルコトハ理論的ニ見レバ明カナヤウニ考ヘテ居リマス、ソレハ第一ニハ國有林自體ノ爲メカラ申スト、從來ノヤリ方デアルト、基本的研究等ニ付テハ中々手ガ廻ラナイ、斯ウ云フ方面ノ直チニ利益ヲ得ラレナイ基本的ナ、林業計畫ノ基礎ヲ成ス所ノ研究ニ對スル費用ハ特別會計ニナリマシタガ、容易ニ支出シ得ルト考ヘテ居

リマス、又第二ニ民有林ノ關係カラ申シマス
ト、現狀ニ於テハ往々不況時ニハ國有林ヲ
増伐スル、ソレガ爲メ民有林ヲ壓迫スルト
云フヤウナ難非ガナイデモナイノデアリマス、
斯様ナ點カラ見マシテモ、國有林ト民有林
トノ間ノ聯繫ヲ取りマシテ、國有林ガ寧ロ
一種ノ木材調節ノ作用ヲ致スト云フ意味カ
ラ申シマシテモ、特別會計ガ必要デアルト
思ヒマス、而シテ是ガ實現ニ付キマシテハ
財政等色々ノ關係モアリマスノデ、只今ソ
レヲ何時ヨリ致スト云フコトヲ一寸御約束
シ得ナイコトハ大臣モ此處デ屢、申上ゲテ
居リマスガ、武田サンノ御意見ニハサウ云
フ趣旨ニ於テ私共同感デゴザイマスカラ、
是ハ大臣ニ傳言致シタイト思ヒマス

ソレカラ臺灣ノ林業開發ニ付テ只今武田サ
ンヨリ御意見ガアリマシタガ、臺灣ハ御承知
ノ通り從來ハ理蕃事業ガ進捗シナイガ爲ニ、
山ノ上ノ方ノ阿里山ノ檜ト云フヤウナ極ク
優良ナ林分ト山麓ノミガ開發セラレテ、中間
地帯ノ潤葉樹林ガ開發セラレテ居ラナカツ
タコトハ明カナル事實デゴザイマシテ、是
ガ爲ニ往々内地ヨリ相當用材ノ移入ガアル
ト云フヤウナ事實モゴザイマス、之ニ付キ
マシテハ臺灣總督府ニ於テモ十分之ヲ認識
セラレマシテ、今後ハ此ノ潤葉樹ノ利用ヲ

開發シ、之ヲ臺灣ノ各種用途ニ充テルト共
ニ、其ノ跡地ニ相當造林スルト云フ計畫ガ
アルヤニ聞及ンデ居リマス、是等ノコトハ
私共トシテモ極メテ適切ナル計畫デアルト
思ヒマシテ、之ニ付テハ十分支援ヲ怠ラナ
イ積リデゴザイマス、尙ホ内外地ヲ通ジテ
一貫シタル森林政策ヲ立テルコトハ、今日
ノ情勢ニ於テ極メテ必要ノコトト思ヒマ
ス、隨テ私共モ北海道廳ハ勿論、各外地當
局トモ十分ニ連絡ハ取りマシテ其ノ間ニ遺
憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス

○武田德三郎君 私ハ臺灣當局ノ計畫ノ善
シ惡シヲ村上サンニ伺ツテ見タ所ガ仕様ガ
ナイノデ、唯其ノ實情ガ斯ウ云フコトニナ
ツテ居ル、同ジ山林行政ノ上カラ言ツテ、
斯様ナ跛行ノ狀態ヲ其ノ儘ニシテ置イテ
ハ、日本ノ山林行政ガ成立タヌノデハアル
マイカト云フコトヲ、申上ゲタノデアリマ
ス、若シソレヲ御肯定ニナルナラバ、ドウ
スルカ、ドウ云フ御腹案ガアルカ、ドウ云
フ工合ニシタラ宜イカト云フコトヲ御伺シ
タノデアリマス、北海道トモ朝鮮トモ臺灣
トモ連絡ヲ執ル、斯ウ仰シヤルガ、ソレガ
十分ニ連絡ガ執レテ一元ノ經營ガ出來テ
居ルモノデアラナラバ、私ハ今日ソナコ
トヲ伺フ必要ハナイ、連絡ガ取レテ一元の

經營ガ出來テ居ラナイカラコソ、之ヲドウ
爲サル御積リデアアルカト伺フノデアリマス、
即チ今仰シヤル如ク、北海道長官トモ、樺
太長官トモ、臺灣總督トモ成ベク連絡ヲ取
ツテヤル積リダト云フソレダケデ宜シイノ
デアリマススカト私ハ聽クノデス、ソナ各
官廳ノ間ニ連絡ヲ取り、話合ヒラスルト云
フ位ナ程度デ、此ノ山林經營、山林行政ガ
完全ニ行ツテ、木材ノ自給自足、パルプノ
自給自足ト云フモノガ近キ將來ニ於テ出來
ルト御考ニナツテ居ルカ、ソレデ宜シイ、
現狀ノ儘デ御差支ナイ、森林ノ經營竝ニ森
林行政ノ上ニ於テ何等ノ故障ナシ、現狀ノ
儘デ満足デアルト云フ、御考デアアルカドウ
カ、斯ウ云フコトヲ伺ツタノデアリマス、
其ノ點ヲ今一應伺ツテ置キマス

○村上政府委員 武田サンノ仰セハ、結局
林政ヲ統一スル必要ガアルノデハナイカ、
斯ウ云フヤウナ御質問カト思ヒマス、併シ
ナガラ林政統一ト申シマシテモ、直チニ實
行ハ中々困難ナ問題デアリマス、殊ニ外地
ハ御承知ノ通り特別ノ制度ニナツテ居リマ
スノデ、其ノ中林政ダケヲ内地ニ統一スル
ト云フコトハ、今日ノ情勢ニ於テハ中々困
難デハナイカト思ヒマス、尙ホ北海道ノ問
題ガゴザイマスガ、北海道ハ別ハ外地デハ

ナイノデアリマス、併シ之ニ付キマシテ
此ノタビ森林法モ施行致シ、又各種ノ法律
モ施行致シマシテ、相當緊密ナ連絡ヲ取ツ
テ行ケルダラウト思ヒマス、唯此ノ際北海
道ノ行政ヲ内地ニ移管スルカドウカ、斯様
ナ問題ハ、是ハ行政機構ノ全般的改革ニ屬
スル問題デアリマシテ、私ガ之ニ付テ特ニ
色々申上ゲマスルコトハ差控ヘタイト思ヒ
マス

○武田德三郎君 私ノ質問ハ是デ打切りマ
ス

○池田委員長代理 本日ハ此ノ程度デ教會
シタイト思ヒマス、次會ハ追テ公報デ御通
知致シマス

午後五時二分散會

衆議院森林法中改正法律案外一
件委員會議錄第六回中正誤

頁 段 行 誤 正
二九 三一六 村松政府委員 松村政府委員